

取扱注意

令和 6 年度
県立学校教務主任研究協議会

情報交換事項（集計表）

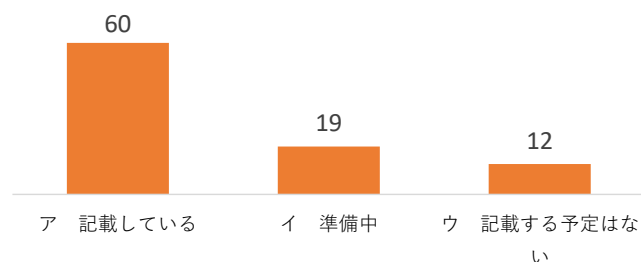
1 観点別学習状況の評価について

(1) シラバスや年間指導計画表に、観点別学習状況の評価規準を記載しているか。

ア 記載している

イ 準備中

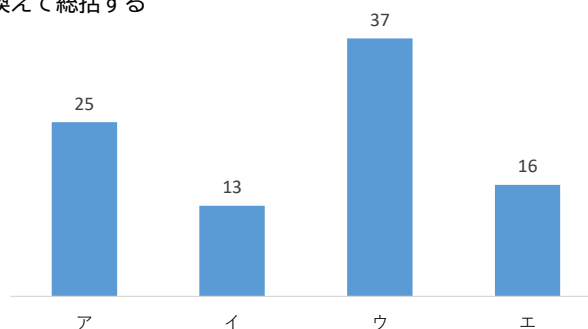
ウ 記載する予定はない



ア 記載している		イ 準備中	ウ 記載する予定はない
川之江高等学校	長浜高等学校	丹原高等学校	新居浜南高等学校
三島高等学校	内子高等学校	今治西高等学校(伯方)	西条高等学校
土居高等学校	内子高等学校(小田)	三崎高等学校	松山中央高等学校
新居浜東高等学校	八幡浜高等学校	宇和高等学校	松山盲学校
新居浜西高等学校	八幡浜工業高等学校	今治東中等教育学校	今治特別支援学校
新居浜工業高等学校	川之石高等学校	松山聾学校	新居浜特別支援学校
新居浜商業高等学校	宇和高等学校(三瓶)	みなら特別支援学校	新居浜特別支援学校(みしま)
西条農業高等学校	野村高等学校	みなら特別支援学校(松山城北)	松山商業高等学校(定)
小松高等学校	宇和島東高等学校	川之江高等学校(定)	大洲高等学校(肱川)
東予高等学校	宇和島東高等学校(津島)	松山工業高等学校(定)	FC今治高等学校明德校
今治西高等学校	宇和島水産高等学校	八幡浜高等学校(定)	今治精華高等学校
今治南高等学校	吉田高等学校	愛媛大学教育学部附属特別支援学校	済美平成中等教育学校
今治北高等学校	北宇和高等学校	済美高等学校	
今治北高等学校(大三島)	北宇和高等学校(三間)	聖力タリナ学園高等学校	
今治工業高等学校	南宇和高等学校	新田高等学校	
弓削高等学校	松山西中等教育学校	愛光高等学校	
北条高等学校	宇和島南中等教育学校	松山聖陵高等学校	
松山東高等学校	しげのぶ特別支援学校	未来高等学校(通)	
松山南高等学校	宇和特別支援学校(知的)	新田青雲中等教育学校	
松山南高等学校(砥部)	新居浜特別支援学校(川西)		
松山北高等学校	新居浜西高等学校(定)		
松山北高等学校(中島)	西条高等学校(定)		
松山工業高等学校	今治西高等学校(定)		
松山商業高等学校	松山東高等学校(通)		
東温高等学校	松山南高等学校(定)		
上浮穴高等学校	宇和島東高等学校(定)		
伊予農業高等学校	愛媛大学附属高等学校		
伊予高等学校	今治精華高等学校(通)		
大洲高等学校	松山東雲高等学校		
大洲農業高等学校	松山学院高等学校		

(2) 令和6年度の学習評価における評定への総括をどのように行うか。

- ア 三つの観点の評価の組合せを基に総括する
- イ 三つの観点の評価のA、B、Cを数値に置き換えて総括する
- ウ 評点を基に総括する
- エ その他



ア 三つの観点の評価の組合せを基に総括する	イ 三つの観点の評価のA、B、Cを数値に置き換えて総括する	ウ 評点を基に総括する	
新居浜東高等学校	今治西高等学校(伯方)	川之江高等学校	今治東中等教育学校
西条農業高等学校	北条高等学校	三島高等学校	宇和島南中等教育学校
東予高等学校	松山南高等学校	土居高等学校	新居浜西高等学校(定)
今治工業高等学校	松山商業高等学校	新居浜西高等学校	松山東高等学校(通)
松山北高等学校(中島)	三崎高等学校	新居浜工業高等学校	松山工業高等学校(定)
伊予農業高等学校	宇和高等学校	新居浜商業高等学校	大洲高等学校(脇川)
大洲高等学校	宇和島東高等学校(津島)	西条高等学校	宇和島東高等学校(定)
内子高等学校	吉田高等学校	小松高等学校	FC今治高等学校明德校
八幡浜高等学校	松山聾学校	今治南高等学校	今治精華高等学校
宇和島水産高等学校	松山南高等学校(定)	今治北高等学校	新田高等学校
松山西中等教育学校	松山商業高等学校(定)	松山東高等学校	未来高等学校(通)
松山盲学校	今治精華高等学校(通)	松山南高等学校(砥部)	済美平成中等教育学校
しげのぶ特別支援学校	松山聖陵高等学校	松山北高等学校	
新居浜特別支援学校		松山工業高等学校	
新居浜特別支援学校(川西)		上浮穴高等学校	
川之江高等学校(定)		大洲農業高等学校	
西条高等学校(定)		内子高等学校(小田)	
八幡浜高等学校(定)		八幡浜工業高等学校	
愛媛大学附属高等学校		川之石高等学校	
済美高等学校		宇和高等学校(三瓶)	
聖カタリナ学園高等学校		野村高等学校	
松山東雲高等学校		宇和島東高等学校	
松山学院高等学校		北宇和高等学校(三間)	
愛光高等学校		北宇和高等学校	
新田青雲中等教育学校		南宇和高等学校	
エ その他			
新居浜南高等学校	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する		
丹原高等学校	観点別学習状況[第1規準]と評点[第2規準]を用いて評価を行う。その際、観点別学習状況[第1規準]を優先して評定を決定する。		
今治西高等学校	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。ただし、三つの観点の評価の組合せを基にした評定を優先する。		
今治北高等学校(大三島)	総括の方法は授業者に任せている。		
弓削高等学校	①観点の組み合わせ、②評点、の優先順位で総括する。		
松山中央高等学校	3観点の組み合わせを優先するが、評点による総括も併用する。		
東温高等学校	評点と三つの観点の組合せで総括する		
伊予高等学校	観点の組合せと評点を併用して総括する		
長浜高等学校	評価の整合性・妥当性を担保するため、三つの観点の評価の組み合わせと評点を基に総括する。		
みなら特別支援学校	特別支援学校(知的)の学習評価は文章表記であるため。		
みなら特別支援学校(松山城北)	学習目標や内容、成果を三つの観点をもとに記述する。		
今治特別支援学校	三つの観点を文章で表記する		
宇和特別支援学校(知的)	3観点を文章により端的に表す。		
新居浜特別支援学校(みしま)	文章表記のみ。評定なし		
今治西高等学校(定)	三つの観点の評価の組合せと評点を基に総括する。ただし、三つの観点の評価の組合せを基にした評定を優先する。		
愛媛大学教育学部附属特別支援学校	評定の記載なし		

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、どのように行っているか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	予習状況、課題の提出状況や記述内容、授業態度(活動への取り組み状況など)などを総合して評価している。ただし、2学期以降は他の2項目の評価がどちらも「C」である場合、成果につながっていないということで「B」以下の評価となるように調整している。
2	三島高等学校	授業への取組状況や、提出物等の状況を踏まえて行っている。
3	土居高等学校	日々の授業への取り組み方や振り返りシートの内容などで評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	授業や活動の様子、課題の取り組み具合、自己評価をもとに行っている。
5	新居浜西高等学校	各教科の評価の観点の趣旨に照らし、課題提出や授業時の取り組みを通して、思考力・判断力・表現力を身に付けることに、粘り強く取り組もうとしているかを判断している。
6	新居浜南高等学校	各教科の評価規準に基づいて、課題・ノートの提出やレポートにおける記述、自己評価、授業中の発言やグループ活動、発表における行動観察から評価を行っている。
7	新居浜工業高等学校	・座学系科目：課題等の提出物の内容、授業ノートの内容、授業の取組や発表の内容を総合的に判断し、評価している。 ・実習等科目：工業技術基礎・実習・課題研究などの科目については、各成果発表やレポート、活動に取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価している。
8	新居浜商業高等学校	授業中の活動やレポート、提出物の内容などをもとに評価している。
9	西条高等学校	統一的な評価規準が設定できていない。
10	西条農業高等学校	以下の項目への粘り強い取組を通して、自らの学びを把握し、試行錯誤しながら、自らの学習を調整しようとしているかを評価する。 ・授業のノートや課題、レポート、作品、実技、実習などの様子 ・グループワーク、ペアワーク、教え合い活動など、授業中の行動観察 ・小テストや定期考査の訂正・解き直し ・ルーブリック自己評価表
11	小松高等学校	ノートやレポートによる記述、授業中の発言、行動観察などを記録し、生徒による自己評価や相互評価なども合わせて評価している。
12	東予高等学校	生徒の活動状況や提出物などを細かく記録し、積み上げた結果が評価の合計となるようにしている。
13	丹原高等学校	提出物や授業への取組の様子などで評価している。
14	今治西高等学校	提出物・授業プリント・ノート等の記述内容、行動観察で評価を行っている。
14	今治西高等学校(伯方)	ノート等提出物および発表等による
15	今治南高等学校	・ノートやレポート等における記述内容。 ・授業中の生徒の発言や取組状況。 ・実験・実習・実技等における生徒の行動観察。 ・教員が評価を行う際の考慮の材料として、生徒の自己評価、相互評価、ルーブリック評価等を活用する。
16	今治北高等学校	各教科に任せて検討してもらっている。
16	今治北高等学校(大三島)	授業に前向きに取り組んでいるか、提出物を期限どおりに出せているかなどを評価している。
17	今治工業高等学校	ノートやレポート等における記述、授業中の発言を通して、「粘り強い取組を行う」とする側面と「自らの学習を調整しようとする側面」がどのように実践されているかについて評価している。具体的には、生徒の自己評価や相互評価、指導者による行動観察等により評価している。
18	弓削高等学校	パフォーマンス課題や個人内評価、授業内の様子等で評価している。
19	北条高等学校	各教科でリフレクションシート等利用しておこなっております。
20	松山東高等学校	提出物、パフォーマンス課題、授業中の活動観察記録
21	松山南高等学校	レポートなどをルーブリックで自己評価及び教員の評価を加え定期的に評価している。
21	松山南高等学校(砥部)	・授業に取り組む姿勢(主体的に行動しているか、主体的に発言しているか)を観察 ・授業で書かせた感想等を評価に入れるようにしている ・振り返りシート等への言語表現から学習に取り組む姿勢を評価 ・ワークシートの記入や作品のアイデアスケッチ ・ノート、レポート内容等での評価
22	松山北高等学校	各教科の特性に合わせ、適する評価を行っています。
22	松山北高等学校(中島)	課題の提出、授業態度、自己評価等
23	松山中央高等学校	各教科に一任 振り返りシートによる発展的な内容の取組、パフォーマンスシートの取組、実験レポート、実習レポート、ワークシートへの取組を評価するなど
24	松山工業高等学校	教科や個人によっても異なるが、リフレクションシートの定期的な回収、パフォーマンス課題、課題の提出状況、授業中の観察などの積み重ねとして評価している。

25	松山商業高等学校	教育課程審議委員会で評価方法について話し合い、教科の特質に応じて単元等のまとまりごとに生徒自らが内容理解の状況を振り返ることができるような設問を行ったり、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面を設け、適切に評価するようにしている。
26	東温高等学校	ノート等の提出物における記述や授業中の発言、生徒による自己評価や相互評価等をふまえて評価している。
27	上浮穴高等学校	授業での自主的な発表や提出課題、ノートへの記入状況などで評価している。
28	伊予農業高等学校	提出物の提出状況や記載内容、レポートや調べ学習への取組、生徒による自己評価(振り返りシート)、授業中の発言や態度などをチェックし評価している。
29	伊予高等学校	課題・グループワーク・プレゼン等の取組状況や成果を各教科の評価規準に基づいて算出する。
30	大洲高等学校	各教科で基準を設定している。課題等の取り組み、授業中の様子など
31	大洲農業高等学校	授業中の態度や課題の記述内容、ノートやプリント等への取り組みによって総合的に評価している。複数の教員で確認して、評価に偏りが出ないようにしている。
32	長浜高等学校	各教科・科目の評価規準・評価の観点に照らして、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等の状況を評価する。
33	内子高等学校	・課題の提出状況 ・振り返りシート(学習内容、自己評価、質問)を書かせ、特に学習内容がしっかりと書かれているかチェックし評価している。
33	内子高等学校(小田)	従前の平常点的な考えを十分には払拭しきれていない面はあるものの、活動状況の日々の記録、複数教員での評価を取り入れたりしながら評価できるように、教科主任を中心に研究を重ねている。
34	八幡浜高等学校	各教科が定めた評価項目によって評価している。
35	八幡浜工業高等学校	授業での発表内容やレポートの内容、提出物の取組の内容などを、評価規準を基に評価している。
36	川之石高等学校	ノートやレポート等の提出物、授業態度等をもとに評価している。
37	三崎高等学校	ノート・レポートの記述、授業中の発言、行動観察の結果、生徒の自己評価・相互評価
38	宇和高等学校	ノート等の記述、授業中の発言、行動観察等。
38	宇和高等学校(三瓶)	評価の際に素材となる記録等を随時残しておいて、学期末に評価する。
39	野村高等学校	授業中の生徒の様子を観察する、生徒の自己評価や相互評価、ノートやレポート等の記述内容などで評価している。
40	宇和島東高等学校	ノート、レポート、定期考査、授業内での発言・学習に取り組む態度を測るルーブリックに基づく評価
40	宇和島東高等学校(津島)	提出物等による。
41	宇和島水産高等学校	粘り強く知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現しようとしているか。自らの学習を調整しようとしているか。このような意思的な側面を捉えて評価している。
42	吉田高等学校	ノートやレポートなどの記述、授業中の発言、行動観察が主だが、考査前に単元別テストを行い、考査との得点を比較することで生徒に学習状況を把握させ、改善に向けて調整できているかで評価している教科もある。
43	北宇和高等学校	小まめなノートやレポート等の提出及び内容の確認
43	北宇和高等学校(三間)	ノートやレポート等における記述、授業中の発言の内容、大項目ごとの学習の振り返りの記述などを評価の資料とする。
44	南宇和高等学校	課題の提出状況や授業における行動観察、生徒による自己評価や相互評価をもとに評価する。
45	今治東中等教育学校	課題の提出状況のみで評価することがないように留意する。観点の重み付けは全体の20～35%程度としている。
46	松山西中等教育学校	教科・科目の特性を考慮して、観察、質問紙、レポート、実験、実習、実技、制作物、授業の出席状況、ポートフォリオ等を総合的に評価している。
47	宇和島南中等教育学校	粘り強い取組や自らの学習を調整しようとする側面を評価する。
48	松山盲学校	各教科において年度当初に評価規準を設け、出席や、授業の中で出てきた課題に対して、児童生徒がどういった姿勢で臨んでいるかで評価している。例えば、新傾向の問題に対して既習事項をどう応用させて考えるか、自らの疑問をどういう手段で解決しようとしているかなどの姿勢を評価している。集団での学びではないので、高評価になっている児童生徒も多い。
49	松山聾学校	授業態度、ノートやレポート、定期考査などのテストへの取組・結果、プレゼンテーション、グループワークでの言動、宿題などの自主学習、アンケート等で評価している。
50	しげのぶ特別支援学校	一般学級においては、授業中の態度や発言、振り返りシートの活用、教師による行動観察等を行いながら、評価に反映させている。 重複障がい学級においては、日々の学習活動の中で直接的に児童生徒の良さを伝えたり、称賛したりするとともに、学習活動の評価を文章表記しているため、その中で記載している。

51	みなら特別支援学校	・日々の様子を見て評価している。授業後に評価表にメモをしている教科もある。 ・児童生徒によって実態が異なるため、教員間の共通理解のもと、個々が表す主体的に学習に取り組む態度を評価し、その成長を記録したり、教員間で情報交換をしたりして次につなげるようにしている。 ・各教科で内容のまとまりごとの評価基準がまだ作成できていないため、令和2年4月文部科学省発行の特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料に示されている『主体的に取り組む態度』の評価について』を参考に、「自ら学習状況を把握したり、学習の進め方について試行錯誤したりするなど、学習を調整しながら、学ぼうとしているか」という意思的な側面を評価している。
51	みなら特支学校(松山城北)	学習態度の観察や生徒が記入したワークシートなどから、総合的に評価を行っている。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	授業で使おう、生かそうとしたこと、次の学習への期待が高まる言動や行動が見られたこと、他の授業場面や日常生活、将来の生活に向けて生かそうとしたこと、活動に意欲を示すようになったことなどを評価する。
54	新居浜特別支援学校	文書表記
54	新居浜特別支援学校(川西)	授業の振り返りシートを活用し、児童生徒の学習に取り組む姿勢や意欲について観察記録を行い評価している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	児童生徒の学習に取り組む姿勢や意欲について授業者間で話し合い、文章で評価している。
定1	川之江高等学校(定)	ノートやレポート等の提出物、授業中の活動状況等をもとに総合的な評価を行う。
定5	新居浜西高等学校(定)	多様な生徒が在籍しており、各授業において生徒の特性に応じて授業における発言やノート等の取組を評価している。
定9	西条高等学校(定)	各教科の評価規準に基づいて、授業担当者が評価している。
定14	今治西高等学校(定)	提出物、授業中の発言、行動観察、自己評価(振り返り)等を基に評価する。
通20	松山東高等学校(通)	レポートの提出状況(提出日、提出回数、点数等)
定21	松山南高等学校(定)	教科によって異なるが、多くの教科では授業への取組方や長期休業中課題や授業ノートの状況、課題研究のレポート等を参考に100点満点で評価している。
定24	松山工業高等学校(定)	ノートやレポート等の記述、授業中の発信、教師による行動観察、生徒による自己評価等を考慮して評価する。
定25	松山商業高等学校(定)	日々の授業への出席やノートテイク、プリントへの取組状況、授業中の発表や質問などを総合して評価している
定30	大洲高等学校(肱川)	各教科担任に一任している。ノートや振り返りシート、レポート、プレゼンテーション等を例に挙げている。
定34	八幡浜高等学校(定)	授業中の発言の内容やグループ学習の発表・相互評価を教員の評価の参考にする。
定40	宇和島東高等学校(定)	教材や活動ごとにルーブリックを作成し、それに基づいて評価を行う。
55	愛媛大学附属高等学校	授業中でのグループワークの行動観察や、ワークシートへの取り組み状況などを通して評価する。また、実技科目や実験においては積極性や協働性なども観察し、生徒の個性に応じた評価を行っている。課題の取組状況や提出状況などからも授業内容を深く理解しようとする意欲を評価している。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	粘り強い取組を行おうとする姿と自らの学習を調整しようとする姿の二つの側面から、評価を実施している。
57	FC今治高等学校明徳校	生徒の活動を記録
58	今治精華高等学校	提出物、授業態度、発表などから教科の特性に応じて各教科担任が評価。
通58	今治精華高等学校(通)	レポートの自由記述や調べ学習の内容をもとに評価している
60	済美高等学校	提出物やレポートの記述内容や授業中の発言や取り組み方を総合的に評価している。
61	聖カタリナ学園高等学校	『課題の提出状況や授業評価』と『授業態度』を1:1の割合で得点化し、最終的な評価点で観点別の評価としている。なお、『授業態度』については、学校統一のルーブリック評価を使用し、教科間で差が出ないようにしている。
62	松山東雲高等学校	主に授業態度や授業ノート、提出物などのチェックをすることで行っている。また、定期考査の訂正ノートを作成する段階で振り返りシートを用いて、テスト勉強を振り返らせることで「学びを調整すること」について確認している。
63	松山学院高等学校	評価する場面を各科目で設定し、行っている。
64	新田高等学校	学習態度の観察、提出物の内容、課題配信等におけるフィードバック
65	愛光高等学校	授業態度や提出物、グループワーク時のレポートなどを基に評価する。
66	松山聖陵高等学校	授業態度や提出物、グループワーク時のレポートなどを基に評価する。
通67	未来高等学校(通)	スクーリングの出席状況及び態度、報告課題及び試験の記述問題への解答から総合的に判断している。
69	済美平成中等教育学校	課題やノートの提出・整理に、指示どおりきちんと取り組んでいるものについて、平常点として高く評価している。
70	新田青雲中等教育学校	定期考査実施後に目標設定や学習計画を考え提出させ、PDCAサイクルを考えさせている。 予告なしの小テストにより生徒の継続的な学習のリズムと質を確認させている。 教科・科目の特性に応じたレポートを提出させている。

(4) 「総合的な探究の時間」の評価について、どのように行っているか。

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	各学年でベースとなる文章を作成し、生徒ごとに異なる項目(参加した講座名や活動テーマ、年度末の探究活動成果発表会での受賞状況)を担当が入力して文章を完成させている。加えて、各生徒の活動状況をA～Cで評価する文言を準備し、どの文言に近い活動だったかを担任が(2年生では各グループを担当している教員の意見を参考に)評価して入力している。
2	三島高等学校	生徒の自己評価と教員による評価をもとに、総合的な評価を行っている。
3	土居高等学校	振り返りシートを使って、評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	自己評価および生徒間での相互評価をもとにして、指導者が総合的に評価をしている。
5	新居浜西高等学校	アンケート、振り返りシートにて自己評価させたものを参考に評価している。
6	新居浜南高等学校	ルーブリック評価を行い、毎時間レポート(内容に関することと自己評価)を提出させ担任が評価を書き込み返却している。学期末及び年度末に総括して評価を行っている。
7	新居浜工業高等学校	「課題研究」に代替しているため、「総合的な探究の時間」としての評価は実施していない。
8	新居浜商業高等学校	商業科目の課題研究で代替している。
9	西条高等学校	学校設定教科にて代替している。
10	西条農業高等学校	行動観察やレポート、作品、プレゼン発表などを通して、3観点について評価し、文章を作成している。
11	小松高等学校	学習評価の手引を基にルーブリックを作成し、評価している。
12	東予高等学校	「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替している。2年生の「課題研究」の評価については、インターンシップに関係する内容を中心に評価するので、工業教育推進課・各工業科長とも連携を図りながら、昨年度までの評価規準をベースにしながら観点別評価を行い、更なる検討・改善を図りたい。
13	丹原高等学校	本校では、「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を「実行力」や「地域理解」「情報活用能力」など、15項目設定し、3段階のルーブリック評価を行っている。生徒の自己評価や活動の様子、成果物等を総合的に判断し評価している。
14	今治西高等学校	生徒の活動内容、振り返りシート等を総括して評価している。
14	今治西高等学校(伯方)	各研究班の教員が、評価規準をもとに行なっている。
15	今治南高等学校	・3観点別の評価シート(それぞれA、B、Cの文章による3段階評価)を生徒に自己評価させ、取組状況、レポート、発表会の状況を踏まえて担任が総合評価する。
16	今治北高等学校	地域魅力課(総合的な探究の時間の担当)が主体となり、審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	班で行っている探究活動や成果報告会の準備への取り組み状況、成果報告会の様子、成果物の出来、出席状況などをもとに評価している。
17	今治工業高等学校	本校では、「総合的な探究の時間」は「課題研究」により代替している。各科の特色を生かしたもののづくりや地域の問題解決に向けた探究活動を行うことにより、各学年の学習進度に応じて適切に評価している。
18	弓削高等学校	総合的な探究の時間の担当教員が中心となりながら、各講座の担当者が評価している。
19	北条高等学校	文言による評価を担当・担当がおこなっております。
20	松山東高等学校	自己評価、課題研究ではルーブリック評価
21	松山南高等学校	本校では学校設定科目として1・2年はSTEAM探究、3年はデジタルサイエンスを実施しているため総合探究は実施していない。 上記設定科目では、学年でエクセルシートを作成して、自己評価及び担当教員による評価を加え評価している。
21	松山南高等学校(砥部)	・レジュメの作成状況や発表の様子などで評価する
22	松山北高等学校	学習または活動状況から観点に合わせて文章で評価しています。
22	松山北高等学校(中島)	評価シートを用意し、担当教員3名で○を入力する。最後に担任が集約して文章にまとめる。
23	松山中央高等学校	主に担当する担任、副担任が評価している。総括している進路課が評価例を示し、その文言を使用している。
24	松山工業高等学校	「総合的な探究の時間」は実施していない。
25	松山商業高等学校	「課題研究」で代替しているため実施していない。
26	東温高等学校	指導者による活動状況の観察や生徒による相互評価等をふまえて行っている。
27	上浮穴高等学校	レポートや課題研究への取組状況で評価している。
28	伊予農業高等学校	レポート等をもとに三つの観点を評価し、三つの観点の総括により評定を算出して、評定に応じた文言で評価している。
29	伊予高等学校	観点別に評価基準を設け、ABCの3段階で評価する。ABCの評価は文章記述による。
30	大洲高等学校	1年次探究活動において、作成したルーブリックを基に評価している。
31	大洲農業高等学校	提出物や取り組み状況、ルーブリックによって総合的に評価している。「課題研究」代替分については科目の中で評価している。
32	長浜高等学校	各学年の学習活動に対し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点をもとに評価について学年団を中心に原案を作成・審議したうえで、文章を記入する。

33	内子高等学校	各学年で評価を統一している。
33	内子高等学校(小田)	主管課である魅力化推進室と進路課を中心に、学習活動、観点、評価のそれぞれのひな型となるものを作成している。 年度末に、一人一人の生徒に対し、ホームルーム担任が、ひな型を踏まえて記入している。
34	八幡浜高等学校	作成した発表資料、発表、探究活動の取組状況などを各学年の担当者が評価している。
35	八幡浜工業高等学校	本校は、課題研究で代替しているため、課題研究にて評価している。
36	川之石高等学校	生徒の学習状況、自己評価、感想などから総合的に評価している。
37	三崎高等学校	学校独自のルーブリックに沿って評価
38	宇和高等学校	評価の観点等を明確にし、生徒の状況を総合的に評価。
38	宇和高等学校(三瓶)	各活動班の担当教員が、学習活動、観点、評価を具体的かつ簡潔にまとめる。
39	野村高等学校	ルーブリックを活用して評価している。
40	宇和島東高等学校	・プレゼンテーションやポスター発表などの評価 ・言語活動の評価 ・論文、報告書、レポートなどの成果物の評価 ・学校独自の評価基準(宇東ICEモデル)による評価
40	宇和島東高等学校(津島)	成果を発表するなどして評価する。
41	宇和島水産高等学校	本校は、3年次の課題研究で代替しており、各学科で評価規準を設定している。
42	吉田高等学校	評価基準に従って、担当者で調整しながら評価。
43	北宇和高等学校	振り返りシートの提出 点検表を用いた生徒間の相互評価
43	北宇和高等学校(三間)	複数の担当教員の視点をもとに、学年全体で一人一人の評価を審議している。
44	南宇和高等学校	レポートや課題発表の内容をもとに各分野の担当者が評価を行う。
45	今治東中等教育学校	設定した評価の観点を基に、学習の状況や成果などについて多面的に評価することとし、所見等を年度末に文章で記述している。
46	松山西中等教育学校	評価の観点を踏まえ、生徒の学習状況における顕著な変化やその特徴など、身に付いた力を評価している。
47	宇和島南中等教育学校	課題研究において、主に、理解したこと、考察したこと、貢献しようとしていること、の3つの観点について顕著な事項について文章で記述する。
48	松山盲学校	あらかじめ指導する教師間において、評価の観点や評価規準を確認し、これに基づいて児童生徒の学習状況の評価をしている。また、適切な評価ができるように、異なる評価方法や評価者による多様な評価を適切に組み合わせることを意識している。以下にその評価の例を挙げる。 ・学習活動の状況などの観察による評価 ・レポート、プレゼンテーション、絵などの制作物による評価 ・学習活動の過程や成果などの記録や作品を計画的にまとめた中間発表の内容評価 ・課題研究の中で身に付けた力を用いたパフォーマンス力の評価 ・教師や他学年の児童生徒等による他者評価 など すべての過程を通して、児童生徒の実態や学習状況を把握し、適切な指導に役立てられるよう、学習を通して児童生徒の長所や学習やスキルの進歩の具合などを積極的に評価することを教師間の共通認識としている。
49	松山聾学校	教員による観察、成果、自己評価、相互評価、教師による評価などをもとに、文書による評価をしている。
50	しげのぶ特別支援学校	本校における各部の評価の観点を設定し、それに基づいて行っている。
51	みなら特別支援学校	・高等部においては、年間指導計画の見直しを行い、育成を目指す資質・能力を明記することで、意識して活動に取り組み、学習過程自体を評価する意識を持って取り組めるようにした。年間指導計画の中に、さらに具体的な評価ポイントを明記していくかについては、今年度検討をしたいと考えている。
51	みなら特支学校(松山城北)	学習の目標と学習活動を観察し、発表した成果や生徒の変容を文章で表記している。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	総合的な探究の時間の目標を踏まえ、3観点で文章により端的に表す。
54	新居浜特別支援学校	全体計画に示した目標等を基に評価する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	観点別の学習状況評価を基本として行っている。各部で定めた目標、内容、指導上の配慮事項を踏まえて評価の観点を設定している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	中学部の総合的な学習の時間において、数値的な評価はせず、生徒にどのような力が身に付いたか文章で記述している。自己評価、相互評価など多様な評価を組み合わせ、結果よりも過程を評価するよう心掛けている。
定1	川之江高等学校(定)	生徒の自己評価、活動の状況などから担当者が評価する。
定5	新居浜西高等学校(定)	年度初めにキャリアパスポート等で年間計画を行い、年度末に自己評価を行う。生徒の各活動状況観察を積み重ね、自己評価も参考資料として評価する。
定9	西条高等学校(定)	設定された評価規準に基づいて各総探授業担当者が評価している。
定14	今治西高等学校(定)	学期末毎に評価シート(生徒用・指導者用)で4段階評価及び振り返り等を実施し、それらを基に総合的に判断し、評価を行う。
通20	松山東高等学校(通)	レポートの内容
定21	松山南高等学校(定)	学年主任を中心に学年で評価の観点を決定し、2月に学年会にて話し合いで評価を決める。その際に、レポートやプレゼンテーション等の成果物の評価を踏まえ決定する。
定24	松山工業高等学校(定)	課題研究で代替している。
定25	松山商業高等学校(定)	商業の科目である課題研究で代替している

定30	大洲高等学校(肱川)	観点は一律で定めており、各担当が文章で評価する。ただし、校務支援システムでは入力できる文字数が不足している。
定34	八幡浜高等学校(定)	「情報の活用と資格の研究」「情報の活用と生涯スポーツ」の2つのコースの選択制として活動し、3学期にコース別の発表会を実施している。自己評価や相互評価を行い教員の評価の参考にしている。
定40	宇和島東高等学校(定)	各講座で目標に即したルーブリックを作成するなどして評価を行っている。
55	愛媛大学附属高等学校	課題研究Ⅰを実施し、愛媛大学の先生からもルーブリック評価にて評価していただいている。その評価を参考に、本校教員(課題研究担当教員)が評価している。まずは自ら設定したテーマに関して研究を進める上で、十分な知識を身に付け、専門的な内容を理解できたか。次に研究発表において他者にわかりやすく表現できるか、研究を通しての考察が十分にできているか。そして意欲的に取り組むことができたかを総合的に評価している。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	評価基準を設け、それに沿った評価をしている。
57	FC今治高等学校明徳校	生徒の活動を記録
58	今治精華高等学校	作業の精度と濃度について、複数の教員で評価。
通58	今治精華高等学校(通)	各学年での到達目標を設定し、クラス担任が主に評価している
60	済美高等学校	観点ごとに評価項目を作成し、達成度を測る。 達成度と活動内容を組み合わせて評価する。
61	聖カタリナ学園高等学校	1年間の取り組み姿勢や発表態度などで評価をする
62	松山東雲高等学校	3つの観点に合わせて評価の項目を作り、それに合わせて評価を行っている。評価の方法は生徒の発言や毎時間の振り返りをさせたプリントの確認である。
63	松山学院高等学校	生徒の活動の状況、成果物等を基に担当教員が文章で行っている。
64	新田高等学校	調べた内容を発表することによる自己評価や相互評価
65	愛光高等学校	授業中における生徒の取り組み方をもとに行っている。
66	松山聖陵高等学校	課題に対する取り組みや自己評価、感想などから評価する。
通67	未来高等学校(通)	報告課題の内容による評価を行っている。登校日数の多いコースでは、専門学校の授業体験を通して、職業理解が進んだか、進路意識が高まったかなどを、生徒による自己評価と教員による評価によって、総合的に判断している。
69	済美平成中等教育学校	総合学習委員会を設置し、学年ごとに活動に取り組み、設定した観点に従って評価している。
70	新田青雲中等教育学校	探究に向けて題材選びから始め、調査の目的や計画を、評価規準と照らし合わせ、それらを総合して記述による評価を行っている。

(5) 「特別活動（ホームルーム活動等）」の評価について、どのように行っているか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	担任が、各項目に○を付けるかどうかを判断して一覧表にまとめ、それを各学年会で学年主任や副担任、他クラスの担任で相互にチェックし、○を加えたり消したりする最終判断を下している。
2	三島高等学校	生徒の自己評価と教員による評価をもとに、総合的な評価を行っている。
3	土居高等学校	振り返りシートを使って、評価を行っている。
4	新居浜東高等学校	ルーブリックを作成し、自己評価をメインにしているが、クラス間で不公平感が出ないように学年会で教員同士が話し合いをしたうえで評価を行っている。
5	新居浜西高等学校	アンケート、振り返りシートにて自己評価させたものを参考に評価している。
6	新居浜南高等学校	活動ごとに担任が評価を記録し、年次末の2月に(3年次は7月と1月)に評価を総括して行う。評価は年次会で各クラス間のバランスを考慮に入れ、生徒一人一人について検討して決定する。
7	新居浜工業高等学校	「キャリア・パスポート」への記載事項や、ホームルーム活動、委員会活動、各学校行事に対して取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価している。
8	新居浜商業高等学校	校内で特別活動(ホームルーム活動)の評価規準を準を設け、各担任が評価を行っている。
9	西条高等学校	統一的な評価規準が設定できていない。
10	西条農業高等学校	活動中での行動観察や、発表、ワークシートなどを通して、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合、○印を記入する。
11	小松高等学校	評価規準と補助簿を作成し、評価している。担任会にて、○の数を検討している。
12	東予高等学校	学校が定めた特別活動全体に係る評価の観点に照らして、3項目(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)について、評価する。各ホームルーム担任の判断で、個々の生徒の活動状況を多面的に評価し、各項目について、十分に満足できる活動の状況にあると判断される場合に○を付ける。(個人に3つ○をつけてもよいが、○の上限は各ホームルームで、各項目30パーセント程度(生徒ひとりあたりの平均1.5個以内)とする。担任→学年主任(学年会)→特活課長→教務課長(進級認定会議)の順番に確認・認定を行う。
13	丹原高等学校	ホームルーム活動や生徒会活動などの各項目ごとに評価規準及びルーブリック評価表を作成し、生徒の自己評価、担当評価を総括して評価している。
14	今治西高等学校	生徒の活動内容、振り返りシート等を総括して評価している。
14	今治西高等学校(伯方)	ホームルーム担任が、評価規準をもとに行なっている。
15	今治南高等学校	ホームルーム活動や学校行事ごとの取組状況を、ホームルーム担任が評価している。
16	今治北高等学校	学年団が主体となり、審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	委員会に所属してその責任を果たした→「ホームルーム活動」、生徒会役員として活動した→「生徒会活動」、学校行事で活躍した→「学校行事」というふう基準を決め、概ね良好な学校生活を送った生徒には○を二つ与えている。
17	今治工業高等学校	本校の定めた観点に照らして、各ホームルーム担任の評価が評価を行い、その内容を学年会、進級認定会議・卒業認定会議で審議し確定している。3項目の○の数に対しては、個人の上限や下限は設定していないが、クラスの平均値を設定することで、クラス間の差が不必要に大きくならないよう配慮している。
18	弓削高等学校	各ホームルーム担任が評価している。
19	北条高等学校	文言の評価
20	松山東高等学校	評価規準を設けて○を付ける項目を決定している。特活課主導で行っている。
21	松山南高等学校	3観点評価は実施していない。
21	松山南高等学校(砥部)	・担当者の観察や、生徒自身の自己評価によって評価する
22	松山北高等学校	ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事での活動状況や各種委員会、生徒会での活動状況から評価しています。
22	松山北高等学校(中島)	学年主任、担任、副担任で評価し、最後に担任が集約して○を入れる。
23	松山中央高等学校	特に行っていない。自己評価シートを実践しているクラスもある。
24	松山工業高等学校	担任が評価を行う。観点別評価のAのレベルに達していると思われる場合に○を付ける。
25	松山商業高等学校	学級担任が適宜行っている。
26	東温高等学校	ルーブリック評価・補助簿を参考に、特別活動評価シートで各生徒の評価を行っている。
27	上浮穴高等学校	班活動、グループ活動への積極的な参加、レポートなどで評価している。
28	伊予農業高等学校	学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動において、評価シートにホームルーム担任をはじめ関係の教員がその都度、評価に値する生徒に○印を入力し、年度末に○印の個数に応じて、要録の特別活動の記録欄に○印の記入と、その理由を総合所見欄に記載している。
29	伊予高等学校	観点別に評価基準を設け、自己評価や担当者の評価を基にABCの3段階で評価する。
30	大洲高等学校	個々の生徒の活動状況について担当者間で情報交換を密にし、1人1項目以上の○を付けている。
31	大洲農業高等学校	活動中の様子の観察や提出物、ワークシート等、自己評価等によって総合的に評価している。

32	長浜高等学校	評価の観点「よりよい生活を築くための知識・技能」「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」をふまえ、学年団を中心に原案を作成・審議したうえで、ホームルーム活動等ごとに十分満足できる活動に○印を記入する。
33	内子高等学校	各学年で評価を統一している。
33	内子高等学校(小田)	主管課である生徒課を中心に、各種行事の活動、観点、評価の記入枠を準備している。 行事終了後や年度末に、全教員を対象に気付いたことを入力してもらい、その内容を踏まえて、ホームルーム担任が評価を総括している。
34	八幡浜高等学校	ホームルーム担任を中心に、各学年で評価している。
35	八幡浜工業高等学校	特活課を中心に、学校行事や生徒会活動などの各項目ごとに、関係数教員が事前評価を行う。その事前評価を取りまとめ、基準を参考にして基となる評価をホームルーム担任が決める。その後、学年会にて、最終的な評価を決定している。
36	川之石高等学校	作成している特別活動における評価基準に沿って評価している。
37	三崎高等学校	学校が設置した基準を基に評価
38	宇和高等学校	生徒の状況を総合的に評価。
38	宇和高等学校(三瓶)	該当学年団で評価の原案を作成し、教務課が他の教員に確認してもらった上で、管理職に承認をもらう。
39	野村高等学校	自己評価と評価規準をもとに評価している。
40	宇和島東高等学校	・特活課が策定した評価基準に基づき、担任が入力したものを学年主任が総括する。
40	宇和島東高等学校(津島)	従来通り。
41	宇和島水産高等学校	各ホームルーム担任を中心に、副担任・学年主任や学年団で調整を行っている。
42	吉田高等学校	評価基準に従って、担当者で調整しながら評価。
43	北宇和高等学校	担任、副担任で活動の様子を確認する どのようにとは、どういう意味？
43	北宇和高等学校(三間)	複数の担当教員の視点をもとに、学年全体で一人一人の評価を審議している。
44	南宇和高等学校	授業中の活動や提出物の記述内容により評価する。
45	今治東中等教育学校	設定した評価の観点を基に、多面的、総合的に評価することとしている。
46	松山西中等教育学校	評価の観点を踏まえ、生徒の活動状況における成長やその特徴など、身に付いた力を総合的に評価している。
47	宇和島南中等教育学校	学校が定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、その評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断されるかどうかを学年会で決定して○印を記入する。
48	松山盲学校	特別活動についてはホームルーム活動以外に生徒会活動、学校行事を含め全体計画を作成し、それを基にホームルーム活動については年間計画を定めている。また、学部ごとに共通の観点別評価を設定し、ホームルーム活動のみではなく、学校行事等、総合的に特別活動の様子を観察していく。ただ、本校では多くのクラスで在籍者1名となり、担任を中心とした観察では結果的に高い評価になる場合もあり、より客観的な評価方法の考案が望まれる。
49	松山聾学校	同上
50	しげのぶ特別支援学校	小・中学部では、各学年が定めた特別活動全体計画に係る評価の観点に照らし合わせて評価する。重複障がいでは、児童生徒の良さや可能性を多面的・総合的に評価し、端的に文章で記述するようにしている。 高等部では、教育課程別で評価について整理したものを示し、それに基づいて行っている。
51	みなら特別支援学校	・高等部においては、他の教科についても同様であるが、生徒の教育的ニーズに対応した指導目標や指導内容・方法を盛り込み、指導・支援に関わる複数の教師が情報を共有し、指導・支援の一貫性や統一性を図り、継続的な指導・支援を行うて評価するようにしている。
51	みなら特支学校(松山城北)	特別活動の中で、成果や生徒の変容が見られた活動を中心に文章で表記している。
52	今治特別支援学校	複数の授業者で観察、検討し、文章で評価している
53	宇和特別支援学校(知的)	特別活動の目標を踏まえ、3観点で文章により端的に表す。
54	新居浜特別支援学校	全体計画に示した目標等を基に評価する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	観点別の学習状況評価を基本として行っている。各部で定めた目標、内容、指導上の配慮事項を踏まえて評価の観点を設定している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	特別活動の目標を踏まえ各教科とも関連させながら学習活動を計画・実施している。以下の3点を意識しながら評価している。 ・学級生活の向上やよりよい生活をめざして、他の生徒と協力し、問題の解決に努めているか。 ・集会活動など進んで参加し、学校生活の充実と向上を目指し、集団の一員として意欲的に自己の役割を果たしているか。 ・行事のねらいや意義を理解し、その場にふさわしい態度や行動がとれているか。
定1	川之江高等学校(定)	評価の方法を検討中
定5	新居浜西高等学校(定)	特別活動全体について評価の観点を定め、全ての特別活動について、観点に基づき年度末に評価する。
定9	西条高等学校(定)	特活課から提示された評価規準に従って担任が評価し、職員の合意を以て評価とした。

定14	今治西高等学校(定)	学期末毎に評価シート(生徒用・指導者用)で4段階評価及び振り返り等を実施し、それらを基に総合的に判断し、評価を行う。
通20	松山東高等学校(通)	出席状況で、評価を行っている。
定21	松山南高等学校(定)	評価の観点を学年で決定し、2月に学年会にて話し合いで評価を決める。
定24	松山工業高等学校(定)	学校生活を充実させるため、他者を尊重し課題解決に努め、人間関係をよりよく形成しているかを考慮して評価する。
定25	松山商業高等学校(定)	委員会や生徒会の活動、学校行事で果たす役割など、多くの生徒に活躍の場を与え、それらを基に評価している。
定30	大洲高等学校(肱川)	観点は一律で定めており、指導要録における「○」については、年度末に担任及び生徒会担当等に原案を作成してもらい、全教職員に回覧、決済をもらって、決定している。
定34	八幡浜高等学校(定)	ホームルーム担任・副担任により、学習成果を文章表現で示し評価している。
定40	宇和島東高等学校(定)	ホームルーム担任が、生徒の参加状況、活動の様子を把握するようにしている。
55	愛媛大学附属高等学校	担任、副担任を中心に行動観察を行い評価している。より良い生活を築くための知識・理解、集団や社会の形成者としての思考・判断・表現、主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度の3観点で評価している。特に点数化をするわけではなく、総合的に評価を行っている。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	各個人の活動状況を基に、活動の結果だけでなく過程における良さを多面的に総合的に評価するようにしている。
57	FC今治高等学校明徳校	生徒の活動を記録
58	今治精華高等学校	各担任が個別に判断。
通58	今治精華高等学校(通)	活動の目的に対してどのような態度で取り組んでいるかをクラス担任が主に評価している
60	済美高等学校	特別活動における活動内容や役割をもとに、評価基準に沿って評価する。
61	聖カタリナ学園高等学校	現状、特別に評価等を行っていない。
62	松山東雲高等学校	各部活動、委員会での記録を担当教員により行い担任が評価を行う。それを学年部で持ち寄り、議論のもとで評価を決定する。
63	松山学院高等学校	3つの内容(ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事)について、HR担任だけでなく、生徒に関わる全ての教員が、評価の観点に照らして、十分満足できる状況にある場合に○を入れている。
64	新田高等学校	学年間で評価内容を統一し、学級担任が評価している。
65	愛光高等学校	各クラスでの話し合いを行い、総合評価をしています。
66	松山聖陵高等学校	自己評価や感想などを参考に評価する。
通67	未来高等学校(通)	学校行事への参加状況、参加した際の活動内容や生徒個々の役割について評価している。
69	済美平成中等教育学校	HR活動については、担任が生徒の取り組みを評価している。
70	新田青雲中等教育学校	計画をたてて、計画通りに行うことができたかどうかを担当が見て評価をしている。

2 教育課程について

(1) 学習評価の改善の基本的な方向性の一つに、「これまで慣行として行われてきたものでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと」とあるが、自校において学習評価を行うに当たり、見直したものはあるか。また、今後見直すとよいと思われるものはあるか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	「主体的に学習に取り組む態度」は、挙手の回数やノートを不足なく取っているかなどを捉える評価ではない、と伝えている。
2	三島高等学校	定期考査の実施の仕方について、他校の取組状況等を参考にして改善したい。
3	土居高等学校	観点ごとの評価について、これまでは、単元ごとの点数及び点数合計が70%以上をAとしていたが、単元ごとの点数及び点数合計が75%以上をAとした。
4	新居浜東高等学校	1学期の中間考査については、考査範囲の確保が難しいため、2単位の科目については考査時間の弾力化を図ることとした。
5	新居浜西高等学校	主体的な学習態度の評価方法と、生徒自身の自己評価の基準について、見直しや工夫が必要である。
6	新居浜南高等学校	昨年度から、中間考査の評価点を、評価点(素点+平常点)から素点とした。また、今年度は3年次の年次末考査を廃止した。
7	新居浜工業高等学校	学期末および学年末での成績処理の際、観点別評価(A・B・C)と評点の整合性が取れていないケースあった。本校では、評点と各観点別評価(A・B・C)を校務支援システムに入力することとなっているが、整合性の取れない評価事例(例:観点別評価:BBB、評点:70点など)を例示するなどし、場合によっては、それぞれの観点別の得点も入力することも検討する。
8	新居浜商業高等学校	各学期ごとに実施していた、学習到達度の低い生徒に対する補習を行っていたが、各生徒の学習状況に応じた個別の指導に変更した。
9	西条高等学校	生徒全員に対して一律の課題をさせることを見直し、個別最適な指導を図る。
10	西条農業高等学校	○見直したもの ・定期考査について見直し、中間考査をなくした。小テストや単元別テスト ・挙手や発表の回数を成績へ反映させることをやめた。 ○見直すとよいと思われるもの ・100点法から完全撤退し、ABCの評価だけにする。 ・観点別評価については、芸術は総合的に評価するので、あてはめるのが難しい。
11	小松高等学校	学習評価の手引を基に、Excelでの評価シートと評価方法の解説動画を作成し、教員の共通理解を図った。
12	東予高等学校	今年度から全学年で新しい学習評価の導入となる。昨年度から大きな変更は考えていないが、実施しながらより良いものにするべく検討・改善を図りたい。
13	丹原高等学校	今年度より、1学期の中間考査を実施しないこととした。ペーパーテスト偏重にならない評価の改善を目指している。
14	今治西高等学校	一昨年度から学習評価の在り方について、学校全体で研究を行ってきた。学習評価を行っていく中で、大なり小なり必要性・妥当性が認められないものに関しては、見直しを行ってきた。本年度は、全学年で観点別学習状況の評価を行っていくので、これまで慣行として行われてきたものだけでなく、昨年度まで問題点についても見直していきたい。
14	今治西高等学校(伯方)	無し
15	今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	見直したものはなし。今後は先生方から意見を聞いて、検討していきたい。
16	今治北高等学校(大三島)	特になし
17	今治工業高等学校	観点別学習状況の評価においては、評点により評定の総括はしないことにした(評点と評定のねじれ現象を防止するため)。
18	弓削高等学校	今年度より定期考査を年5回から年3回に減らし、各科目で単元別テスト等を行うことにより、評価の機会の充実を図っている。
19	北条高等学校	シラバス・評価基準を年度初めに見直しています。
20	松山東高等学校	見直しを検討していない
21	松山南高等学校	各教科ようやく軌道に乗ってきた3観点評価であるので、まだ見直すことは考えていない。
21	松山南高等学校(砥部)	・デザイン科の課題を家庭に持ち帰らずに学校内で仕上げるように見直した ・一学期中間考査の廃止
22	松山北高等学校	特にありません。

22	松山北高等学校(中島)	テストを中心にした評価を見直し、5教科においてもパフォーマンステストやプレゼン作成等による評価の割合を高めた。
23	松山中央高等学校	学習評価に当たり、学校全体で見直したものは無い。新課程実施に伴う教科・科目別評価規準を策定し、生徒に示している。
24	松山工業高等学校	共通教科・科目について、評点の平均点が55点以上70点以下という規程であったものを、55点から75点以下に変更した。観点別評価のAが75点以上であることから、工業科8学科間の評価をより公平に行えるようになった。
25	松山商業高等学校	中間考査の実施科目を減らし、評価内容を見直した。
26	東温高等学校	評点の平均点設定の上限を無くした。
27	上浮穴高等学校	一昨年度より、3学年の学年末考査を廃止した。
28	伊予農業高等学校	評点を廃止した。
29	伊予高等学校	昨年度からホームルームを習熟度別で編成したことに加え、今年度から、文系コース、理系コースを新たに設置したため、習熟度やコースを考慮した評価の在り方を各教科で研究中である。
30	大洲高等学校	特にありません。
31	大洲農業高等学校	大きな変更点はないが、表現活動や実習が中心となる科目において、中間考査をなくすことを検討していきたい。
32	長浜高等学校	学校評価アンケート 等
33	内子高等学校	三つの観点の評価の組合せを基に総括するため、評点を示すことをなくした。
33	内子高等学校(小田)	テストや小テストの点や提出物だけでなく、生徒の活動全体をしっかりと評価することができるように、具体的な評価方法について、教科・科目の特性を踏まえながら常に検討するようにしている。
34	八幡浜高等学校	新課程になるにあたって全面的に見直したあとは、各教科で見直しを行っている。
35	八幡浜工業高等学校	ルーブリック評価の導入など、各教科で評価方法を見直しをしている。
36	川之石高等学校	定期考査の在り方について見直す必要があると考える。
37	三崎高等学校	定期考査
38	宇和高等学校	単元(授業1時間等)ごとに観点別評価を実施する必要がある。
38	宇和高等学校(三瓶)	現在、見直したものは特にない。今後、検討を続けていきたい。
39	野村高等学校	学習指導及び評価計画表とシラバスの様式
40	宇和島東高等学校	理数科・普通科の1週間の総単位数を33単位から34単位に減じて、生徒・職員の学校生活にゆとりを持たらした。
40	宇和島東高等学校(津島)	期首テストの廃止。
41	宇和島水産高等学校	今年度、中間考査を2日間の実施としている。
42	吉田高等学校	特になし。
43	北宇和高等学校	特に思いつかない
43	北宇和高等学校(三間)	課題や提出物に対する観点別評価を設定し、学習や指導の改善につながる評価にしていきたい。
44	南宇和高等学校	定期考査の作問にあたり、「知識・技能」、「思考・判断・表現」どちらの観点を評価するのか明記した。
45	今治東中等教育学校	100点法による評価を今後も継続していくか、十分検討していきたい。
46	松山西中等教育学校	春季休業と冬季休業後の課題テストを廃止し、前期課程で学力推移調査を実施している。
47	宇和島南中等教育学校	客観的かつ公正・公平に評価していくことが原則であり、評点を基に観点別学習状況の評価を実施していくことが大切であると考えている。
48	松山盲学校	小規模校のため、これまでは学習評価が個々の教員に任せられていた部分が大きかった。今後は観点別評価の在り方などを中心に、教科会等で評価の方法などについて共有・改善していくようにしたい。共有化の一つとして、考査問題を各教科主任等で回覧し、適切な考査の実施に向けて検討を行っている。
49	松山聾学校	(1)結果を伝えるだけではなく、通信簿の記載事項について懇談で保護者に丁寧に説明する。 (2)受け身である生徒の主体的な学びを促す目的で、ルーブリックなどを授業に取り入れ、自己評価をこどもにさせ、教員が評価するように今後したい。
50	しげのぶ特別支援学校	一般学級については昨年度見直して整理をした。重複障がい学級においては、日々の学習活動の中で手立て等を変更していくこともあるため、評価の記述の仕方を見直し、支援や手立てを分離せず、評価の中で合わせて記載するようにした。

51	みなら特別支援学校	・小学部においては、合同授業の音楽、体育、遊びの指導については、令和4年度三学期から三観点による「評価基準」を作成している。 ・特別活動である学校行事、生徒会活動、学級・ホームルーム活動のうち、慣例的に学級・ホームルーム活動の内容を特別活動の評価として記載していないため、次年度に向けては、校内教務マニュアルを修正するなどして、位置付けを明確にしたい。 <中学部> ① 通知表(個別の指導計画)について、昨年度までは「目標」「学習の記録」という左右二欄であったが、目標自体に手立てがすでに記載されるなどしており、左右の違いが薄かったため、大幅に見直し、左欄は「学習内容」のみの記載とし、右欄には年間指導計画に示された評価基準を踏まえて、その途中段階となる評価基準と手立てやその結果としての学習状況を書く形に変更した。(本日現在、校内決裁未決) ② 通知表、指導要録で教員からなかなか理解が得られず、学年主任や主事の点検が進みにくかった「行動の記録」のスペースについて、まずは通知表を見直した。「行動の記録」として挙げられている10項目をプルダウンから一つ選び、その項目に見合った内容の記載をすることとした。3学期間で合計1～3項目選ばれると見込んでおり、年度末の指導要録作成時にはその中から代表的な項目1～2個と、通知表に記載した内容を中心に記録する予定である。 ③ 「30文科初第1845号の学習指導要録の改善等について(通知)」に記載されている次の件についても、見直す予定である。「総合所見及び指導上参考となる諸事項」についても要点を箇条書きとするなど、記載事項を必要最低限にとどめること、という件である。今年度の要録作成から、そのようにする予定である。 ④ 通知表は他にも体裁を見直し、自立活動の記載についても、個別の指導計画との関係性が明確になるようにした。また、通知表はエクセルで作成しているため、記載マニュアル自体をシートに組み込み、別冊の教務マニュアルを手元に用意せずとも、通知表を入力しながら、いつでもすぐにマニュアルや注意点を確認できるように工夫した。 ⑤ 通知表や要録点検の際に、表記のミスが多かったため、教務課で間違いリストを作成した。80件程あったが、中学部で起案する要項のフッターに、「○教師×先生」など、その行事でよく間違っていたキーワードを記載することで、点検の時間削減を図ろうとしている。
51	みなら特支学校(松山城北)	教科別に授業内容に合わせた1段階の生徒、2段階の生徒の学習評価基準を作成し検討している。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	各学期ごとに学習評価を行っているが、1学期末・3学期末を前・後期として、年間2回、学習評価を行うことを検討しようと考えている。早ければ来年度からの移行を考えていく。
54	新居浜特別支援学校	個別の指導計画の評価を、学期ごとに行っていたが、前期・後期の2期に分けることとした。
54	新居浜特別支援学校(川西)	簡潔に指導の様子と個人内評価、評価の観点を整理して示した授業記録シートなどを作成する。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	校内研修を行ったり、出張報告などで情報を共有したりしながら検討している。
定1	川之江高等学校(定)	特になし
定5	新居浜西高等学校(定)	単元ごとの評価と定期考査の点数について、評価への総括の仕方を見直している。
定9	西条高等学校(定)	出席率をそのまま数値化して成績に加味することを見直した。
定14	今治西高等学校(定)	特になし。
通20	松山東高等学校(通)	特になし
定21	松山南高等学校(定)	以前は授業への出席を意欲点として加えていたが、現在は加えていない。
定24	松山工業高等学校(定)	検討中
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
定34	八幡浜高等学校(定)	特に思いつかない。
定40	宇和島東高等学校(定)	どのように評価されているのかを生徒が把握できるように、全体や各科目で観点や評価基準の説明を行っている。
55	愛媛大学附属高等学校	100点法での評価をやめ、各科目における評価の平均点の範囲を取りやめた。これにより相対評価となっていた評価を、生徒個人の学力や意欲などから絶対評価ができるようになった。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	単元配列表を基に、「年間指導計画」の見直しを行った。今年度は「個別の指導計画」の様式を検討していく。
57	FC今治高等学校明徳校	検討中
58	今治精華高等学校	検討中である。
通58	今治精華高等学校(通)	通信制であるため、授業ごとと行事ごとの参加者が毎回異なるため、評価基準を定めること自体が難しい。

60	済美高等学校	特になし
61	聖カタリナ学園高等学校	今年度、観点別評価の5段階評定への総括の方法を一部変更した。
62	松山東雲高等学校	検討中。
63	松山学院高等学校	考查結果だけでなく、普段の授業等での取組、状況等の割合を増やした。
64	新田高等学校	考查内容の改善や、考查の回数や科目の見直しを検討している。
65	愛光高等学校	今のところ、ありません。
66	松山聖陵高等学校	学期や学年末における成績の平均値の設定について。
通67	未来高等学校(通)	観点別評価の実施に伴い、新課程より、報告課題の様式を変更している。
69	済美平成中等教育学校	特になし
70	新田青雲中等教育学校	「主体的に学習に取り組む態度」の評価のために従来にはない提出物を出させたり、提出する物の内容を考えている。

(2) 今年度の教育課程の実施状況を評価・改善して、来年度の教育課程を編成するに当たり、体制作りをどのように構築しているか。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	教務・情報処理課員や進路課員で今後の方針を相談して叩き台を作成し、年3回の教育課程研究委員会で審議、場合によっては各教科会での情報共有や意見の取りまとめをお願いしている。
2	三島高等学校	教科会・教科主任会・教育課程委員会を適切に実施し、協議を進めている。商業科の新類型については、開設準備委員会により協議を進めている。
3	土居高等学校	教科会を週1回程度行い、教育課程委員会を職員会後に実施し、来年度の教育課程編成に向けて協議を重ねていく体制を作っている。
4	新居浜東高等学校	校長・教頭・進路課長・学年主任・教務課員で組織する教育課程検討委員会で評価・改善について協議している。
5	新居浜西高等学校	教科会等の希望を基に、校内の教育課程委員会を中心に検討して、原案を作成し、改善に向けて協議している。
6	新居浜南高等学校	年4回の教育課程検討委員会を実施し、関係課長・年次主任・教科主任・系列主任を中心として検討している。
7	新居浜工業高等学校	学習指導委員会を各学期に一度実施し、各教科・学科における学習指導と評価の在り方についての問題点や課題点などを共有し、改善すべきことなどを議論・検討することにして
8	新居浜商業高等学校	年2回、5月と9月に校内研究委員会を開き、評価・改善を行っている。
9	西条高等学校	管理職、関係課長、教科主任による教育課程委員会を設置している。
10	西条農業高等学校	・学習指導委員会を設置し、教育課程の実施状況を評価・改善して、来年度の教育課程の編成について話し合う体制作りを構築している。
11	小松高等学校	生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を充実させるため、選択科目や学校設定科目を増やしている。そのため、情報科教員の配置や実習助手の確保などの体制を整えている。
12	東予高等学校	教務主任が各教科主任からの意見を取りまとめ、原案を作成し、学習指導委員会で評価・改善について検討する。職員会議で全教職員に検討結果を連絡・確認し、共通認識が図れるようにしている。
13	丹原高等学校	校長、教頭と教務課長、進路課長、学年主任、農場長、教科主任で構成される教育課程委員会を年に複数回実施している。
14	今治西高等学校	教育課程委員会を学期に1回以上、必要に応じて教科主任会を実施し、現状の問題点等を共有して、教育課程の編成に生かしている。
14	今治西高等学校(伯方)	各教科で研究し、教育課程検討委員会で話し合いを行うという体制をとっている。
15	今治南高等学校	・教頭、教務主任、学年主任、特活課長、進路課長、農場長、教科主任による教科指導委員会を組織している。 ・年4回の会議(R6年度は、4/4、8/27、10/15、1/8)にて意見集約を行う。
16	今治北高等学校	教育課程研究委員会で審議している。
16	今治北高等学校(大三島)	分校で教職員の数も少ないので、教育課程委員会のようなものは設けず、教務課長が各教科からの意見を集約して教育課程の見直し、改善を行っている。
17	今治工業高等学校	校長、教頭、教務課長、進路指導課長、図書研修課長、工業教育推進課長、科長、学年主任、教科主任、教務課員で組織する学習指導委員会において、新課程3年間の実施状況を総括し来年度に向けた改善案を検討する。
18	弓削高等学校	教育課程編成委員会のほか、本校の今後の在り方について考え意見を共有する会を開き、将来についての目線合わせを行っている。
19	北条高等学校	教務課を中心に教科会、教科主任会、教育課程委員会を開催しております。
20	松山東高等学校	年3回実施している教科指導委員会で教育課程の検討を行っている。出席者は管理職、進路課長、教科主任、学年主任、教務課員、関係職員
21	松山南高等学校	生徒の進路実現のために、必要な教科科目を取捨選択するための教科主任会を定期的に開催することが必要である。
21	松山南高等学校(砥部)	・各学期に教育課程委員会を実施している。
22	松山北高等学校	教育課程委員会を適宜行い、生徒の実態に即した改善を行っています。
22	松山北高等学校(中島)	「総合的な探究の時間」を充実させ、進路実現につなげられるように検討している。
23	松山中央高等学校	今年度(令和6年度)新課程完全移行になるが、現在のところ各教科より教育課程の見直しの意見等は挙がっていない。定期的な教科会と教科指導委員会の意見集約によって、新教育課程について協議する体制が構築されている。
24	松山工業高等学校	学習指導委員会を学期に1回開いている。
25	松山商業高等学校	必要に応じて教育課程審議委員会を開催している。
26	東温高等学校	月1回、教育課程研究委員会を行い、各教科からの要望や意見を集約している。
27	上浮穴高等学校	教科会で評価・分析し、教育課程研究委員会で検討している。
28	伊予農業高等学校	年3回実施している教科指導委員会で、問題点や改善点を協議している。
29	伊予高等学校	年間4回の教科指導委員会を実施している。
30	大洲高等学校	校内における教育課程委員会を組織し、継続審議している。また、令和8年度からの再編に係る教育課程編成を、両校教務主任間での連携を密にし作成している。
31	大洲農業高等学校	教育課程研究委員会を年に3回実施し、検討を行っている。
32	長浜高等学校	管理職のリーダーシップのもと、教科会・学年会等での意見を集約し、教育課程委員会・職員会議で議論を重ねて教育課程編成にあたる。
33	内子高等学校	教育課程委員会と教務課で令和7年度の教育課程を検討している。

33	内子高等学校(小田)	教育課程委員会を年間5回程度開催している。現在の教育課程の実施状況を踏まえながら、毎回の委員会で教科主任や学年主任等の委員全員で具体的な意見を出し合いながら、より良い教育課程の編成ができるように工夫している。
34	八幡浜高等学校	教育課程委員会と職員会議で審議後、校長が決裁する。
35	八幡浜工業高等学校	教科主任等を委員とする学習指導委員会を組織し、その中で評価・改善に取り組んでいる。
36	川之石高等学校	教育課程委員会を実施し、協議している。
37	三崎高等学校	楽器ごとの教育過程委員会の実施。 大学関係者等を含めた運営次第委員会、コンソーシアムの実施。
38	宇和高等学校	各教科主任、学年主任等参加の教育課程研究委員会を年3回実施予定。
38	宇和高等学校(三瓶)	今年度で閉校となるため、来年度の教育課程については考えていない。
39	野村高等学校	教育課程委員会を年3回開催し、評価・改善を図っている。
40	宇和島東高等学校	・年間5回の教科指導委員会 ・時間割に教科会を設定
40	宇和島東高等学校(津島)	募集停止により新1年生の教育課程編成は行わない。
41	宇和島水産高等学校	習熟度別講座や3年生の選択科目について、教室割の問題があるため、教務課を中心に検討する必要がある。
42	吉田高等学校	学習指導委員会(校長・教頭・教務・各教科主任・各科長・進路課長・各学年主任等)を設置し、教育課程の検討ができるようにしている。
43	北宇和高等学校	特に変わったことはない 教科会→教育課程委員会→職員会
43	北宇和高等学校(三間)	教科指導委員会において、実施状況の評価や改善をはかりながら、次年度の教育課程編成を進めている。
44	南宇和高等学校	教育課程委員会を年に3回開き、改善点を検討、協議している。
45	今治東中等教育学校	管理職・運営委員・教科主任で組織する教育課程委員会を学期に一度開催している。
46	松山西中等教育学校	教育課程検討委員会を開催し、改善点について議論している。
47	宇和島南中等教育学校	教育課程委員会を年3回設けて、その内容を職員会議で報告・審議している。
48	松山盲学校	年2回、教育課程委員会を開き、教育課程について検討している。担任や学科主任等との日々の意見交換を活発にし、教育課程が児童生徒の実態や進路目標に対応するものになっているか、広く意見を交換している。
49	松山聾学校	以下の事項によって編成を行う体制である。 (1)教務課で話し合い、学校教育計画に基づいた編成を行う。 (2)学校評議員による審議結果をもとに編成を行う。 (3)教員による自己評価や子供・保護者による授業評価による結果から編成を行う。 (4)教員間の授業参観をもとに、教科会で話し合われた内容から編成を行う。 (5)教育委員会主催の教育課程研修で得られた内容から編成を行う。
50	しげのぶ特別支援学校	学習グループ単位での話し合いを経て、その代表者が委員会に出席をして協議をする。(10～11月)委員会を経て、各部で確認及び改善案を整理し、1月の教育課程検討委員会で最終調整及び確認を行っている。
51	みなら特別支援学校	・各学年部→学年主任会→部会→教育課程委員会という流れで毎年検討をしている。 ・教育課程の改善検討時間を十分にとるため、来年度の課題については夏季休業中に検討し、秋には体裁を整えるようにしている。 ・「令和5年度教育課程の編成と実施に関する参考資料」を受け、「各領域、各教科等の指導の重点」については、各学部において、「社会の変化に対応した多様な教育の推進」については各課において検討し、「基本方針」や「重点目標」を見直し、「学校教育計画」「学校要覧」に反映する必要があるのではないかと考えている。
51	みなら特支学校(松山城北)	教科主任会を行い、普通科、産業科それぞれの生徒の実態に合った教育課程になっているか協議する。
52	今治特別支援学校	教育課程委員会を開き検討する 自立活動推進委員会を設置し、時間における指導の研究を行う
53	宇和特別支援学校(知的)	各部、各学年等からの意見を取りまとめながら、教務課を中心に、年3回の教育課程委員会を通じて行っている。
54	新居浜特別支援学校	学年会から部会を経て、教育課程検討委員会で来年度の教育課程を編成する。
54	新居浜特別支援学校(川西)	小学部、中学部、高等部の教育課程との連続性を重視し、各部の目的や目標が達成できるように、学校全体の協力体制作りに努める。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	教育課程委員会を実施、今年度の教育課程について評価し来年度の編成について検討している。今年度より年2回(昨年度までは1回)実施し、時間における自立活動の指導についても検討を行う。
定1	川之江高等学校(定)	各教科主任の意見を取りまとめて検討する。
定5	新居浜西高等学校(定)	令和4～7年度は年次進行で新課程に移行することになっている。令和8年度以降は三修制における受講希望との関連を考慮し、必修科目の開講年次の変更を考える。以上のことを全員で共有し協議するようにしている。
定9	西条高等学校(定)	各教科の意見を教務課が集約し、試案作成。試案を元に職員全員で教育課程編成会議を行う。
定14	今治西高等学校(定)	教科担任からの要望事項を取りまとめ、全員で協議する。
通20	松山東高等学校(通)	教育課程を変える予定はない。
定21	松山南高等学校(定)	各教科主任に今年度の課題と次年度への要望を用紙に記入して提出いただいている。単位数の変更や新しく学校設定科目を設置する際には、職員会議にてその必要性や変更によって生じる課題を検討している。
定24	松山工業高等学校(定)	教務課、工業科及び普通科と連携していく。
定25	松山商業高等学校(定)	教員数が少ないので、各教科から出た意見を教務課で集約し、教育課程を編成している。
定30	大洲高等学校(肱川)	年度初めに教育課程を提示し、見直しが必要であれば、その都度会議を開く予定である。

定34	八幡浜高等学校(定)	少人数の教員なので全員参加で教育課程委員会を実施して、問題点等を検討しながら常に情報共有するようにしている。
定40	宇和島東高等学校(定)	教育課程検討委員会を実施し、協議するようにしている。
55	愛媛大学附属高等学校	管理職、各教科主任、教務課長、教務副課長において教育課程委員会を実施している。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	年度末に部会及び運営委員会で検討会を開催している。
57	FC今治高等学校明徳校	検討委員会を組織
58	今治精華高等学校	管理職、教務、教科主任、学科主任で構成。
通58	今治精華高等学校(通)	特に変化なし
60	済美高等学校	教科主任・コース主任と連携していく。
61	聖カタリナ学園高等学校	教務課を中心に、各科長・コース主任・教科主任などから意見を集約し、編成にあたっている。
62	松山東雲高等学校	検討中。
63	松山学院高等学校	教育課程編成委員会を設けて、管理職の指導の下、編成を行っている。
64	新田高等学校	教育課程係会を実施し、各教科主任からの意見をもとに現状の把握と今後の改善点を共有している。また、新たな類型の設置に向けて検討している。
65	愛光高等学校	カリキュラム委員会を設置し、議論する場を設けている。
66	松山聖陵高等学校	各科長やコース主任と連携し、協議をしていく。
通67	未来高等学校(通)	教育課程委員会を設置し、管理職のもと、教務課、教科担当者、コース長で協議、検討している。
69	済美平成中等教育学校	教科主任会、教務課、進路課が連携し、検討している。
70	新田青雲中等教育学校	教務主任と各教科主任とで原案をつくり、委員会を開いて検討を行っている。

(3) 教科等横断型の取組の実施状況、事例、評価の方法

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	実施していない。
2	三島高等学校	えひめ版STEAM教育研究開発事業の実践校として、公開授業を行っている。今年度も引き続き、研究を進める。
3	土居高等学校	もち米田植え交流会(農業×家庭)、田植え交流会(農業×家庭)、紙のまち探究(学校設定教科科目×他教科)など
4	新居浜東高等学校	来年度新設される健康スポーツ科で実施できるよう検討中。
5	新居浜西高等学校	今年度より、「先導的授業実践型モデル校」と「NIE教育」の指定を受け、複数の教科を巻き込んだ授業を実践し、効果的な進学指導に結び付けていけるよう計画しているところです。
6	新居浜南高等学校	特に実施していない。
7	新居浜工業高等学校	特記事項なし
8	新居浜商業高等学校	現在研究中である。
9	西条高等学校	県立学校振興計画事業「進学指導研究推進プログラム」における公開授業にて実施予定である。(生物基礎×地理探究)
10	西条農業高等学校	・数学Ⅰ三角比 ⇔ 測量 ・理科 ⇔ 農業 ・家庭科 ⇔ 農業 ・授業内でのプロジェクト学習での研究や、専攻班学習を活用した動画・プレゼン作成など
11	小松高等学校	○ビジネス・コミュニケーションの授業「ビジネスと外国語」で英語科(ALT)との連携を予定。 ○理科(物理)の音波の性質と芸術(音楽)の音色、音程についての授業 ○地学の授業で津波の実験と数学の不定積分を取り上げた授業
12	東予高等学校	数学や物理の授業において、工業科の専門科目の計算問題等の学習内容が共通する部分を事前に指導することにより、生徒の理解がスムーズになるように連携し指導している。
13	丹原高等学校	昨年度は実施なし。
14	今治西高等学校	令和5年度において、本校では教科等横断型授業は実施していない。現在、各教科・科目等で研究を行っている。今後、教育課程委員会において議論していきたいと考えている。
14	今治西高等学校(伯方)	総合的な探究の時間において行なっている。
15	今治南高等学校	総合的な探究の時間における課題研究および、就業体験にて実施している。
16	今治北高等学校	特になし
16	今治北高等学校(大三島)	特になし
17	今治工業高等学校	現在のところ、各科において顕著な取組は行われていない。今後、2・3年生における課題研究等により、各科の連携した製作活動や探究活動を検討したい。
18	弓削高等学校	数学の教員が理科の授業に乗り入れ、T2として指導にあたることもあるが、実際に教科横断的な内容を扱う授業は実施できていないため、今後研究を重ねたい。
19	北条高等学校	愛媛学・総合研究、それぞれの評価。
20	松山東高等学校	CLIL(内容言語統合型学習)を、1年生は各学期1回実施し、英語と他教科の教科横断型授業を実践している。
21	松山南高等学校	本校では、積極的に教科横断型授業を実施している。 各教員が学期に1度は実施することになっている。 数学&歴史総合 英語&歴史総合 体育&国語
21	松山南高等学校(砥部)	・国語科と美術科(場面を絵やイラストにする)書かれた場面の読み取りができているかの評価で国語の授業として評価とする
22	松山北高等学校	特にありません。
22	松山北高等学校(中島)	特に実施していない。
23	松山中央高等学校	現在のところ、教科横断型の取組は実施していない。ただし、今年度進学指導研究推進プログラムで先導的授業実践型モデル校に指定されているので公開授業を行う予定である。
24	松山工業高等学校	課題研究等において、工業科各科の連携はあるが、STEAMのような教科等横断型の授業は実施していない。
25	松山商業高等学校	今のところ行っていない。
26	東温高等学校	突起事項なし
27	上浮穴高等学校	数学と地歴・公民、理科、総合的な探究の時間が連携し、ある事象とそのデータの分析について行った。
28	伊予農業高等学校	実施していない。
29	伊予高等学校	学校設定教科「総合」を設置し、科目「時事問題」では科学技術・国際・教育・芸術等の現代的な諸課題をより深く理解し、問題解決のための資質・能力を育成することを目指している。
30	大洲高等学校	特にありません。

31	大洲農業高等学校	「野菜」「草花」「果樹」と「地理」、「化学基礎」と「食品化学」等において、各科目内で専門科目と普通科目の内容を関連付けて指導をしている。
32	長浜高等学校	教科間で情報を共有し、授業と連動させる。【例:数学と情報(2進数)・物理(自由落下)】
33	内子高等学校	特になし。
33	内子高等学校(小田)	学校設定教科「探究」の科目「プロジェクト学習Ⅰ・Ⅱ」や総合的な探究の時間での小田校版起業家教育プログラム等を実践しながら、積極的に外部講師を活用し、教科横断的な活動ができるように工夫している。
34	八幡浜高等学校	昨年度までの「えひめ版STEAM教育研究開発事業」での取組を、校内での研究授業等で生かしていく計画である。
35	八幡浜工業高等学校	八幡浜高校・川之石高校・本校の連携による取組に参加している。
36	川之石高等学校	農業科学校設定科目で「農業と福祉」を開講し、農福連携を行っている。
37	三崎高等学校	令和5年度は学校訪問研修、校内の焦点授業で実施。 情報と音楽では、効果的に情報を相手に伝達する際いかに音楽的な要素を交えるかをテーマにした。 評価については相互評価とした。
38	宇和高等学校	実施なし。
38	宇和高等学校(三瓶)	有効に実施できるように、今後検討していきたい。
39	野村高等学校	・家庭科と農業科(畜産科)で保育実習の際、小動物(うさぎやポニーなど)を連れて訪問する。事前・事後指導に加え、自己評価も行う。 ・今年度より学校設定科目「アグリデザイン」を開講。理科、家庭科、商業化に加え、農業科という異なる教科を組み合わせ実施。
40	宇和島東高等学校	・全教職員が実施 ・職員朝礼での事前告知による相互授業観察 ・使用した指導案・教材・記録の共有 ・公開授業等での授業研究会の実施
40	宇和島東高等学校(津島)	主になる教科が行う。
41	宇和島水産高等学校	宇和島南中等教育学校との統合を見据えて、今年度、様々な取り組みを行う予定である。
42	吉田高等学校	普通科の「総合的な探究の時間」において、工業科の教員の協力のもと廃材をリサイクルし、その材料で「ものづくり」を実施。
43	北宇和高等学校	特になし。
43	北宇和高等学校(三間)	特になし。
44	南宇和高等学校	昨年度末に1回(公民と家庭科)実施した。今年度も実施予定であるが、各教科で検討中である。
45	今治東中等教育学校	実施していない。
46	松山西中等教育学校	県内の実施校での授業参観を通して、本校で実施できる科目で連携して取り組んでいる。
47	宇和島南中等教育学校	総合的な探究の時間における課題研究で、例えば、「持続可能な地域の在り方」など。
48	松山盲学校	中学部国語『クマゼミ増加の原因を探る』(国語2 光村教育図書)において、本文に書かれている地球の温暖化をはじめとする環境の変化と生態系の変化について理科教員に講義を依頼した。また、グラフの読み取りについては、数学で習った知識が生かされることを説明し、各教科の学びが相互に関係して、より学びが深まることを確認した。 中学部音楽『椰子の実』(中学生の音楽 2・3下 教育芸術社)において、国語科教員が文語を現代語訳し、解説した。意味を正しく理解することで、鑑賞だけでなく、歌唱にも深みを増した。今年度は、日本の古典芸能の単元で、古典の平家物語「敦盛の最期」と関連付けた学びを計画している。 消費者教育においては、公民科と家庭科で情報共有を行い、それぞれの教科の特性を生かして学習内容を検討することを心掛けている。国際理解教育においては、地歴・公民科と外国語科との間で連携した学習を行えるよう検討している。
49	松山聾学校	運動会、文化祭、総合的な学習の時間、進路課主導の行事(キャリアアップセミナーなど)で学部・学年・教科をまたいだ授業を行っている。
50	しげのぶ特別支援学校	本校は特別支援学校であるため、各教科等を合わせた指導という指導形態で実施することが多いが、教科別の指導の中でも、学習活動の中で取り扱う教科や関連する教科の内容を明確にするために、年間指導計画や個別の指導計画(通知表)の目標に記載している。また、各教科の到達度を個々の児童生徒について記録し、評価や目標につなげている。
51	みなら特別支援学校	・知的障がい特別支援学校においては、「指導の形態別週当たり授業時間数」を合わせて申請している。その中には、「各教科等を合わせた指導」という項目があり、国語、数学、理科、社会、美術、職業・家庭等について、生活年齢に応じながら、教科横断的に学習している。各教科を合わせて指導する際には、各教科のどんな目標や学習内容を取り上げているのかを明記し、評価する際には、各教科に戻して評価することとなっている。 ・中学部では、知的障がいの支援学校では生活単元学習や総合的な学習の時間において、9教科の内容や目標が含まれており、指導の実績がある。評価について、今年度生活単元学習については、通知表について、10の①にあるように、左に記載する内容を「学習内容」とし、9教科の中からどの内容を選んだのかを明記することとなり、9教科の評価規準も明記されているので、これまでよりは、観点が分かりやすい評価がなされ、指導にも反映すると考えている。
51	みなら特支学校(松山城北)	産業科において、各教科と情報の授業を教科横断的に取り組むことで、実生活に生かせる学習を行っている。
52	今治特別支援学校	合わせた指導を行っている

53	宇和特別支援学校(知的)	各教科等を合わせた指導を行っている。(各教科、道徳科、特別活動及び自立活動等を合わせて指導)
54	新居浜特別支援学校	国語や算数(数学)、音楽、体育(保健体育)、家庭など、各教科で学んだ内容を、運動会、文化祭、外部団体等との交流活動や校内実習など、様々な行事の事前準備を含む活動全体で生かせるように取り組んでいる。
54	新居浜特別支援学校(川西)	各教科の年間指導計画や個別の指導計画を振り返ることで学びの過程を確認し、部間や教科間での学びの連続性の確保に努めている。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	各教科等を合わせた指導として、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を実施している。生活単元学習の年間計画には、各教科の目標や内容を扱うよう学習内容に教科を明記し、評価している。
定1	川之江高等学校(定)	特になし
定5	新居浜西高等学校(定)	数学、理科において文章表現について国語と、変数や次元、専門用語等は英語と関連付けて説明を行っている。
定9	西条高等学校(定)	未実施
定14	今治西高等学校(定)	特になし。
通20	松山東高等学校(通)	実施していない。
定21	松山南高等学校(定)	学校設定科目「自然と環境(理科)」「環境と人間生活(公民科)」において、「自然と環境」では課題研究形式で理科の教員以外の様々な先生に協力していただいており、評価は理科以外の教員を含めた発表会を通じて評価している。「環境と人間生活」では環境問題について、環境問題について様々な視点でのレポートを作成して、公民科が評価している。
定24	松山工業高等学校(定)	検討中
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	生徒・教員ともに人数が少なく、教科横断的な取り組みはできていない。
定34	八幡浜高等学校(定)	少人数のため十分な実施ができていない。
定40	宇和島東高等学校(定)	令和5年度は、多くの教員が教科等横断型の授業を実施した。例えば、生物基礎と保健の教科横断型授業では、食中毒、食品衛生について、実験を含んだ活動を行った。
55	愛媛大学附属高等学校	教科横断型の授業を実施したいと考えているが、現在実施できていない。今後の検討課題である。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	単元配列表を作成し、各教科等における学習内容や学習方法のつながりを可視化した。
57	FC今治高等学校明徳校	実施していない
58	今治精華高等学校	特になし
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	総合的な探究の時間において、関連する教科の教員が指導にあたるなど。
61	聖カタリナ学園高等学校	具体的に取り上げられる事例はありません。
62	松山東雲高等学校	行っていない。
63	松山学院高等学校	まだ、行えていない。
64	新田高等学校	特記事項なし
65	愛光高等学校	特に行っておりません。
66	松山聖陵高等学校	特になし。
通67	未来高等学校(通)	特になし
69	済美平成中等教育学校	大きな取り組みはないが、例えば、防災のテーマについて、公共、地理、家庭科等、それぞれの視点で取り組んでいる。
70	新田青雲中等教育学校	いくつかの教科において英語ネイティブスピーカーとチームティーチングで英語以外の科目を英語で学習する時間を取っている。

3 ICTの活用について

(1) ICTの活用事例

・授業（総合的な探究の時間を含む）での活用事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	ロイロノートやデジタル採点ソフト「採点ナビ」の導入。Teamsを利用した課題などの回収。スタディサプリを導入し、学期始めの課題テストを、端末での「到達度テスト」に変更。
2	三島高等学校	昨年度より継続のTeamsを使うことと、今年度からは、ロイロノートを活用する形式を取り入れている。
3	土居高等学校	ロイロノート(国語:作文、発表、共有ノート、理科:実験結果を撮って共有)など
4	新居浜東高等学校	ロイロノート、Classi、Teamsを場面に応じて活用している。
5	新居浜西高等学校	自分の意見や予習のノートをロイロノートで共有するなど、場面に応じて活用している。
6	新居浜南高等学校	タブレット端末を用いた調べ学習(Web)や、Google for Education の ClassroomやMeetを場面に応じて活用している。
7	新居浜工業高等学校	デジタル教材の利用に加え、情報モラル教育や、学校を知るための探究学習、端末を使用したレポート(報告書)作成及び提出、端末を活用したものづくり、調べ学習、課題研究報告書の提出(Forms)、端末を活用した制御実習などに活用している。
8	新居浜商業高等学校	各科目で電子黒板を活用した授業を実施している。
9	西条高等学校	特に、SSHの課題研究において積極的に使用しており、情報収集・プレゼンテーション作成・論文作成等に活用している。
10	西条農業高等学校	・デジタル教科書やプリントをプロジェクトでホワイトボードへ投影して、ホワイトボードへ書き込みながら授業を展開する。 ・内容に関する画像や動画を視聴。 ・電子黒板でWebページや動画でニュースをチェックし、時事問題を考える。 ・VRやHP、プレゼン等の作成、アンケートやテストの実施、調べ学習や動画閲覧など ・Teamsの会議で授業展開する。 ・体育の授業で動画を撮影し運動観察をする。 ・教材提示装置、タブレットでの動画視聴、ポスター作成など ・実習の動画などを提示して説明
11	小松高等学校	Teams、ロイロノートを活用した授業。PowerPointでの教材開発。総合的な探究の時間でレポートやプレゼンを作成し、成果発表会に活用した。
12	東予高等学校	「ロイロノート」を活用し、事前に送付した課題を提出させ授業に教材として利用している。また、教室にWiFi環境と電子黒板が整備されたので、インターネットに接続し解説動画を見せるなどして学習内容の理解を深めることができています。
13	丹原高等学校	Chat-GPTを用いて、課題の解答を予測し、その答えが本当に正しいかを検証する数学の授業があった。
14	今治西高等学校	6年前からiPadを用いて、1年生の授業においてOST(オンラインスピーキングトレーニング)を実施している。本年度については、1・2年生で実施する予定である。個人端末についても、各教科・各科目において生徒の理解を深めるために積極的に活用している。出席停止になった生徒に対して、授業の配信等についても学校全体で取り組んだ。
14	今治西高等学校(伯方)	音楽の授業でチームズにて音源を配布し、予習させている。
15	今治南高等学校	・地域課題と地域の取組、地域情報の収集などの調べ学習 ・班別の実験結果の提出とクラス全員への提示 ・シンキングツールを用いた実験結果の考察
16	今治北高等学校	教材の提示、動画の視聴、生徒の共同作業(課題研究)
16	今治北高等学校(大三島)	一人一台端末を用いて、インターネットで調べ学習を行う。Teams内で成果物を作り、教員に提出する。
17	今治工業高等学校	動画サイトの利用(ものづくり、構造説明、仕組みなど)、レポート(ノート)提出、インターネットを活用した調べ学習、授業の振り返り、実習等における強度計算、製作図面の作成などを行っている。 また、本年度よりスタディサプリを導入しており、到達度テストを生徒の個人端末を活用しCBTで実施している。朝のSHRの時間を朝学習の時間として活用(スタディサプリのコンテンツにより)し、基礎学力の定着を目指す取組も計画している。
18	弓削高等学校	一人1台端末や学校配備のタブレット、生徒個人所有のスマートフォン等を活用し、写真や動画の撮影・編集を行っている。
19	北条高等学校	電子黒板・デジタル地図・オンラインアンケート・Teams等
20	松山東高等学校	Teamsによる課題配布、ロイロノートによる意見集約、Teamsを利用した他校との合同授業
21	松山南高等学校	ロイロノート及びチームスを活用しながら授業をしている。ほとんどの教員がプロジェクターを利用して授業をしている。
21	松山南高等学校(砥部)	・動画、スライドの活用 ・チームスによるエスキースやアイデアスケッチ等の課題提出や添削 ・チームスで授業プリントを配布 ・一人一台端末で撮影したものを教材とし、授業での作品制作に活用
22	松山北高等学校	ロイロノートでの意見交換、Teamsを用いてのファイル共有と班での共同作業等で活用しています。

22	松山北高等学校(中島)	・教科の授業でロイロノートや Teamsを活用 ・総合的な探究の時間で写真の共有や共同でのスライド作成など ・県総合教育センターからの遠隔授業(数学c)
23	松山中央高等学校	ロイロノートとteamsの併用で効果的に学習できる環境を作るよう努力している。授業中の課題等の提出や生徒のノートを提示する際にはロイロノートを、資料の配布やアンケート、小テストの実施などはteamsを使うことが多い。
24	松山工業高等学校	ほとんどの教員が毎時間ICTを活用した授業を実施しているが、教材の提示、課題の提出、ウェブテストやアンケート、課題研究等での共同編集等で活用している。特に斬新な活用事例は挙げられない。
25	松山商業高等学校	商業科専門科目では、学習動画を作成し、いつでも生徒が視聴できるようにしていた。会議ツールを用いて専門家から直接話を聞くなどを行った。生徒のスマートフォンを活用した観光案内の作品作りを行った。
26	東温高等学校	生徒の学習記録の把握に活用している。また、総合的な探究の時間では、Office365を使い、共同編集を行っている。
27	上浮穴高等学校	Teamsを利用したオンライン授業(遠隔授業)、課題・板書データ配信を行っている。
28	伊予農業高等学校	パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた授業、ロイロノートによる課題の配布・回収、チームスによる情報の共有など。
29	伊予高等学校	Teamsによる課題配信と回収、ロイロノートによる双方向型授業の実施。
30	大洲高等学校	一人1台端末の利用、授業におけるデジタル教科書の活用等
31	大洲農業高等学校	各教科でのロイロノートの活用、数学でのgeogebraの利用、国語表現やプロジェクト学習等でのプレゼンテーションソフトを用いた発表などを行っている。
32	長浜高等学校	電子黒板、教材提示、インターネット検索、写真・動画撮影・編集、アンケート・小テスト、プレゼン制作 等
33	内子高等学校	・Teamsの共有ファイル機能を利用して、ファイルを共同使用する。 ・授業の予習(反転授業)、復習(振り返り)の問題配信をする。
33	内子高等学校(小田)	まだ十分な活用ができていないのが現状である。そんな中、一部の教科・科目にはなるが、生徒のタブレットで、電子データにより課題を提出させそれを確認したり、生徒の記入したプリントを他の生徒に提示したりしている。
34	八幡浜高等学校	各教科で有効な活用を研究・実践している。
35	八幡浜工業高等学校	・生徒の意見の集約と発表 ・EILSでの英単語テストの実施 ・Teamsによる課題の配布・提出 ・体育において、運動の様子をカメラで動画撮影し、解析や評価に活用
36	川之石高等学校	電子黒板を利用し、教材等の提示 Teamsを利用し、課題の配付及び回収
37	三崎高等学校	一人一台端末の活用
38	宇和高等学校	課題の出題・回収、オンライン海外交流、課題研究の調べもの、発表時のポスターやスライド作成等。
38	宇和高等学校(三瓶)	・Zoom、Teamsを活用した情報交換・資料収集。 ・スタディサプリを活用した課題学習や自己学習。
39	野村高等学校	調べ学習、プレゼンテーションの作成、レポート作成
40	宇和島東高等学校	・オンラインによる校外・海外の生徒との交流・共同学習 ・オンラインによる校外・海外の有識者による講義の聴講 ・オンラインによるディスカッション等の言語活動への自宅からの参加 ・臨時休業中のオンライン授業 ・ELISによる自己調整学習の実践 ・成果物の授業時間外での評価、教科会での共有・チームによる評価
40	宇和島東高等学校(津島)	1人1台端末の活用
41	宇和島水産高等学校	課題研究のプレゼンテーションを、端末を使って行っている。
42	吉田高等学校	Microsoft WhiteboardやForms、ロイロノート、Teamsなどを活用し、問題の解法や授業アンケート、班別の意見共有や、発表資料の準備、課題配布・回収、各種連絡など。
43	北宇和高等学校	レポートの作成 課題の送受信 アンケート実施
43	北宇和高等学校(三間)	スライドの投影、生徒の発表、文書やアンケートの作成、外部とのオンライン交流、遠隔授業、板書の撮影・拡大(学習支援)など。
44	南宇和高等学校	Teamsを利用した課題配信や回収、生徒間のファイル共有、調べ学習やプレゼンテーション。
45	今治東中等教育学校	すべての教科において、電子黒板を活用した授業が主流となっている。Teamsを活用したプレゼン作りや、Zoomを用いた地域の人々との交流など、各教科で工夫を凝らした授業が展開されている。
46	松山西中等教育学校	グループ活動で集約した意見を全体で共有したり、各科目の課題を端末から提出させたりしている。
47	宇和島南中等教育学校	電子黒板、一人一台端末の利用、デジタル教科書(前期課程の英語)の活用。
48	松山盲学校	テキストデータや点字データ、音声データなど、生徒の障がいの状態に応じた形式の教材を配付し、パソコンやタブレット端末、ブレイクストーク(デジタイゼーション機器)、ブレイルメモ(点字ディスプレイ)などの機器を活用して学習している。見えにくさを補うために、生徒が眼前で確認できるディスプレイを設置して活用している。
49	松山聾学校	授業で音声文字変換アプリを利用して教員が説明したり、学校間の交流で、会議用アプリでリモートによる交流を行ったり、それらのアプリで他校とのコミュニケーションをとったりしている。

50	しげのぶ特別支援学校	○iPad(一人一台端末)や電子黒板を使用した授業 ○外国のことや伝統文化についての調べ学習でインターネットを活用したり、成果報告でプレゼンテーションアプリを活用したりしている。 ○国語の作文などで書き直しやすさなどの点でも、書く活動に時間が掛かる生徒が取り組みやすい。 ○バーチャルピアノ(オンライン上のピアノ)を使ったメロディづくり。(指で操作しやすい、視覚的に分かりやすい。) ○調べ学習でGoogleスライドを活用し、友達と共同学習を行っている。調べる分野を話し合ったり、分からないところを教え合ったりしている。
51	みなら特別支援学校	・小学部においては、ロイロノートを中心に使用し、児童が画面にタッチして対象物を移動させることで、言葉での表現が難しい児童でも理解していることを伝えることができたり、電子黒板に大きく写した画像を紙に写し取って、修学旅行の行き先の地図を描いたりする等、効果的に使用している。 ・タブレット端末は日々の授業でよく活用している。平仮名学習において、紙と鉛筆では字が書けない生徒が、タブレット端末の教育アプリや電子黒板に映し出す文字を指でなぞり書きできることがある。鉛筆や消しゴムの使用が苦手な児童生徒にとって効果的である。 ・音や光で、支援され称賛されるアプリは、ゲーム感覚で楽しそうである。 ・他の学校の生徒とオンライン交流を行った。
51	みなら特支学校(松山城北)	生活単元学習で畑の野菜の生長観察記録を継続的につけることができ、自分が植えた野菜に責任を持って主体的に取り組むことができた。
52	今治特別支援学校	スケジュールの制作 スケジュールや学習活動の画像、動画の提示 ズームでの合同授業 クラスルームでの課題配布や提出 ジャムボードでのお絵描き遊び プログラミング学習 発語のない生徒のコミュニケーション アプリを活用した学習活動
53	宇和特別支援学校(知的)	調べ学習、ロイロノートでの発表や意見交換等を行っている。
54	新居浜特別支援学校	・電子黒板、1人1台端末を使用しての発表。 ・アプリを使って自分の意思を伝えたり、活動の準備を自分で行ったりする。
54	新居浜特別支援学校(川西)	配備されているタブレット端末をコミュニケーション代替機器として用いて、楽器演奏や描画が行えるアプリを使用した。また、調べ学習や情報収集、写真や動画撮影などを行った。集会活動などの進行をコミュニケーションアプリを使用して行った。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	クロームミュージックラボの「ソングメーカー」を使った曲作り。 ロイロノートを使って選択式のインタビューをしたり、調理のレシピを作ったりしている。 タブレットで、アプリ(ひらがな、あんざんまんなど)を活用しながら国語(読み書き)算数(計算)の学習 「Kahoot」を利用し、授業でクイズ大会を行う。 動画編集アプリで、動画を編集し、制作や調理方法を分かりやすく提示する。 Zoomを活用した遠隔授業の実施。
定1	川之江高等学校(定)	資料に提示、調べ学習
定5	新居浜西高等学校(定)	各授業(総合的な探究の時間を含む)において、教科の特性に応じた資料提示ソフトや書画カメラ等を積極的に活用している。
定9	西条高等学校(定)	各教科で毎時間一度は一人一台端末を使用するように決めており、各教科の特性に合わせて資料を配布・提示したり、検索を行ったりしている。
定14	今治西高等学校(定)	スライドによる授業展開や課題等の提示及び提供、実験・観察結果を共有する。
通20	松山東高等学校(通)	動画や静止画などを効果的に活用したプレゼンテーションを作成し使用している。
定21	松山南高等学校(定)	電子黒板でスライド等を提示 話し合い活動においてロイロノートで意見の集約 全盲の生徒へのテキストデータの配布と回収(テキストデータはアプリで読み上げ可能なため)
定24	松山工業高等学校(定)	資料の提示、課題の配布、回収
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	大部分の授業で、移動可能な電子黒板を利用している。また、書画カメラ等を使って手書きでも簡単に活用できるようにしている。
定34	八幡浜高等学校(定)	調べ学習をしたものをプレゼン資料にまとめ全体で発表させている。
定40	宇和島東高等学校(定)	実技を伴う科目では、教員の手本を動画で撮影し編集したものを、生徒が1人1台端末を見ながら作業をするという取組を行っている。
55	愛媛大学附属高等学校	教員が解説する際に教科書や解説画像などをスクリーンに投影している。また、生徒が持参しているPCを用いて調べ学習を行ったり、実験などの記録に使ったり、グラフや図形など専用のアプリを用いて表示したりと、理解できやすいように活用している。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	端末画面の大型提示装置への投影や授業支援アプリの活用
57	FC今治高等学校明徳校	事例なし
58	今治精華高等学校	パソコン、タブレットを利用して調べ学習。
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	資料配付や課題の提出を行ったり、意見の共有や、共同作業による課題の作成。
61	聖カタリナ学園高等学校	ロイロノートを中心に、授業でICTの活用を進めている。探究活動においては、ロイロノートで作成したスライドで発表を行った。ロイロノートのゲームモードなどは、授業の最初に行くと、非常に効果的であった。
62	松山東雲高等学校	スクリーンとIpadをつなげてのデジタル教材の活用。
63	松山学院高等学校	一人一台の端末を使い、調べ学習、パワーポイント等での発表資料作りを各自(場合によってはグループ)で行っている。自教室で手軽に行えるため、どの教科・科目でも積極的に活用している。
64	新田高等学校	生徒それぞれに端末を購入させ、調べ学習や課題の提出に使用している。

65	愛光高等学校	ロイロノートを活用して、生徒の答えを集約し考えさせている。
66	松山聖陵高等学校	ロイロノートを用いた意見の共有や資料配布。 調べ学習や教科書のQRコードの利用。
通67	未来高等学校(通)	eラーニングアプリ「すらら」を活用し、生徒の学力に応じた学び直しを実施している。
69	済美平成中等教育学校	各教科において、調べ学習や発表学習における活用、オンライン英会話等
70	新田青雲中等教育学校	生徒の各自のパソコンで、探究内容のまとめとプレゼンテーションの資料の作成まで行っている。最終的には、タブレットパソコンを片手に、プレゼンテーションを行っている。

・学校行事やホームルーム活動での活用事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	パワーポイントなどで作成したスライドや動画を、プロジェクトでスクリーンに投影。Teamsを利用したアンケートの実施。
2	三島高等学校	マチコミを通じて保護者・生徒・教職員への連絡を行う。Teams・ロイロノートを活用してアンケートなどの実施・集計を行う。など
3	土居高等学校	ロイロノート(人権・同和教育ホームルームでの意見共有)
4	新居浜東高等学校	マチコミを用いた保護者への各種行事連絡。ロイロノートやClassi、Formsを用いたアンケートの実施。
5	新居浜西高等学校	HR活動では、ロノートの活用により協同作業が効率よくできた。
6	新居浜南高等学校	卒業式や入学式のオフライン動画配信。各種アンケートの実施及び集計(Google for EducationのClassroom、Formsを使用)。
7	新居浜工業高等学校	・ホームルーム活動で、Teamsの投稿機能を使用して、前期生徒総会で挙げる議題について、各生徒が意見を書くという活動を行った。 ・委員会活動で、Teamsの課題機能を使用して、ホームページやSNS用の記事作成を生徒に行わせている。ワードファイルで様式を提示し、生徒は1人1台端末のカメラで撮影した写真をワードに添付して記事を書き、提出している。
8	新居浜商業高等学校	3年生による進路体験発表会を全クラスへ動画配信をして実施し、それぞれの教室でメモを取りながら視聴できるようにした。
9	西条高等学校	ホームルーム活動において、担当班の生徒が事前準備としてプレゼンテーションを作成し、活動の運営を行っている。
10	西条農業高等学校	・集会などで動画やプレゼンの投影 ・体育祭における装飾の評価をFormsで投票・集計 ・部紹介ビデオ ・行事の内容や移動コースなどを動画で説明
11	小松高等学校	YouTubeを利用した学校行事のライブ配信。全校集会での委員会活動発表資料の作成。
12	東予高等学校	臨時休校時に、担任・副担任がSHRを「ロイロノート」で行い、健康観察や生徒の様子を確認することができた。また、講演会などの遠隔授業を「Zoom」で中継し、生徒たちは各HR教室で視聴する形で実施した。
13	丹原高等学校	熱中症対策として、夏の時期の集会をTeamsで中継し、各教室で分散して行った。
14	今治西高等学校	学校行事においては、情報教育課や放送部が中心となり、各種式典や講演会、演奏会の教室への配信を行っている。また、全校集会をオンラインで実施する場合においても、ホームルーム運営委員が中心となり、教室への接続作業を行っている。
14	今治西高等学校(伯方)	大三島分校との統合を見越して、講演会等がある場合は配信を行なっている。
15	今治南高等学校	・アンケートや意見などの集約 ・電子データでのやり取り
16	今治北高等学校	学校行事の中継、調べ学習、アンケート、プレゼンの作成など
16	今治北高等学校(大三島)	教員がパワーポイントを用いて作成したスライドをホワイトボードに投影してホームルーム活動を行う。
17	今治工業高等学校	生徒の個人端末を活用し、週間時間割の配布、健康観察、学校行事等の写真の共有、面接指導、履歴書指導などの進路指導を実施している。また、スタディサプリの連絡機能を用いて、生徒の欠席連絡を集約、保護者への連絡を周知している。
18	弓削高等学校	一人1台端末を活用して担当班がプレゼンテーションを作成したり、生徒がアンケートに答えたりしている。
19	北条高等学校	電子黒板・オンラインアンケート・Teams等
20	松山東高等学校	Teamsによる連絡事項伝達(時間割や変更など)。生徒会による積極的な活用。
21	松山南高等学校	ロイロノート及びチームズを活用しながら、各教員ホームルームを行うことができてきている。
21	松山南高等学校(砥部)	・Formsを活用したアンケート(感想等)の集計 ・デジタル旅のしおり ・長期休業中の調べ学習の提出とHR運用(Teams, Forms) ・運動会での準備担当表の提示
22	松山北高等学校	ロイロノートでの意見交換、Classiのポートフォリオへの活動内容や感想の入力等で活用しています。
22	松山北高等学校(中島)	・360°カメラで校内を撮影し、校内VRツアーのリンクをHPに掲載 ドローンによる学校撮影
23	松山中央高等学校	欠席連絡をマチコミで行うようになったり、各種アンケート、調査をFormsを活用したりすることで、教員の業務負担が軽減された。ホームルーム活動では、ロイロノートを活用した展開により授業の活性化につながっている。
24	松山工業高等学校	生徒会からのアンケートやホームルーム活動での発表資料の作成など。13と同様に斬新活用事例は特にない。
25	松山商業高等学校	会議ツールを利用して専門家から話を聞くなどの活動を行った。
26	東温高等学校	アンケート集計、発表活動等で活用している。
27	上浮穴高等学校	Formsを利用して、アンケートを実施した。
28	伊予農業高等学校	調べ学習や情報の共有、リモートでの集会など。
29	伊予高等学校	Teamsによるアンケートの配信と回収、ロイロノートによる双方向型授業の実施。
30	大洲高等学校	全校集会や講話などTeamsで実施した

31	大洲農業高等学校	アンケートの集計、発表、調べ学習、農業クラブ生徒研究発表大会県大会等のクラスでの視聴など
32	長浜高等学校	ライブ配信、写真・動画撮影・編集、インターネット検索、アンケート 等
33	内子高等学校	ホームルーム活動で、各班で何かを決定する際にTeamsの共有ファイル機能を使用する。
33	内子高等学校(小田)	事前にテーマが設定されている人権・同和教育や主権者教育をはじめ、生徒が担当者として活動するホームルーム活動において、タブレットやプロジェクター、電子黒板を活用しながら効果的にホームルーム活動ができるよう工夫している。
34	八幡浜高等学校	学校行事の記録やアンケート等で活用している。
35	八幡浜工業高等学校	・ホームルーム活動での意見の集約や発表に活用。 ・ホームルーム活動でのアンケートの実施や集計に活用 ・ホームルーム活動での調べ学習などを、1人1台端末を用いて自教室で行う。
36	川之石高等学校	1人1台端末を利用し、班別活動やアンケートなどを行った。
37	三崎高等学校	パワーポイントを作成し、プレゼンテーション
38	宇和高等学校	課題研究発表会等のオンラインでの実施。 ホームルーム活動での共同編集、意見集約。
38	宇和高等学校(三瓶)	Zoom、Teamsを活用した情報収集。
39	野村高等学校	プレゼンテーションでの活用、アンケートの実施と集計
40	宇和島東高等学校	・オンラインによるディスカッション等の言語活動への自宅からの参加 ・臨時休業中のオンライン授業 ・臨時休業中のSHRの実施 ・オンラインによる懇談会・面談の実施 ・集計ソフトの活用によるデータ分析
40	宇和島東高等学校(津島)	1人1台端末の活用
41	宇和島水産高等学校	文化祭でのフォトコンテストを、formsのアンケート機能を用いて行った。
42	吉田高等学校	・リモート(TeamsとZoom)による全校集会や2学年次インターンシップ実施の事前・事後指導 ・写真や動画での記録、発表資料作りや諸連絡、アンケート集計、Teamsやロイロノートによる意見の共有と集約、比較・検討時に活用など。
43	北宇和高等学校	ロイロノートを活用した班での話し合い結果の発表
43	北宇和高等学校(三間)	生徒の発表、文書やアンケート、動画等の作成など。
44	南宇和高等学校	Formsによるアンケート実施。
45	今治東中等教育学校	Classiの機能を活用し、学習時間記録、キャリアパスポートの記録をさせている。(後期) 学校別進路ガイダンスをオンラインで実施し、生徒は自宅で参加した。(後期)
46	松山西中等教育学校	講演会や大学の講義など、Web会議形式で実施した。
47	宇和島南中等教育学校	電子黒板、一人一台端末の利用、学校行事における教室へのリモート配信。
48	松山盲学校	高等部普通科の交流及び共同学習では、生徒自身が情報機器の紹介を行うことで、視覚障がいに対する理解・啓発を進めるとともに、生徒の表現力・発信力を高められるようにしている。 学級が少人数であることが課題となっているため、中国・四国地区の盲学校や地域の学校とオンライン交流を行い、集団での学習経験が重ねられるようにした。
49	松山聾学校	アプリを用いて、リアルタイムに校内で配信したり、動画配信サイトにおいて、学校行事の動画を配信したりしている。
50	しげのぶ特別支援学校	○運動会や学習発表会、卒業式などをYouTubeでライブ配信し、教室等で視聴することで参加できるようにしている。 ○児童生徒総会などはZoomを用いて参集したり、意見交換をしたりする形を取っている。 ○総学や学活などにおけるプレゼン資料の作成、動画編集
51	みなら特別支援学校	・児童生徒数の増加により、一か所に全校児童生徒が集まることが難しくなった現状があり、コロナ禍で浸透したオンラインでの画面を通じた活動を継続している。 ・中学部においては、地域交流の相手校と相談し、オンラインでの交流学習を実施した。参加型のテレビ番組に出演しているかのような盛り上がりであった。この経験から、教師側の意識も高まり、学年内での活動もオンラインで行う等、発展的に活用している。
51	みなら特支学校(松山城北)	防災学習や主権者教育など、分かりやすい教材を活用することにより、専門的な内容を身近なこととしてとらえ、興味を持って取り組めた。
52	今治特別支援学校	集会や式典のオンラインでの配信
53	宇和特別支援学校(知的)	画像や音声等を通じた情報提供、ネット検索やアンケート機能を使った情報収集等を行っている。
54	新居浜特別支援学校	交流校とのオンライン会議
54	新居浜特別支援学校(川西)	電子黒板機能付きプロジェクターやWeb会議ツールZoomを使い、各教室や特別教室をつなぎ、児童生徒総会や全校朝礼などの行事を分散型で実施した。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	発語の難しい児童生徒に読み上げ機能の使用。
定1	川之江高等学校(定)	資料の提示、生活体験発表の作文の作成・提出
定5	新居浜西高等学校(定)	非行防止教室等やレクレーション大会、人権・同和教育学習会等での画像・動画・資料提示で活用している。
定9	西条高等学校(定)	動画を見せる。検索をさせる。インターネット講習を受けさせる。
定14	今治西高等学校(定)	教材や動画等を投影して生徒に示した。
通20	松山東高等学校(通)	体育館で実施する運動会で、日程や対戦表、結果などを表示した。
定21	松山南高等学校(定)	電子黒板でスライド等を提示 話し合い活動においてロイロノートで意見の集約 学校内探検で使用

定24	松山工業高等学校(定)	映像、資料の提示
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	生活体験発表の作文等で1人1台端末を活用している。また、夏季休業中にオンライン登校日を設けている。
定34	八幡浜高等学校(定)	クラスによりPC教室の定期的な活用を行っている。
定40	宇和島東高等学校(定)	パワーポイントや動画をプロジェクターで投影したり、文書の作成やアンケートの回答を1人1台端末で実施したりしている。
55	愛媛大学附属高等学校	ホームルーム活動においては調べ学習に用いることもあるが、学校行事においては生徒のPCの活用はない。交通安全教室などで教員がスクリーンに投影する程度である。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	端末画面の大型提示装置への投影
57	FC今治高等学校明徳校	事例なし
58	今治精華高等学校	行事後に、活動の様子をインスタやyou tubeで紹介。
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	アンケートの回答や、教員と生徒の連絡ツールとしても活用している。
61	聖カタリナ学園高等学校	ロイロノートやGoogleclassroomなどを活用し、プリントを配布したり、意見交換などを行った。人権のHRでは、ロイロノート上でふせんで意見を出し合い、クラスで一つの掲示物を作成した。
62	松山東雲高等学校	google classroomでの連絡事項や生徒とのやりとり。
63	松山学院高等学校	一人一台の端末を使い、調べ学習、パワーポイント等での発表資料作りを各自(場合によってはグループ)で行っている。自教室で手軽に行えるため、どの教科・科目でも積極的に活用している。
64	新田高等学校	式典や表彰伝達等において、meetを利用している。
65	愛光高等学校	Classroomを通じて連絡ツールとして利用している。
66	松山聖陵高等学校	アンケートの配布・集計や資料提示、zoomを活用した集会の実施など。
通67	未来高等学校(通)	formsを用いたアンケートの実施、集計を行っている。
69	済美平成中等教育学校	優秀論文発表会の動画や交通安全教室などの集会の資料等の各HRへの配信
70	新田青雲中等教育学校	生徒が生徒の意見をまとめて集計し、スクリーンへ投影するなどを行っている。

・家庭学習での活用事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	スタディサブリを導入し、予習や復習に活用している。
2	三島高等学校	授業の提出物について、教員からの配布や生徒からの提出に役立っている。
3	土居高等学校	マイクロソフト365(情報Ⅰ:夏休みの課題(ワード))
4	新居浜東高等学校	ロイロノートやClassi、Teamsを利用した課題の提出。
5	新居浜西高等学校	課題を撮影し、ロイロノートに提出させ、次時にホワイトボードに投影し解説するなど、効率よく授業ができています。
6	新居浜南高等学校	各教科で課題(長期休業中を含む)の配信及び諸連絡に活用。
7	新居浜工業高等学校	教科書の音読を録音(録画)し、Teamsの課題に提出させたり、ワークなどの課題を解き、配信された解答で自己採点・添削したものを写真に撮影し、その画像をTeamsの課題に提出させたりしている。
8	新居浜商業高等学校	長期休業中など、ロイロノートを用いて課題を配信、添削をした。
9	西条高等学校	スタディサブリを導入し、動画視聴とテストを組み合わせた家庭学習を推奨している。
10	西条農業高等学校	・Teamsを活用して課題提出を行う。 ・長期休業中課題の提出、データのグラフ化の提出
11	小松高等学校	Teamsやロイロノートを活用した課題の提出。
12	東予高等学校	「ロイロノート」を活用し、送付した課題を提出させ、添削したものを返信し再度提出させるなどしている。工業科では、実習のレポートを自宅で作成させ、期限までに提出させたりもしている。
13	丹原高等学校	Teamsでの課題配布・回収を行った。
14	今治西高等学校	ロイロノートやTeams、Classi等を活用して、各教科とも課題の配信や提出を行っている。英語の課題として音読の動画を撮影させて、その動画をロイロノートで提出させた。運動会の時期には、フォークダンスの振り付けの動画の配信をTeamsで行った。
14	今治西高等学校(伯方)	スタディサブリを導入し、家庭学習に活用している。
15	今治南高等学校	・レポート作成 ・課題や調査範囲の配布と回収 ・進路情報の収集
16	今治北高等学校	調べ学習、コロナ対策でのオンライン授業、教材の配布、オンライン講座での自学自習
16	今治北高等学校(大三島)	今治市の支援を受けているスタディサブリを用いて、自学自習を行う。
17	今治工業高等学校	Microsoft Teamsを活用した課題の送信・提出を行っている。また、スタディサブリの到達度テストの結果に基づいた生徒個々に対して個別最適な課題や学習動画の配信を行い、家庭学習で活用できるように計画している。
18	弓削高等学校	「ロイロノート」や「スタディサブリ」を活用して家庭学習を行っているほか、作文の課題等はWordで作成・提出している。
19	北条高等学校	Teams
20	松山東高等学校	Teams・ロイロノートによる課題配布。
21	松山南高等学校	ロイロノート及びチームズで課題の提出を行っているへ教員も多い。
21	松山南高等学校(砥部)	・調べ学習など ・プレゼンの作成(Powerpoint)
22	松山北高等学校	Classiの予習動画を視聴、ロイロノートに学習教材の解答を掲載(いつでもアクセス可能な環境)等で活用しています。
22	松山北高等学校(中島)	・ロイロノートによる課題提出 ・Teams会議での情報共有
23	松山中央高等学校	家庭学習の課題を提出したり、解答解説を配布したりする際にロイロノートを活用している事例がある。
24	松山工業高等学校	課題の提出、共同編集で活用している。その他の新しい事例は特にない。
25	松山商業高等学校	Teamsによる課題の配布と提出、学習動画の視聴などを行った。
26	東温高等学校	スタディサブリを使った課題配信等で活用している。
27	上浮穴高等学校	TeamsやClassiを利用して、課題配信を行った。
28	伊予農業高等学校	課題の配布・回収、復習に活用できる学習内容の共有など。
29	伊予高等学校	Teams、ELISによる問題・解答等の配信・回収。
30	大洲高等学校	授業の予習復習等のための教材等をTeamsのフォルダに送り使用した。
31	大洲農業高等学校	課題の配信・提出、調べ学習等での活用
32	長浜高等学校	動画視聴学習、課題配信(自宅待機生向け)等
33	内子高等学校	Teamsの会議機能でオンライン授業をする。
33	内子高等学校(小田)	インターネット上にある学習コンテンツを利用し、授業の予習・復習をさせるなどしている。
34	八幡浜高等学校	課題等の配信など。
35	八幡浜工業高等学校	・Teamsによる課題の配布・提出
36	川之石高等学校	Classiを利用した学習動画 ELISで課題を配信
37	三崎高等学校	学習系サブリ(スタディサブリ)の活用
38	宇和高等学校	課題の実施、提出。小テスト。SHR。
38	宇和高等学校(三瓶)	スタディサブリを活用した課題学習・自己学習。
39	野村高等学校	課題の提出
40	宇和島東高等学校	・ELISによる自己調整学習の実践 ・成果物の授業時間外での評価、教科会での共有・チームによる評価 ・解説動画・スライドの配信

40	宇和島東高等学校(津島)	1人1台端末の活用
41	宇和島水産高等学校	複数の教科で、teamsを使った家庭学習課題が出されている。
42	吉田高等学校	Teamsやロイロノートによる課題の配信と回収と添削、Classiの学習動画の利用など。
43	北宇和高等学校	課題の送受信
43	北宇和高等学校(三間)	Teamsでの課題の配信と提出の確認、添削指導など。
44	南宇和高等学校	課題の配布や指示、回収。
45	今治東中等教育学校	Classi、Teamsを活用し、課題の配布やその添削や解説の送信などにより、家庭学習をサポートしている。
46	松山西中等教育学校	ロイロノート及びTeamsを活用し、課題や教材の配布・回収、提出物の点検を行っている。
47	宇和島南中等教育学校	一人一台端末の利用、デジタル教科書(前期課程の英語)の活用。
48	松山盲学校	UDブラウザ(教科書・教材閲覧アプリ)を活用し、タブレット端末にPDF形式の教科書をダウンロードしている。拡大教科書と併用することで学習効率が高まった。 DropBoxで教材を配付し、家庭学習に活用している。 Teamsをデータの配付・共有やオンラインでの指導に活用している。 理療科では国家試験対策の問題演習プログラムを開発し、インターネット上で繰り返し問題演習ができるようにしている。 寄宿舎にWi-Fiを導入したことで、生徒の自主学習にICT機器を効果的に活用できるようになった。
49	松山豊学校	基本的に、家庭にタブレット端末を持ち帰らせていない。
50	しげのぶ特別支援学校	○Googleクラスルームを用いた課題の配付
51	みなら特別支援学校	・家庭には持ち帰らせないのが基本方針。 ・高等部においては、学校に登校することが難しい生徒(不登校生)に対し、ロイロノートで学習予定表や課題等を送り、家庭での学習や登校意欲につながるよう活用している。
51	みなら特支学校(松山城北)	調べ学習を課題にしたときに、料理の画像や動画の検索など、興味を持って取り組むことができた。
52	今治特別支援学校	教科等のプリントを生徒の一人一台端末に配付し、家庭で取り組んでクラスのアカウントに提出する ホームページに課題や動画をアップする
53	宇和特別支援学校(知的)	家庭に持ち帰り、授業での課題学習を行っている。
54	新居浜特別支援学校	特になし
54	新居浜特別支援学校(川西)	在籍児童生徒を対象とした公式YouTubeチャンネルで、各部で家庭学習支援用の動画を作成し配信している。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	Zoomで課題の内容を伝え、ロイロノートで課題の提出をさせた。
定1	川之江高等学校(定)	特になし
定5	新居浜西高等学校(定)	夏季休業中の課題を各科目グループごとに掲載し、家庭学習の成果を提出するようにしている。(一部科目)
定9	西条高等学校(定)	生徒個人に任せており、学校からは特別な指示は出していない。
定14	今治西高等学校(定)	特になし
通20	松山東高等学校(通)	自学自習のために、NHK高校講座を視聴させている。
定21	松山南高等学校(定)	授業や長期休業中の課題をロイロノートやTeamsで配布・回収・返却
定24	松山工業高等学校(定)	課題学習等
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	長期休業中の課題に利用している。
定34	八幡浜高等学校(定)	タブレットの活用が十分にできておらず、活用ができていない。
定40	宇和島東高等学校(定)	臨時休業の際に、課題の提出などで活用した。
55	愛媛大学附属高等学校	生徒への配信アプリを活用している。Classiやスタディサプリ、Libryを用いている。また、愛媛大学のMoodleを使用して課題や課題の解答を公開している。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	特にありません。
57	FC今治高等学校明徳校	課題の配信
58	今治精華高等学校	classiで時間割や伝達事項を送信。
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	課題や教材の配布、回収、提出物のチェック、解答の配布による自己採点等。
61	聖カタリナ学園高等学校	主に課題の提示や提出に用いていることが多い。その他には授業スケジュールの共有や動画の配信などを行い家庭での学習を支援している。
62	松山東雲高等学校	スタディサプリの導入や、googlemeetでの対面での対応、youtubeなどを利用した動画配信など。
63	松山学院高等学校	スタディサプリを導入しており、課題配信を行い、家庭学習で取り組ませている。
64	新田高等学校	スタディサプリを導入し、課題配信や提出をさせている。
65	愛光高等学校	宿題の提出にロイロノート等を利用している。
66	松山聖陵高等学校	学習課題への取り組み状況や取り組み時間の把握ができる。
通67	未来高等学校(通)	teamsを用いた学習教材の配布や、「NHK高校講座」「教科書解説映像」を活用した学習環境の構築を行っている。
69	済美平成中等教育学校	ロイロノートやグーグルクラスルームによる課題回収、スタディサプリ等による動画閲覧
70	新田青雲中等教育学校	課題の配信、生徒の個人的な質問の受付、授業動画による学習。

(2) 1人1台端末を活用することで、業務の改善につながっている好事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	Teamsを利用した連絡や課題・解答などの配付については、業務時間の短縮につながっている。
2	三島高等学校	欠席連絡の処理や、その他の集計が早くなった。ペーパーレス化が進んでいる。
3	土居高等学校	授業評価アンケートなど、アンケートで活用。
4	新居浜東高等学校	小テストの採点および記録やアンケート集計の時間削減につながっている。
5	新居浜西高等学校	アンケートや学習の自己評価をFormsで回答させることで、集計の負担を軽減できている。
6	新居浜南高等学校	アルバイト許可生徒のWeb上でのスケジュール管理(ClassroomとSheetsを利用、生徒が業務時間をSheetsに入力する)により情報の一元化と紙媒体の廃止、担当者の負担が軽減された。各種アンケートの実施(ClassroomとFormsを利用)により、紙媒体の廃止及び集計時間の短縮ができている。
7	新居浜工業高等学校	これまで紙媒体で行っていた授業評価アンケートや学校評価アンケートなどの各種調査の回答をFormsで行うことにより、ペーパーレス化を図ることができた上に、集計作業にかかる労力と時間が大幅に減少した。
8	新居浜商業高等学校	研究中である。
9	西条高等学校	アンケートの集計が簡略化され、業務の負担軽減につながっている。
10	西条農業高等学校	・アンケートなどを実施するとき、回収や集計作業が軽減された。 ・生徒への連絡で活用 ・Formsなどでアンケートなど。書くのが苦手な生徒も、端末ならすらすら解く場合が多い ・百問繚乱、デジタル採点後の答案返却。不正行為も防げる。 ・テストの実施
11	小松高等学校	紙媒体での課題配布が必要なくなり、データでの課題の回収、点検、評価がしやすい。
12	東予高等学校	現状では、1人1台端末の活用により学習支援が円滑に行えるようになったが、業務改善にはつながっていない。
13	丹原高等学校	進路希望調査などのアンケート入力・集計を端末で行うことにより、集計作業が容易になった。
14	今治西高等学校	対外模試や大学入学共通テストの自己採点や学習時間調査等の各種アンケート等を1人1台端末を利用して行っている。集計が短時間でできるので業務の改善につながっていると考ええる。また、時間割、月間の行事予定、諸会費口座振替等の文書等の配信を行うことによって、ペーパーレス化につながっていると考ええる。
14	今治西高等学校(伯方)	課題のペーパーレス化
15	今治南高等学校	・課題の提示と実施後の回収。 ・緊急連絡および安否確認。
16	今治北高等学校	各種調査の集計処理、印刷物の削減、連絡・授業変更などの提示
16	今治北高等学校(大三島)	授業中に調べ学習を行いたいときに、パソコン教室に行かなくてもできるようになった。
17	今治工業高等学校	生徒個々に配付するプリント(連絡事項や課題)の量を減少させることができた。
18	弓削高等学校	Teamsにより、生徒への連絡(時間割やホームルーム担任からの連絡等)が容易に行うことができている。
19	北条高等学校	オンラインアンケート
20	松山東高等学校	連絡事項の簡素化。プリント配布の代替。
21	松山南高等学校	プリント類のペーパーレス化
21	松山南高等学校(砥部)	・アンケートの集計、分析、資料作成 ・課題回収の効率化
22	松山北高等学校	生徒への一斉連絡、アンケート機能、生徒からの質問に対する回答、3年生の進路指導(志望理由書・小論文の添削等)等で業務改善しています。
22	松山北高等学校(中島)	長期休業中の手引をTeamsで配布し、印刷や製本にかかる時間削減や用紙の節約につながった。
23	松山中央高等学校	印刷業務や課題を確認する業務の負担が軽減した。
24	松山工業高等学校	特になし。
25	松山商業高等学校	アンケートの自動集計などで教員の事務作業が減った。
26	東温高等学校	アンケート集計処理の簡便化
27	上浮穴高等学校	Formsでアンケートを実施することにより、集計・分析の効率化につながった。
28	伊予農業高等学校	調べ学習を行いやすい。情報を共有しやすい。欠席生徒にも、授業内容を知らせることができる。課題を提出させやすい。など
29	伊予高等学校	SHRにおける連絡事項の時間短縮、解答等のペーパーレス化、双方型授業の研究。
30	大洲高等学校	小テストやアンケートなどの集計作業
31	大洲農業高等学校	アンケートの回収、小論文等の添削、欠席生徒への連絡やHR担任から生徒への一斉連絡がしやすくなった。
32	長浜高等学校	時間割等の連絡事項の徹底、教材提示・課題配信の効率化、アンケートの実施 等
33	内子高等学校	生徒の理解度を上げるために、手軽にインターネットなどを活用する授業が展開できる。
33	内子高等学校(小田)	行事に参加した生徒の感想文の提出や、授業実施内容の自己評価の集計などに活用することで、担当教員が確認しやすいようにしている。
34	八幡浜高等学校	特になし。

35	八幡浜工業高等学校	・英単語テストを1人1台端末とEILSを用いることで、教員が採点する必要がなくなった。 ・1人1台端末を用いれば、パソコン教室等の施設予約の必要なく、ホームルーム活動や授業にICTの導入が可能となった。
36	川之石高等学校	Formsの利用によるアンケートの調査・集計
37	三崎高等学校	アンケートの集計、小テストの実施
38	宇和高等学校	各自が端末を所持することで、紙媒体のやりとりが少なくなった。
38	宇和高等学校(三瓶)	Teamsを活用した体調管理。
39	野村高等学校	アンケートの集計
40	宇和島東高等学校	・教職員の労働時間短縮 ・緊急連絡の効率化
40	宇和島東高等学校(津島)	クラスの生徒への連絡等。
41	宇和島水産高等学校	学校評価アンケートを、forms上でやっている。
42	吉田高等学校	Formsやロイロノートでのアンケートの集計、課題の回収、連絡の伝達。
43	北宇和高等学校	特になし
43	北宇和高等学校(三間)	生徒会誌の原稿の提出、校正。
44	南宇和高等学校	アンケートの集計処理。
45	今治東中等教育学校	健康観察入力・出欠連絡・授業評価アンケートをTeamsで実施しており、担当者の業務改善につながっている。
46	松山西中等教育学校	学習時間調査やアンケートなどの各種調査の回答に利用し、集計の負担が軽減されている。
47	宇和島南中等教育学校	進路指導における担任と生徒との情報交換。
48	松山盲学校	Teamsで課題を配付したり、動画を共有したりすることで、多様な学習が計画できるようになった。しかし、視覚に障がいがある生徒には、点字の資料が必要なことは変わりなく、業務改善に直結するとは、言い難い状況である。
49	松山聾学校	Microsoft Teams、Google Workspaceを活用して、子どもとの連絡を円滑に行ったり、映像や文字データを効率よく共有している。
50	しげのぶ特別支援学校	○デジタル教科書やデジタル教材を活用することで教材準備の負担軽減につながっている部分がある。 ○教師とデータを共有しておくことで進捗状況を把握しやすかったり、リアルタイムでのやり取りができた。○iPadで狭陰を配付することで、プリントの印刷等の業務が減少した。 ○校内の生徒対象にマイクロソフトのformsでアンケートを実施した。集計、分析に係る時間が短縮された。
51	みなら特別支援学校	・ロイロノートの資料箱を有効に活用して、学年教材や学部全体で共有しているデータを使ったり、参考にしたりしている。 ・ロイロノートを使用した授業で少しずつ増え、教材もたまってきている。
51	みなら特支学校(松山城北)	業務の改善といえるほどの好事例はありません。
52	今治特別支援学校	教材作りのの時間短縮 教材の提示がしやすく、有効
53	宇和特別支援学校(知的)	紙媒体を使用しなくても、情報の共有や収集がでやすくなった。
54	新居浜特別支援学校	・学習活動アンケートの実施と集計 ・写真教材等をカラー印刷して使用していたものが、画像として使用でき、一斉に伝えることができる。
54	新居浜特別支援学校(川西)	個人の実態や学びに合った視覚的教材の作成や提供が、素早く行えるようになった。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	プリント学習や教材がクラウド上で配布できるので、印刷しなくてもよいものが増えた。児童生徒の興味も高まり、意欲的に学ぼうとする場面が増えた。
定1	川之江高等学校(定)	特になし
定5	新居浜西高等学校(定)	進路希望調査や学校評価アンケート等で利用しており、集計がしやすくなっている。
定9	西条高等学校(定)	プリントや資料を配信することで、印刷業務から解放された。
定14	今治西高等学校(定)	・ペーパーレス化につながった。 ・教材の配布や回収が効率よくできた。
通20	松山東高等学校(通)	端末は配布されていない。
定21	松山南高等学校(定)	生徒対象アンケートの実施および集計 宿題の提出状況の確認や、添削、解答の配布
定24	松山工業高等学校(定)	ペーパーレス
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	授業アンケートをformsで実施することにより、集計作業の負担が軽減した。
定34	八幡浜高等学校(定)	生徒会誌の原稿作成等を一人一人の分担制にしており、編集担当者の業務が軽減できている。
定40	宇和島東高等学校(定)	生徒が回答したアンケートの集計において、作業時間を短縮することができている。
55	愛媛大学附属高等学校	今年度、土曜日の補習をClassiを活用してオンデマンドで配信することとした。これにより教員が土曜日に出勤することがなくなる。また、課題の提出状況などを確認しやすくなった。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	メッセージングアプリによる職朝・終礼の廃止。 クラウドによるデータの共有化。
57	FC今治高等学校明徳校	生徒との連絡の効率化
58	今治精華高等学校	特になし
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	生徒への連絡や課題等の配布が円滑に行える。

61	聖カタリナ学園高等学校	特進コースのみ1人1台端末です。ロイロノートを使用する上では、端末がかなり重要であると感じます。紙のノート廃止した例においては、授業プリントの印刷・配布の業務がなくなります。
62	松山東雲高等学校	端末が導入されていない。
63	松山学院高等学校	アンケート機能(グーグル等での無料機能を含む)を使い、回答の集計、分析がすぐに行えるようになった。
64	新田高等学校	印刷や採点業務の軽減
65	愛光高等学校	生徒への連絡の多くをGoogle Classroomを通じて行っています。
66	松山聖陵高等学校	ロイロノートを活用することで、ノートやプリント回収の簡略化ができる。
通67	未来高等学校(通)	特になし
69	済美平成中等教育学校	課題の回収について効率化が図られ、蓄積もでき、評価がしやすくなった。ペーパーレス化も進んでいる。
70	新田青雲中等教育学校	ペーパーレスは進んでいる。アンケートの実施と集計作業のスピード化。

(3) CBTシステム（ELIS等）の活用状況

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	ELISについては事前準備の負担が大きいためほとんど活用されていない。
2	三島高等学校	小テストでの実施をしている教科がある。
3	土居高等学校	情報Ⅰ（小テストで活用）
4	新居浜東高等学校	小テストで活用をしたことがある。
5	新居浜西高等学校	授業の最初に前時の復習テストを実施。 自動採点システム「百問繚乱」にて採点したテストをELISにて返却している。
6	新居浜南高等学校	本校では活用していない。
7	新居浜工業高等学校	特記事項なし
8	新居浜商業高等学校	各教科で使用について研究中である。
9	西条高等学校	情報科の小テストにおいて、定期的に活用している。
10	西条農業高等学校	・単元別テスト、小テストで活用する。 ・百問繚乱テスト返却
11	小松高等学校	複数回活用している教員もいるが、活用できていない教員も多い。初期設定する教務課の担当教員の業務負担が増えている現状がある。
12	東予高等学校	現状では活用していない。
13	丹原高等学校	一部教科担当で利用しているが、利用率としては低い状況である。
14	今治西高等学校	各教科・各科目で各種のアプリを活用している。しかし、ELISの活用については、各教科とも活用方法の研究が進んでいないのが現状である。
14	今治西高等学校(伯方)	各教科に案内し、活用の研究をお願いしている。
15	今治南高等学校	・小テストの準備をしても生徒側の端末がそろわない(端末を忘れるか、充電していない)ことが多いため、紙媒体の小テストも併用している。
16	今治北高等学校	教科によっては小テストを実施している。
16	今治北高等学校(大三島)	積極的には活用できていない。
17	今治工業高等学校	ELISは、一部が試験的に実施しているのみで、学校全体としての活用には至っていない。本年度導入のスタディサプリにより、到達度テスト、個別最適化された課題や学習度動画の配信、朝学習での活用などの取組を予定している。
18	弓削高等学校	試験的に利用してみたものの、常用はできていないため、今後研究を重ねたい。
19	北条高等学校	全員に案内はしています。
20	松山東高等学校	ロイロノートを使ったクイズやELISによる数学小テストの実施。
21	松山南高等学校	教科によっては頻繁に実施している。
21	松山南高等学校(砥部)	・地歴・公民、英語で小テストを実施
22	松山北高等学校	ELISについては小テストや課題配信で活用されているが、使用頻度は低い状況です。今年度から採用される百問繚乱とともに、これから全体的に活用されると思われます。
22	松山北高等学校(中島)	ほとんど活用できていない。
23	松山中央高等学校	ロイロノートやFormsに慣れていることもあり、多くの活用事例はないが、授業内で小テストを実施している教科もある。
24	松山工業高等学校	各教科担当が授業の中で実施していることがあるかもしれないが、ELISについては、活用して実施していた基礎力向上テストを廃止したので、活用できていない。
25	松山商業高等学校	ELIS担当者を各教科に設置し、活用方法を研究してもらうとともに、教科の教員への周知を図った。
26	東温高等学校	活用していない。
27	上浮穴高等学校	活用できていない。
28	伊予農業高等学校	一部の教科で、課題や小テストに活用している。
29	伊予高等学校	ELIS-PBTでのデジタル採点后、ELIS-CBTでデジタル返却している。
30	大洲高等学校	活用できていない。
31	大洲農業高等学校	積極的な活用はできていない。
32	長浜高等学校	各教科で研究・試行中
33	内子高等学校	それぞれの教科で1回以上試行した。継続的な活用について検討している。
33	内子高等学校(小田)	活用できていない。
34	八幡浜高等学校	特になし。
35	八幡浜工業高等学校	・英単語テストの実施
36	川之石高等学校	数学で課題を配信した。
37	三崎高等学校	検討中
38	宇和高等学校	小テスト(一部の教科)。
38	宇和高等学校(三瓶)	特になし。
39	野村高等学校	各教科で検討中
40	宇和島東高等学校	・全職員・生徒が活用している。
41	宇和島水産高等学校	なし
42	吉田高等学校	小テストやプリント類、ドリルなどの活用のために研究中
43	北宇和高等学校	ゼロではないが活用状況は悪い
43	北宇和高等学校(三間)	教科により使用例はあるが、Teamsの活用の方が多い。
44	南宇和高等学校	各教科で検討中。
45	今治東中等教育学校	今後とも継続して利用促進していきたい。
46	松山西中等教育学校	新教育課程の科目を中心に、基本事項の定着状況を確認するために活用した。前期課程では、学力向上を目的として課題等に取り組んだ。
47	宇和島南中等教育学校	前期課程における小テストの活用。
48	松山盲学校	読書記録がつけやすい。感想を簡単に書くことができるので、取り組みやすい。

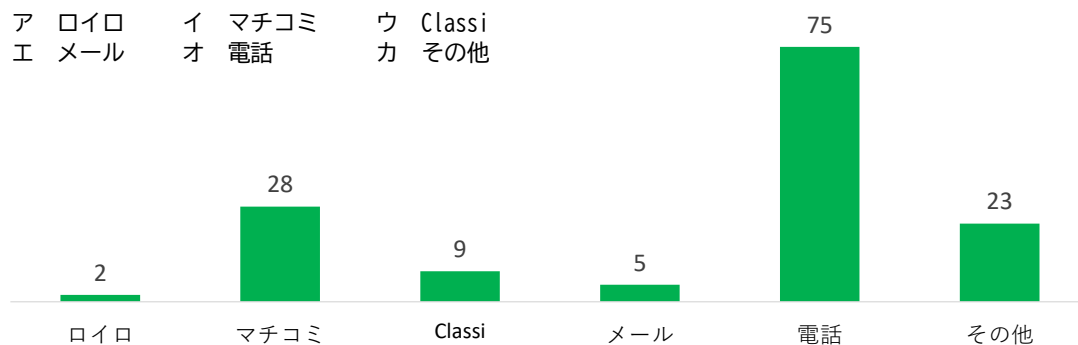
49	松山聾学校	定期的に学力調査を行っている。
50	しげのぶ特別支援学校	○小学部一般学級(準ずる教育課程)では、ELISにおいて該当学年が県学力テストだけでなく、チャレンジテスト、10分間テスト、タイピングテストに参加している。
51	みなら特別支援学校	・活用していない。
51	みなら特支学校(松山城北)	活用していません。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	現在使用していない。
54	新居浜特別支援学校(川西)	学力テストを実施する「準ずる教育課程」の生徒が在籍していないため活用していない。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	読書記録(みきちゃん通帳)に使用。 タイピングの練習に使用。
定1	川之江高等学校(定)	活用していない
定5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
定9	西条高等学校(定)	未活用。
定14	今治西高等学校(定)	特になし。
通20	松山東高等学校(通)	なし
定21	松山南高等学校(定)	現在は活用できていない。今後の活用方法を検討中。
定24	松山工業高等学校(定)	検討中
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	各教科担任に一任している。自己研修できるように資料は配布済み。
定34	八幡浜高等学校(定)	活用できていない。
定40	宇和島東高等学校(定)	Teamsを主に活用しているが、定時制におけるELISの活用方法について検討を重ねている。
55	愛媛大学附属高等学校	本校では活用していない。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	登録していません。
58	今治精華高等学校	特になし
60	済美高等学校	利用していない
62	松山東雲高等学校	システムが導入されていない。
64	新田高等学校	特記事項なし
65	愛光高等学校	特に活用しておりません。
通67	未来高等学校(通)	特になし
69	済美平成中等教育学校	(使用なし)
70	新田青雲中等教育学校	使用していません。

(4) デジタル採点システム（EILS－PBT等）の活用事例と効果

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	年度始めの実力テストや課題テストで導入した教員からは、これまで利用していた「採点ナビ」よりも採点が早く終わったとの報告あり。
2	三島高等学校	昨年度の途中から、定期考査に使用している。
3	土居高等学校	自動採点に向いている教科・科目と、そうでない教科・科目があるような印象を受けた。
4	新居浜東高等学校	現在研究中。
5	新居浜西高等学校	定期考査で自動採点システム「百問繚乱」を利用している。一度答案を読み込めば、紙の解答用紙ではないので、採点分担当がやりやすく、テレワークもできる。解答用紙を持ち歩かないので、生徒の情報が盗まれたり、置き忘れられたりなどの事故がない。大問ごとの集計や観点別の評価もミスなくできる。ただし、生徒の字が薄かったりすると採点が正しくされない場合があるので、自動採点を信頼しすぎることなく見直す必要はある。
6	新居浜南高等学校	百問繚乱を導入し、定期考査及び校内各種テストの採点に使用。観点別の得点の集計、採点時間の短縮につながっている。また、進学・就職テストでは、採点を分野ごとに別の担当者がそれぞれの場所で同時に行うことができ、採点の時間効率の大幅な向上が図られている。また、答案用紙は電子データ(PDF)に取り込み行うため(結果を電子データで返却可能)、答案の改ざんを防止できる。
7	新居浜工業高等学校	・全校で実施している数学小テストを、デジタル採点したことで、採点業務負担が激減した。AIでは数式(数字、分数、小数、文字式、ルートなど)も自動で採点してくれ、その精度(正答率)も実用レベルで使用することができるため、かなり助かっている。また、EILS上で採点結果を返却することができるので、欠席者への返却も滞ることなくできたり、返却後の不正を気にすることがなくなったりと、多くのメリットが存在している ・もし、全教科でデジタル採点をしてEILSで返却できるようになれば、個人別の全教科採点結果(個票)を出力できるので、定期考査を模試のように分析することもでき、さらに効果的であると思われる。
8	新居浜商業高等学校	本校では使用していない。
9	西条高等学校	1学期中間考査における採点から本格的に導入する。
10	西条農業高等学校	・テストの採点に使用している。 ・Teamsを利用して、答案を返却している。 ・不正行為の防止になっている。
11	小松高等学校	オンライン研修会に数名が参加。活用事例なし。
12	東予高等学校	現状では活用をしていない。
13	丹原高等学校	今年度4月に研修会を実施したばかりであり、今後の活用事例が待たれる。
14	今治西高等学校	EILS－PBT等の活用については、研究途中である。EILS－PBT導入研修会を校内研修の一環として、受講し、今後の活用に活かしていく予定である。
14	今治西高等学校(伯方)	各教科に案内し、活用の研究をお願いしている。
15	今治南高等学校	第1回研修会を完了したただけであるが、本校が1月から3か月間試用していた「デジ楽採点」のアプリよりは多機能で扱いやすいという意見が多い。
16	今治北高等学校	導入途中のため未検証
16	今治北高等学校(大三島)	活用していない。
17	今治工業高等学校	本年度より導入のため活用事例はない。前任校ではデジタル採点により、教員の採点業務の時間短縮につながることができた。
18	弓削高等学校	まだ活用できていないため、説明会等に参加する教員を増やし、今後研究を重ねたい。
19	北条高等学校	利用予定者はいます。
20	松山東高等学校	オンライン研修会後に運用開始予定
21	松山南高等学校(砥部)	まだ活用したことはありません
22	松山北高等学校	今年度より本格的に導入します。
22	松山北高等学校(中島)	ほとんど活用できていない。 研修を受講したため、今後できる科目で使用していきたい。
23	松山中央高等学校	今年度研修を受講している段階であり、活用事例はない。
24	松山工業高等学校	これからである。
25	松山商業高等学校	今年度から活用する。
26	東温高等学校	活用していない。
27	上浮穴高等学校	活用できていない。
28	伊予農業高等学校	活用していない。今年度、導入されるデジタル採点システムについて活用できるようにしていきたい。
29	伊予高等学校	定期考査のデジタル採点及び早期の返却。各小問の正答率等を見える化し、学習意欲を高める。
30	大洲高等学校	活用していない。
31	大洲農業高等学校	積極的な活用はできていない。
32	長浜高等学校	活用事例なし(一般入試に導入できれば業務改善と普及にもつながるでしょうが・・・)
33	内子高等学校	特になし。
33	内子高等学校(小田)	活用できていない。
34	八幡浜高等学校	小テストで利用を研究している。
35	八幡浜工業高等学校	・まだ研修を受けたばかりで、活用方法を模索している段階である。
36	川之石高等学校	特になし

37	三崎高等学校	検討中
38	宇和高等学校	実施なし。
38	宇和高等学校(三瓶)	特になし。
39	野村高等学校	検討中(研修会を予定)
41	宇和島水産高等学校	なし
42	吉田高等学校	活用のために研究中
43	北宇和高等学校	現在取り組み中
43	北宇和高等学校(三間)	現在研究中である。生徒数が少ないので設定するよりも手作業の方が早いと思われる。
44	南宇和高等学校	各教科で検討中。
45	今治東中等教育学校	今後とも研究を進めていきたい。
46	松山西中等教育学校	令和5年度の学年末考査において、実施できる科目で活用した。採点時間・評価の時間短縮で最も効果があり、個人成績の分析においても定着度の確認に活用できる。
47	宇和島南中等教育学校	現在、活用に関する研修を実施している。
48	松山盲学校	昨年度1月、2月の10分間集中テストに取り組んだ。即時採点ができるので、生徒は復習しやすい。教員は負担が少ない。 拡大文字使用の生徒なので、時間は1.2倍で取り組んだ。
49	松山聾学校	導入はしているが、十分に活用していない。
50	しげのぶ特別支援学校	○活用できていない。
51	みなら特別支援学校	・活用していない。
51	みなら特支学校(松山城北)	活用していません。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	現在使用していない。
54	新居浜特別支援学校(川西)	「準ずる教育課程」の生徒が在籍していないため活用していない。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	特になし
定1	川之江高等学校(定)	活用していない
定5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
定9	西条高等学校(定)	未活用。
定14	今治西高等学校(定)	特になし。
通20	松山東高等学校(通)	なし
定21	松山南高等学校(定)	先日の研修を受けて、今後どのように活用できるか検討中。
定24	松山工業高等学校(定)	検討中
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	4月末～5月初めに実施される研修を受けるように呼び掛けた。
定34	八幡浜高等学校(定)	校内研修等に参加しているが、生徒数が少なく活用できていない。
定40	宇和島東高等学校(定)	ELIS-PBTについては、現在、定時制における活用方法について検討中である。
55	愛媛大学附属高等学校	本校では活用していない。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	活用事例はありません。
58	今治精華高等学校	特になし
60	済美高等学校	活用している教員も増えてきている。採点の公平化や効率化が図れる。
62	松山東雲高等学校	システムが導入されていない。
64	新田高等学校	特記事項なし
65	愛光高等学校	YouMark Personalで多くの教員がデジタル採点を行っています。
通67	未来高等学校(通)	特になし
69	済美平成中等教育学校	Smarmyを導入したところで、一部の教科、教員が利用している。採点時間が短縮される、設問ごとのデータがとりやすい、答案の改ざんができない等、概ね好評である。
70	新田青雲中等教育学校	使用していません。

(5) 学校への欠席連絡の方法（複数回答可）



ア ロイロ		イ マチコミ	
新居浜商業高等学校	土居高等学校	松山東高等学校	三崎高等学校
松山南高等学校(定)	新居浜東高等学校	松山中央高等学校	南宇和高等学校
	新居浜西高等学校	松山工業高等学校	宇和島南中等教育学校
	新居浜南高等学校	松山商業高等学校	しげのぶ特別支援学校
	新居浜工業高等学校	東温高等学校	宇和特別支援学校(知的)
	新居浜商業高等学校	伊予農業高等学校	新居浜特別支援学校
	小松高等学校	伊予高等学校	松山南高等学校(定)
	今治西高等学校	大洲高等学校	松山工業高等学校(定)
	今治西高等学校(伯方)	内子高等学校	
	北条高等学校	八幡浜高等学校	
ウ Classi		エ メール	
西条高等学校	吉田高等学校	今治北高等学校	松山工業高等学校(定)
松山南高等学校	松山西中等教育学校	長浜高等学校	新田青雲中等教育学校
松山北高等学校	今治精華高等学校	松山聾学校	
上浮穴高等学校	松山聖陵高等学校		
川之石高等学校			
オ 電話		カ その他	
川之江高等学校	大洲農業高等学校	新居浜特別支援学校(川西)	川之江高等学校
土居高等学校	長浜高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)	三島高等学校
新居浜東高等学校	内子高等学校	川之江高等学校(定)	西条農業高等学校
新居浜南高等学校	内子高等学校(小田)	新居浜西高等学校(定)	丹原高等学校
新居浜工業高等学校	八幡浜高等学校	西条高等学校(定)	今治南高等学校
新居浜商業高等学校	八幡浜工業高等学校	今治西高等学校(定)	今治北高等学校
西条農業高等学校	川之石高等学校	松山東高等学校(通)	今治工業高等学校
小松高等学校	宇和高等学校	松山南高等学校(定)	八幡浜高等学校
東予高等学校	宇和高等学校(三瓶)	松山工業高等学校(定)	宇和島東高等学校
丹原高等学校	野村高等学校	松山商業高等学校(定)	今治東中等教育学校
今治西高等学校	宇和島東高等学校(津島)	大洲高等学校(肱川)	松山聾学校
今治北高等学校	宇和島水産高等学校	八幡浜高等学校(定)	みなら特別支援学校
今治北高等学校(大三島)	吉田高等学校	宇和島東高等学校(定)	川之江高等学校(定)
今治工業高等学校	北宇和高等学校	愛大教育学部附属特別支援学校	松山東高等学校(通)
弓削高等学校	北宇和高等学校(三間)	FC今治高等学校明徳校	愛媛大学附属高等学校
北条高等学校	南宇和高等学校	今治精華高等学校	FC今治高等学校明徳校
松山東高等学校	今治東中等教育学校	今治精華高等学校(通)	済美高等学校
松山南高等学校	松山西中等教育学校	聖カタリナ学園高等学校	聖カタリナ学園高等学校
松山南高等学校(砥部)	松山盲学校	松山東雲高等学校	松山学院高等学校
松山北高等学校(中島)	しげのぶ特別支援学校	松山学院高等学校	新田高等学校
松山中央高等学校	みなら特別支援学校	新田高等学校	愛光高等学校
上浮穴高等学校	みなら特支学校(松山城北)	松山聖陵高等学校	未来高等学校(通)
伊予農業高等学校	今治特別支援学校	未来高等学校(通)	済美平成中等教育学校
伊予高等学校	宇和特別支援学校(知的)	済美平成中等教育学校	
大洲高等学校	新居浜特別支援学校	新田青雲中等教育学校	

(6) 生成A I等の活用事例と効果

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	特になし。
2	三島高等学校	学校全体での取り組みについては、まだである。
3	土居高等学校	特にありません。
4	新居浜東高等学校	昨年度、研究授業(化学)で利用した例があるが、今のところ効果の程は不明。
5	新居浜西高等学校	あまりよくわかりません。
6	新居浜南高等学校	活用事例はない。
7	新居浜工業高等学校	・数学の文章問題について、Chat-GPTに基本問題を作成させ、それを参考に類題を作成している。 ・ホームルーム活動では、1つのテーマに対して50分の活動内容の計画の素案をChat-GPTで作成し、それを基に計画を立てており、アイデアを創造する時間短縮に役立てている。
8	新居浜商業高等学校	研究中である。
9	西条高等学校	情報科の授業で、予め生成AIにプログラムを作成させ、生徒に改善点を指摘させている。
10	西条農業高等学校	・プレゼンを企画するとき、文章生成してもらう。 ・画像生成 ・商業の検定試験名簿で、氏名のローマ字表記があったが、生成AIによってローマ字表記を作成してもらった。
11	小松高等学校	最新の情報技術の一つとして授業で紹介し、実際に体験させた。便利な反面、矛盾する内容もあり、すべてを信用してはいけないことを理解させた(「情報」)。
12	東予高等学校	現状では活用していないが、ICT教育推進課が、今年度教職員研修を実施する予定である。
13	丹原高等学校	昨年度事例なし。
14	今治西高等学校	生成AI等の活用については、研究が進んでいないのが現状である。今後、教職員研修や校務での適切な活用に向けた取り組みを推進していき、教職員のAIリテラシー向上や働き方改革につなげていきたいと考える。
14	今治西高等学校(伯方)	なし
15	今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	一部教員が教材研究、授業での例示に使用。生徒は保護者の承諾を得ていないため、授業においては使用させてない。
16	今治北高等学校(大三島)	活用していない。
17	今治工業高等学校	特筆する活用事例はない。
18	弓削高等学校	まだ活用できていないため、今後研究を重ねたい。
19	北条高等学校	利用しておりません。
20	松山東高等学校	ディベートの対戦相手として活用。課題研究のテーマ相談。
21	松山南高等学校	まだ活用していない。
21	松山南高等学校(砥部)	まだ活用していません
22	松山北高等学校	特にありません。
22	松山北高等学校(中島)	授業で試験的に活用している場面はあるが、生成AIについて知る段階に止まっている。
23	松山中央高等学校	昨年度、英語の研究授業で活用していた以外、特になし。活用方法も含めて今後検討していきたい。
24	松山工業高等学校	プログラミングをさせたり、文章やキャッチフレーズ等のアイデアを得るなど、一部の教員が個人のレベルで活用している段階である。事務的仕事にかかる時間の短縮がはかれている場合がある。
25	松山商業高等学校	公務における活用事例はない。
26	東温高等学校	活用していない。
27	上浮穴高等学校	活用できていない。
28	伊予農業高等学校	活用していない。
29	伊予高等学校	特に活用していない。
30	大洲高等学校	活用事例は確認していない。
31	大洲農業高等学校	HRにおいて、生成AIを用いてディベートの取り組みを行った。また、生徒が個人的に課題の提出に利用している様子が伺える。
32	長浜高等学校	キャリアデザイン(総合的な探究の時間)研究発表プレゼンのイラスト作成時に活用し、高い評価を得た。
33	内子高等学校	特になし。
33	内子高等学校(小田)	活用していない。
34	八幡浜高等学校	特になし。
35	八幡浜工業高等学校	・活用方法を模索している段階である。
36	川之石高等学校	特になし
37	三崎高等学校	検討中
38	宇和高等学校	活用なし。
38	宇和高等学校(三瓶)	特になし。
39	野村高等学校	不明
40	宇和島東高等学校	・各種原稿の草案作成。
40	宇和島東高等学校(津島)	特記事項なし
41	宇和島水産高等学校	なし

42	吉田高等学校	検討中である。
43	北宇和高等学校	特になし
43	北宇和高等学校(三間)	特になし。
44	南宇和高等学校	事例なし。
45	今治東中等教育学校	交通安全推進協議会の会議資料を作成した。
46	松山西中等教育学校	活用していない。
47	宇和島南中等教育学校	活用していない。
48	松山盲学校	特にありません。
49	松山聾学校	教職員の端末は、すぐ使用できる環境に整えている。また、利用・活用の校内研修を行った。
50	しげのぶ特別支援学校	○本校における活用事例はない。
51	みなら特別支援学校	・活用していない。
51	みなら特支学校(松山城北)	把握していません。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	調べ学習において、生成AIを通した検索を利用している。
54	新居浜特別支援学校	特になし
54	新居浜特別支援学校(川西)	活用なし
54	新居浜特別支援学校(みしま)	ChatGPTを活用し、保護者宛て文書を作成した。修正は必要だが、何もない状態から作るより作成時間は短くなった。
定1	川之江高等学校(定)	活用していない
定5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
定9	西条高等学校(定)	未活用。
定14	今治西高等学校(定)	特になし。
通20	松山東高等学校(通)	なし
定21	松山南高等学校(定)	使用していない。
定24	松山工業高等学校(定)	検討中
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
定34	八幡浜高等学校(定)	特になし。
定40	宇和島東高等学校(定)	科目によっては、生成AIについての説明は行っているが、活用方法については検討中である。
55	愛媛大学附属高等学校	活用しておりません。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	特にありません。
57	FC今治高等学校明徳校	業務に利用
58	今治精華高等学校	特になし
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	全体としての学習活動内での活用は行われていない。
61	聖カタリナ学園高等学校	活用事例はありません。
62	松山東雲高等学校	活用していない。
63	松山学院高等学校	積極的な活用ができていない。教員個人のスキルにより使っている教員もいるが、共有できていない。
64	新田高等学校	現在のところ活用方法を検討中
65	愛光高等学校	アンケートの集計等を行っている。
66	松山聖陵高等学校	特になし
通67	未来高等学校(通)	活用方法を検討している。
69	済美平成中等教育学校	担当教員が授業での活用について、研究・検討しているところである。
70	新田青雲中等教育学校	生成AIの活用についての研修会を行い、一部で文書作成において簡単に試す程度で使用をしている。

(7) ICT活用上(上記(1)～(6)等)の課題(通信環境に関することは除く)

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	①一人一台端末のリース期間が終了した後、これまで同様に利用できるのかどうか。 ②一人一台端末故障時の対応に、手間と時間がかかりすぎている。 ③活用を得意としていない教員からの質問に、教務・情報処理課の教員の時間が奪われている。
2	三島高等学校	使用する授業(教科・科目・ホームルーム・類型)に偏りが見られる。
3	土居高等学校	生徒が中学校で使っていたソフトウェアと高校で使っているソフトウェアに統一がない。
4	新居浜東高等学校	端末を忘れたり、授業中に端末に不具合が発生したりして、授業についていけない生徒への対応。
5	新居浜西高等学校	端末ばかりに頼り、記述力が低下する恐れがある。
6	新居浜南高等学校	タブレット端末を毎日持ち帰らせ家庭で充電させているが、充電を忘れた生徒は切れると使用できない。
7	新居浜工業高等学校	生徒の間でも、文字入力スピードやワードやエクセル、パワーポイントなど基本的なソフトを活用する能力に個人差があり、こちらが意図していることができないケースがある。回数をこなせばそれなりに生徒はできるようにはなるが、そのための指導に時間がかかることもある。
8	新居浜商業高等学校	生徒間の使用技能に差が大きい。
9	西条高等学校	アンケート用紙など、紙媒体ベースのものをICT化していくのが困難な場合がある。
10	西条農業高等学校	・視覚過敏の生徒にとっては、刺激が強いかもしれない。 ・教師側の知識技能。 ・家庭での保管、持ってくる時の保全。 ・生徒や家庭が端末を管理できていない。持ってこない、充電していない、破損する。 ・プロジェクタを全教室に設置してほしい ・ICTでの学習は、定着度合いが悪いという研究結果が出ている。ICTでの学習のよさと、紙と鉛筆での学習のよさについて、教員側にも研修が必要である。
11	小松高等学校	一部の生徒には、タブレットの管理状況が悪く、回収後のメンテナンスや修理に時間を要する。
12	東予高等学校	一人一台端末の運用。毎日持ち帰らせて、家庭学習や授業で活用しているが、端末の管理(紛失・故障・メンテナンス)が問題である。本校生徒の実態にあった有効かつ効果的な活用方法の工夫が必要である。
13	丹原高等学校	著作権侵害にならないかのチェックが難しい。
14	今治西高等学校	教材作成やクラス運営を行っていく上で、日々ICTを活用しているが、それぞれの機器、アプリを最大限活用する技術と、それを研究するための時間が追いついていないのが課題である。
14	今治西高等学校(伯方)	Ictだけではなく、毎年様々な取組を求められ、研究する時間が不足し、活用に至っていないことがある。
15	今治南高等学校	・年度初め、年度末の端末の管理(破損時の修理、転退学生徒や卒業生の端末回収とチェック) ・年度初めの各種設定
16	今治北高等学校	特になし
16	今治北高等学校(大三島)	特になし
17	今治工業高等学校	ICTを活用して様々な取組を行うためには、生徒自身、学校自体もICT活用のための環境整備や準備ができていることが基盤となるはずである。本校では、まだ整備ができていないため、スタディサプリの導入することでその環境改善を目指している。しかしながら、環境整備や実施計画が不十分な状況の中で導入を決定しているために、現時点での計画の立案や、運用における担当者の負担は過酷を極める状況が続いている。
18	弓削高等学校	教員間、生徒間でのICT活用スキルに差が見られる。
19	北条高等学校	どうしても使いこなせない生徒がいること。(十分に教授しても)
20	松山東高等学校	一部の教室を除き、ホワイトボードを電子黒板として利用できない。
21	松山南高等学校	生徒との連絡が容易にできる反面、生徒からの夜中の通信に悩む教員もいる。時間等のルール作りが必要であると考え。
21	松山南高等学校(砥部)	・端末が重いので家に持って帰らない生徒が多い ・デジタル編集可能なソフトが入っていない ・返信のない生徒への指導
22	松山北高等学校	情報モラルについての理解が乏しい、休み時間に学習に関係ないサイトを見ている、端末ばかりに目が行き、記述力が低下する恐れがある、使い方の指導や故障への対応で、一部の教員に多大な負担がかかる等の課題があります。
22	松山北高等学校(中島)	・教職員側のスキル向上 ・端末性能の限界
23	松山中央高等学校	活用することで、教育効果が上がるのか下がるのか、教員によって意見は分かれる。端末を利用する際に、インターネットの閲覧等、本来の目的外の利用をする生徒も見られるなどの問題もある。
24	松山工業高等学校	複数のアプリの使い分けのルールを決めて、生徒にわかりやすくすること。 年度初めのアカウントの登録や、授業の設定などにおいて、特定の教員に負担がかかること。 より効果的な活用の研究。
25	松山商業高等学校	デジタル採点については、答案用紙のスキャナーの不足が懸念される。
26	東温高等学校	一人一台端末の経年劣化。

27	上浮穴高等学校	教員間のICTスキルの差が激しい。
28	伊予農業高等学校	教員、生徒それぞれのスキル差・スキル不足。
29	伊予高等学校	機器の設置や不具合が起こったときの対応力に教員間の格差がある。
30	大洲高等学校	教員側のスキルアップや意識向上など。
31	大洲農業高等学校	担当教員の負担が大きい。生徒間での習熟度の差が大きく、一斉に利用した際に進度が合わない。生成AIやサイトの丸写しで課題を提出する生徒もあり、情報の扱い方の指導をしていく必要がある。
32	長浜高等学校	共有端末・共有フォルダのデータ管理 等
33	内子高等学校	(学校で保管させるためではなく)学校でも充電できる環境を整備することで、生徒が安心してタブレットを利用することができる。
33	内子高等学校(小田)	教員側や生徒側のICT技術の習得度に大きな差が見られる。双方ともに更なる研修が今後必要であると考えている。
34	八幡浜高等学校	ネットワークの安定。
35	八幡浜工業高等学校	・1人1台端末をそのものを忘れたり、充電していないことがあるため、端末がない状況も想定しておく必要がある。 ・生徒の端末が壊れてることが多くあり、管理している教員の負担が大きい。 ・卒業生の端末について、回収後の整備(アップデートや修理の手配など)に時間がかかるなど、管理している教員の負担が大きい。
36	川之石高等学校	教員・生徒によって活用状況に差がある。
37	三崎高等学校	操作技術
38	宇和高等学校	教員のスキルもあるが、生徒への技術支援等が難しい。
38	宇和高等学校(三瓶)	教員によって活用状況に差がある。
39	野村高等学校	生徒の授業荷物の負担となっている。
40	宇和島東高等学校	特になし
40	宇和島東高等学校(津島)	特記事項なし
41	宇和島水産高等学校	アンケートの回答率が低い。
42	吉田高等学校	ICT活用の授業の新規教材の作成に時間を要する。
43	北宇和高等学校	ソフトの使い勝手が悪い 端末が使いにくい
43	北宇和高等学校(三間)	新しいアプリケーションが出るたびに、活用できるように時間をかけて努力しているが、慣れたころには新たなものが出てくるので時間と労力が減らない(増えることもある)。
44	南宇和高等学校	教員・生徒によってICTスキルの差が激しい。
45	今治東中等教育学校	1人1台端末について、毎日持ち帰り各自の家庭で充電をするよう指導しているが、徹底が難しい。
46	松山西中等教育学校	家庭での利用について、端末利用時間や目的外使用の問題のある生徒がいる。 端末の故障や破損などのメンテナンス。 前期課程と後期課程で端末が異なるため、機種変更の作業が煩雑である。
47	宇和島南中等教育学校	ICT教育支援員の更なる配置。
48	松山盲学校	視覚障がいのある生徒は、Windowsのパソコンと、タブレット端末の両方の使用方法を身に付ける必要がある。昨年度から、各教室に配置されていたパソコンがリース期限の関係でなくなってしまい、生徒に割り当てられる台数が少なくなった。パソコンを使用した学習をするための調整が必要になった。
49	松山聾学校	ICTの活用を促進するには、校内の様々な業務をICTに結び付け、教職員みんなで使えるようにシステム化することとなる。これは担当者の技能による。しかし、教員の雇用条件とは逸脱するように思われる。システムエンジニアの領域と感じる。 課題は、それ相応の技能を持った人材を雇い入れ、全体的に研修・システム化を一任することであり、それらの業務を教員がしないことで、教育に時間を充てられると感じる。
50	しげのぶ特別支援学校	○教員のスキルに差がある。 ○アプリやそぐとの不足による授業や業務に活用できないこと。 ○教職員のスキルアップを行うための時間が足りない。
51	みなら特別支援学校	・管理上、学校や学部で統一されたアプリしかインストールできず、児童生徒の実態に適したアプリでない場合があること。 ・万一、破損した場合、保護者が加入している保険で弁償しなければならないことから、本校の児童生徒の特性上、思い切り使わせることが難しい。 ・端末管理に時間と手間が掛かっている。
51	みなら特支学校(松山城北)	教員のデータの取り扱いや生徒の使い方についての具体的な指導法などが課題となっている。
52	今治特別支援学校	教員のスキルが様々であり、研修を積んでいるが、実際に学ぶ時間は限られている
53	宇和特別支援学校(知的)	ICTに頼り過ぎたり、偏見を生む場合がある。常にバランスを意識する必要がある。
54	新居浜特別支援学校	電子黒板の性能(タイプ)が教室によって違うこと
54	新居浜特別支援学校(川西)	全教職員、ICT活用に関する研修や教員間の情報交換などにより、技能の習熟は図られてきたが、より一層活用指導力の向上に努めたい。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	教員のICT活用指導力のより一層の向上 著作権の理解の向上(学習プリントの取り扱いなど)
定1	川之江高等学校(定)	端末の管理(破損、紛失、未充電)
定5	新居浜西高等学校(定)	ありません。
定9	西条高等学校(定)	職員が高齢化しており、一番若い者でも50代である。そのため、教員がICTに不慣れで懐疑的でもある。同時に、職員の半数が講師でありICT活用に後ろ向きの者も多く、有用な活用方法が見いだせない。
定14	今治西高等学校(定)	生徒の情報活用能力に格差がある。
通20	松山東高等学校(通)	1人1台端末がないため、教員のスキルが上がらない。

定21	松山南高等学校(定)	本校は生徒数も少なく、受講者が多い科目でも20名程度のため、デジタル採点システムの準備の方が実際の採点より時間がかかる。
定24	松山工業高等学校(定)	教員全体のスキルアップ
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	教員・生徒ともに習熟に差がある。また、毎日持ってきていても、帰宅後にteamsの投稿確認や充電及びアップデートをしていない生徒が多くみられる。
定34	八幡浜高等学校(定)	生徒の活用能力差が大きく、十分な活用ができていない。
定40	宇和島東高等学校(定)	生徒一人一人の活用スキルの差が大きい。家庭での端末の使用状況を把握しづらい。生徒の端末では、WordやExcelなどのソフトが無料版のため、Wordの縦書きが使用できないなど、活用しづらい場面がある。
55	愛媛大学附属高等学校	教員により活用状況に差がある。(ICT関連に強い教員とそうでない教員がいる。)
56	愛大教育学部附属特別支援学校	端末管理、更新作業等の事務的作業にかかる人的資源の確保。 教職員のICT活用能力の向上。
57	FC今治高等学校明德校	端末の整備
58	今治精華高等学校	特になし
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	教員による活用頻度や、活用レベルの格差。
61	聖カタリナ学園高等学校	1人1台端末の管理や休み時間等の使用の管理。特に教員や級友を勝手に写真を撮るようなリスクがある。日本の教育にICTがあまりあっていない場面も多く感じ、使用方法によっては学力の向上にあまりつながらない。教員によっての授業格差がさらに広がり、生徒にとっての不平等感につながりかねないこと。便利な反面、ご家庭に負担いただく費用が増加している。
62	松山東雲高等学校	教員、生徒の個々のデジタルスキル、デジタルリテラシーの格差。
63	松山学院高等学校	教員により、スキルに大きな差がある。 導入費用が高い。(保護者負担となり、クレームがある。)
64	新田高等学校	教員によってスキルの習熟度に差がある。端末の管理等、一部の教員への負担が大きい。
65	愛光高等学校	個人情報の取り扱いについては注意するようにしている。
66	松山聖陵高等学校	情報の取捨選択と、教員のスキルアップが課題。
通67	未来高等学校(通)	全教職員のシステムへの習熟を図るのが難しい。
69	済美平成中等教育学校	学年特性があること、教員の習熟に差があること、ICT担当教員の負担増
70	新田青雲中等教育学校	ICT活用によって広く業務が楽になったが、それらの主幹を担当する教員の業務の重さがあるとされる。またそういった業務をこなす人材の確保。

4 校務支援システムについて（県立学校のみ）

(1) 校務支援システムの運用により校内の業務改善につながったと思われる事例（要録作成や成績処理、出欠管理を除く）

学校 番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	メッセージ機能を利用することで、情報の共有が容易になった。アンケート機能を利用することで、お試して業務改善を図り、その効果や課題を共有することができた。
2	三島高等学校	業務内容ごとの情報の在処がはっきりしており、引継ぎの際などに必要なものが見つけやすいと感じる。
3	土居高等学校	生徒情報の管理がしやすくなった。
4	新居浜東高等学校	メッセージや掲示板を活用した教職員間の情報共有。
5	新居浜西高等学校	校内外とのメッセージや掲示板機能が大変便利である。Formsによるアンケート集計も役立っているようだ。
6	新居浜南高等学校	生徒手帳の作成と印刷。生徒の各種文書発送先宛名ラベルの印刷。卒業台帳の作成。部活動名簿の管理。資格・検定試験取得情報の管理。時間割変更の確認。
7	新居浜工業高等学校	メッセージ機能やアンケート回収機能を活用することで、ペーパーレス化が図れた。
8	新居浜商業高等学校	メッセージやメール機能を用いて、業務連絡等の効率が向上した。
9	西条高等学校	グループウェアの活用により、教員間での情報共有が容易になった。
10	西条農業高等学校	・メッセージなどを利用することで、ペーパーレス化できており、印刷作業などが軽減され、資料や教育委員会などからの文書もデータ化されているので、整理が比較的容易になった。 ・アンケートの実施については、かなりの業務改善になっている。
11	小松高等学校	部活動の登録者が分かりやすい。資格取得者の入力、一覧が容易である。
12	東予高等学校	グループウェア機能により、スケジュール管理が可視化されたことで、学校内の情報伝達などがスムーズになり確認もしやすくなった。校務系の共有フォルダやメッセージ機能の活用により、業務に必要なデータのやり取りが簡単になっている。
13	丹原高等学校	特になし。
14	今治西高等学校	グループウェアの掲示板やメッセージ機能、アンケート機能を利用することによって、連絡だけでなく、データの共有ができ、以前より連携を取りやすくなった。
14	今治西高等学校(伯方)	なし
15	今治南高等学校	特記事項なし
16	今治北高等学校	生徒情報管理(個人情報、学籍等)、GW機能(掲示板、スケジュール、メッセージ等)
16	今治北高等学校(大三島)	特になし
17	今治工業高等学校	メッセージや掲示板の活用によって、教職員への連絡の徹底できた。また、時間割変更における機能が追加され管理、処理がスムーズに行えるようになり、担当者の業務負担軽減につながった。
18	弓削高等学校	特になし。
19	北条高等学校	生徒情報の共有化・調査回答等
20	松山東高等学校	各種証明書の発行が楽になった。また、メッセージ機能による連絡調整がスムーズにできるようになった。
21	松山南高等学校(砥部)	・部員名簿や委員会の名簿などを、写真入りで容易に作成できる
22	松山北高等学校	住所や生年月日、部活動や委員会活動等が集約され、生徒の情報を把握しやすく、業務改善につながっています。
22	松山北高等学校(中島)	掲示板やアンケート機能の活用で、研修の申込みや行事の反省等の集計が容易になった。
23	松山中央高等学校	校内外の教員との連絡がスムーズになった。また、各種調査などの提出もメッセージ機能が生かされ、業務負担の軽減につながっている。
24	松山工業高等学校	生徒証の作成。今年度から実施したが、導入には手間と時間がかかったが、来年度からはスムーズにできると思われる。
25	松山商業高等学校	制と情報や成績などの個人情報の管理が厳格化された。
26	東温高等学校	メッセージ機能による文書提出等の簡便化。
27	上浮穴高等学校	メッセージや閲覧板などでの機能で業務が効率よく進んだ。
28	伊予農業高等学校	検定取得状況の確認がしやすくなった。生徒住所や部活動名簿などの生徒情報がまとめやすくなった。
29	伊予高等学校	生徒の個人情報が一元管理され業務改善されている。
30	大洲高等学校	メッセージ機能で連絡が容易になった。施設・設備の使用やスケジュール管理など。
31	大洲農業高等学校	メッセージ機能による連絡や、アンケート集計
32	長浜高等学校	データの一元管理 等
33	内子高等学校	校内の連絡事項について、メッセージや掲示板を利用することで、ペーパーレス化につながった。
33	内子高等学校(小田)	教職員間の連絡や、情報のやり取りには大きな改善が見られる。しかし、細かな設定を使いこなせていないため、連絡が行き届いていない時も見られ、十分な活用ができていないとまでは言えないと感じている。
34	八幡浜高等学校	特になし。

35	八幡浜工業高等学校	・施設設備の予約状況が自分の端末ですぐに分かるため、会議や作業の計画が立てやすい。 ・各種の連絡など、校務支援システムの掲示板にデータをアップすれば、教員分の印刷などの手間がかからない。
36	川之石高等学校	メッセージ機能により業務改善につながった。
37	三崎高等学校	生徒情報の共有
38	宇和高等学校	メッセージ機能や掲示板機能により、紙媒体の減少。
38	宇和高等学校(三瓶)	メッセージやアンケートを活用した教員間での連絡や情報交換。
39	野村高等学校	証明書や調査書の作成
40	宇和島東高等学校	・文書処理の効率化
41	宇和島水産高等学校	生徒指導要録記入について、負担の軽減が図られている。
42	吉田高等学校	進路用の調査書作成、資格や部活動など生徒の記録管理、授業担当者が生徒の保健室利用状況など情報共有がしやすい。
43	北宇和高等学校	特になし
43	北宇和高等学校(三間)	掲示板での連絡、アンケートの集計、証明書の発行。
44	南宇和高等学校	要録作成・成績処理・出欠管理以外では特にありません。
45	今治東中等教育学校	グループウェアのメッセージ機能やアンケート機能の活用により、効率的で密な情報交換ができています。
46	松山西中等教育学校	個人の予定や学校施設予約など、全職員で共有できている。職員朝礼や職員会議などの連絡事項をメッセージや掲示板で行っており、時間短縮になっている。
47	宇和島南中等教育学校	担任業務は業務改善につながっている。
48	松山盲学校	アンケート機能の活用で、簡単な調査がしやすくなった。音声読み上げソフトに対応していないため、パソコンを音声で聞いて操作する視覚障がいのある教員が活用できない。そのため、学校全体でも活用できない機能が多い。
49	松山聾学校	(1)校外で校務系にアクセスできるようになり、リモートワークで可能な業務の種類が増えた。 (2)校内の情報共有がしやすくなった。
50	しげのぶ特別支援学校	○掲示板機能やメッセージ、施設設備予約等の活用により、情報共有や確認を正確に簡単に行えるようになった。 ○学校評価(教職員)をアンケート機能で実施することで、集計に係る時間が短縮された。 ○各種調査に関連する事項を付加項目機能で管理することで、個人情報の点でも、集計の点でも以前の紙媒体の方法に比べて大幅に改善された。 ○事務手続き用のデータが一括作成できるようになった。 ○各校との情報交換等しやすくなった。
51	みなら特別支援学校	・大部分の教員は業務改善になったと思われるが、教務課員や情報課員の業務は増えた。 ・アンケート機能や提出箱を使うことで、確実かつ効率よく必要な情報等を収集することができるようになった。 ・30日以上欠席などの調査が瞬時にできる。 ・名簿作成が簡単になった。
51	みなら特支学校(松山城北)	授業時数のカウントがしやすくなった。
52	今治特別支援学校	児童生徒の健康状況の管理、保護者への健康診断結果と再受診のお知らせなどの作成ができるようになった
53	宇和特別支援学校(知的)	情報の共有や管理がしやすくなった。
54	新居浜特別支援学校	・校内の会義を書面開催とした際に、掲示板を使って意見交換や情報共有を行うことで業務改善につながった。文字で残るため、記録にも反映させられる。 ・メッセージを使って意見交換等を行う際、メッセージの返信機能が効果的である。
54	新居浜特別支援学校(川西)	グループウェアのメッセージや掲示板による連絡、周知の効率化。
54	新居浜特別支援学校(みしま)	メッセージや掲示板、アンケートの活用により情報収集や他校とのやり取りがしやすくなった。 出張や年休等の管理がしやすくなった。 自己承認機能が追加され、文書処理に要する時間が短くなった。
定1	川之江高等学校(定)	特になし
定5	新居浜西高等学校(定)	電子掲示板やメッセージを活用することで、教職員間の情報共有がより確実にできるようになった。
定9	西条高等学校(定)	要録・出席・成績を除くと皆無である。むしろ、不慣れな者(慣れた者が配置されていない)に校務支援システムの運用が任されており、スムーズな運用が出来ない時やトラブル発生時など業務が滞るため、業務改悪である。
定14	今治西高等学校(定)	生徒の情報管理の一元化や県への各種報告作業がスムーズになった。
通20	松山東高等学校(通)	レポート管理
定21	松山南高等学校(定)	生徒個別の使用教科書一覧の作成
定24	松山工業高等学校(定)	各種証明書、調査書等の作成
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
定34	八幡浜高等学校(定)	要録作成や成績処理、出欠管理以外には特に思い付かない。
定40	宇和島東高等学校(定)	生徒指導要録の作成、グループウェア機能。

(2) 校務支援システムの運用・活用上の課題

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	年度始めの設定に時間がかかる。年度末などの繁忙期は、操作に対する反応が悪くなる。
2	三島高等学校	教務課・情報教育課の負担が大きい。
3	土居高等学校	出席一覧表などの回覧には、独自のエクセルファイルにデータを貼り付けて紙媒体を使用している。これでは業務改善につながらないので、校務支援システム上で回覧ができればいいのではないかとと思う。
4	新居浜東高等学校	メールを利用した際に中学校との連絡がうまくいかなかったことがある。(送付した添付ファイルが中学校のシステムではみることができなかった。)
5	新居浜西高等学校	管理・運営する教員の負担増になっている。
6	新居浜南高等学校	年度末や年度初めはもとより、普段からシステム担当者の業務時間が増え負担が大きい。情報管理に長けた扱える教員に限られるため特定の教員に負担がかかる。
7	新居浜工業高等学校	年度初めの各種設定、各学期における成績や出欠処理の業務等、勤務時間内で終わらせることができないものに関して、担当者は時間外勤務を強いられている。
8	新居浜商業高等学校	年度初めの設定を数名の教員で行っており、負担が大きいように感じる。
9	西条高等学校	管理責任者の業務負担が大きい。
10	西条農業高等学校	・フリーズやシステムダウンしてしまうことがある。 ・出張先からも校務支援システムにつなげられればいい。
11	小松高等学校	年度末、年度初めの各登録などでシステム管理者の負担が非常に大きい。高校入試の志願状況や報告において、システムの内容が充実しているため、紙媒体での提出を省略するなどシステム運用を効果的にする。
12	東予高等学校	運用も5年目になりスムーズな運用ができているが、システム運用をしている教員に限られているため、学校全体としては多くの教員がシステム運用をできるようにする必要がある。
13	丹原高等学校	学期末や年度末・始めなどのアクセスが集中する時期には接続が不安定となり、業務が進まないことがある。また、年度末・始めに校務支援システム担当者への負担が集中している。
14	今治西高等学校	年度末や年度初めにおいて、校務支援システムの年度更新が必要であることは十二分に理解しているが、校内の年度末・年度初めの業務に支障が出ていると感じる。一昨年度から実施されている観点別評価における評定の入力に本校では、三つの観点と評点を用いるため校務支援システムだけでは対応できないため、手動入力を行っている。また、入力した評価が正しいかどうかをエクセルファイルで確認している。
14	今治西高等学校(伯方)	年度初めの準備が大変である。各種マスターの作成等。
15	今治南高等学校	年度末・年度初めの設定に多大な労力と時間を要する。
16	今治北高等学校	校務支援システム担当者の負担が大きい。
16	今治北高等学校(大三島)	システムの運用を主に行っている教員が転勤すると、回らなくなる。分校で教員数が少ないため、転勤に備えて複数で担うということもできない。
17	今治工業高等学校	・校務支援システム教務関係担当者(本校は一名)に、業務負担が集中してしまうため、該当担当者は他の業務を行う時間がなくなっている。 ・外字の表示に十分な対応ができていないため、その都度対応が必要になる。
18	弓削高等学校	時間割作成機能について、詳しく研究したい。
19	北条高等学校	設定の難しさ、煩雑さ
20	松山東高等学校	一人の担当者で対応しているため負担大。引継ぎが課題である。
21	松山南高等学校(砥部)	・年度切り替えの作業が大変である。誰でも簡単に理解できるわかりやすいマニュアルや工程が必要に思う
22	松山北高等学校	評価時期マスタの設定が難しい、前年度の内容を訂正するのが難しい等の課題があります。
22	松山北高等学校(中島)	年度初めに各種設定をする負担が大きい。ヘルプデスクに電話する際、音声小さく互いに聞き取りにくい。
23	松山中央高等学校	システムを管理する教員の負担がとても大きい。特に年度初めのデータ管理などはとても時間がかかっている。また授業で利用する端末と校務で利用する端末が同じであることから、1日に何度も接続し直さなければならない。
24	松山工業高等学校	校務支援システムの運用を主に担当する特定の教員(本校では教務課の教務担当やICT担当)に作業や問い合わせなどが集中して負担が大きい。それに加えて教職員全員が同レベルで校務支援システムの運用方法を理解しているわけではないので、担当者の異動などにともなって十分に引き継ぎができていなかったり、引き継いでも個別の業務で分からない場合などに、正しい手続きがわかるまでに時間がかかり、さらに特定の担当者に負担がかかる。
25	松山商業高等学校	年度当初のシステム担当者の負担が非常に大きい。
26	東温高等学校	校務支援システムを十分に理解し活用できる教員が少なく、一部の教員に負担がかかっていること。
27	上浮穴高等学校	校務支援担当者の負担が非常に大きい。
28	伊予農業高等学校	一部の教員への負担が増えている。
29	伊予高等学校	運用担当者の業務負担が大きい。
30	大洲高等学校	システム設定を担当する教員の負担が大きい。
31	大洲農業高等学校	担当者の負担が大きく、特に担当者が転勤した場合に年度当初の設定が困難。
32	長浜高等学校	多忙期に担当者のみに多大な業務が重複、操作手順が分かりづらい 等
33	内子高等学校	運用・活用に向けた設定が複雑で、担当者以外が容易に扱うことが難しい。

33	内子高等学校(小田)	日々の業務の確認や処理では、細かな処理方法の確認に時間を要し、処理が遅くなったりするなど、通常の業務以外にかなりの労力が必要で、担当者に大きな負担となっている。また、年度末・年度始めには、異動処理を含めた処理内容が非常に多く、担当者にはかなり大きな負担となっている。しかも、システムを理解している者がその学校に必ず在籍しているわけでもなく、また、分かっているが別な業務を担当していることもある。そのため、専門的な知識を有した人員を一時的に各校に配置する等の負担軽減策を今後とも検討していただければ幸いである。
34	八幡浜高等学校	特別な事例の場合、対応するために時間・労力がかかる。
35	八幡浜工業高等学校	・管理・運営に耐えるスキルを持つ教員が少ないため、管理・運営に携わる教員の負担が大きい。 ・EILSなどのCBTシステムにおいて、著作権上の問題があり、安易にイラストや図を用いて問題を作成することができない。
36	川之石高等学校	校務支援システム担当者の負担が大きい。
37	三崎高等学校	業務の偏り
38	宇和高等学校	作業時にたちあがるのが遅かったり、仕事にならないことがある。
38	宇和高等学校(三瓶)	システムに不具合が生じた際に、業務が停滞してしまうことへの心配。
39	野村高等学校	運用開始後の変更ができない項目がある。
40	宇和島東高等学校	・年度初めの初期設定による業務負担
41	宇和島水産高等学校	メッセージ・掲示板等で、未読の状態が長く続く教員がいる。
42	吉田高等学校	各教室においてのホームルーム時や授業時に、その場で端末を用いた出欠、遅刻・早退の記録ができないため、ホームルーム担任等が適時に対応できにくいことや出欠、遅刻・早退の入力忘れが生じる。
43	北宇和高等学校(三間)	年度末や年度初めの登録における担当者の負担が大きい。
44	南宇和高等学校	年度末での人事異動の中、進級処理や授業の登録等、期限内にしなければならぬものが多く、システム担当者の負担がかなり大きい。
45	今治東中等教育学校	年度始めの履修登録や日々の運営・管理により、担当者へ負担が集中している。特に履修登録については、専門的で引継ぎが難しい。
46	松山西中等教育学校	システム担当者の負担が大きい。業務の分散と引き継ぎが重要である。
47	宇和島南中等教育学校	教務担当者は、運用までの準備や管理・点検面で膨大な時間と労力を要し、大きな負担である。
48	松山盲学校	音声読み上げソフトに対応していないため、パソコンを音声で聞いて操作する視覚障がいのある教員が活用できない。そのため、学校全体でも活用できない機能が多い。
49	松山聾学校	(1)運用の課題 ア コンピュータに不慣れな者がつまづくところを、周囲がサポートできる環境を整えるようにすること イ 不慣れな者が自主勉強や研修を受けられるように、職場環境を整えること。 (2)活用の課題 端末を使う側がコンピュータの機能を十分に理解すること
50	しげのぶ特別支援学校	○校務支援システムの担当者が多忙 ○年度末、年度初めの校内の設定や変更が担当になった者の過重負担となっている。 ○校内で担当者を増やしていかないといけないが、様々な機能に対する講習となると時間が足りない。一部、裾野を広げて困ったときには熟知している者が対応するしかない状況になっている。 ○本来、機能的に活用したいものがなく、アナログで対応するか、別のシステムファイルを独自に設けなくてはならない。(例えば、高等部の知的的総授業時数のカウントや、小中の出席簿の期間を区切った出欠集計など) ○教育委員会から配布されている要録の手引きと校務支援システムの出力内容がリンクしていない。
51	みなら特別支援学校	・人数の多さ。 ・校務支援システムの正しい使い方。 ・メッセージ機能にリンクが貼れなくなったため、所定のデータに瞬時に飛べなくなった。
51	みなら特支学校(松山城北)	担当教員以外の困ったときの対応が難しいことがある。
52	今治特別支援学校	システムを熟知している教員が少なく、年度初めや年度末にその教員の負担が大きくなる担当を増やす必要があるが、教員の異動などでうまくいかない面がある
53	宇和特別支援学校(知的)	必要な情報の取捨選択や整理が必要であり、入力の手間や負担の軽減等も必要である。
54	新居浜特別支援学校	高等部の出欠管理において、授業総時数を集計すること。
54	新居浜特別支援学校(川西)	特になし
54	新居浜特別支援学校(みしま)	年度当初の設定が負担に感じる。 出席簿からの個人データの書き出しができないため、出席一覧法へは手入力している。また、指導要録の出席へも非常変災等が反映されない。
定1	川之江高等学校(定)	年度当初の設定が負担。 異動による引継ぎの問題。
定5	新居浜西高等学校(定)	単位制においては科目数が多く、生徒ごとに受講科目が異なるため、成績や出欠一覧表の項目が増える。書式設定できる項目が少なく、分かりやすい表にすることに苦労している。
定9	西条高等学校(定)	システム運用に明るい職員が配置されていないため、ことあるごとに時間と労力が奪われる。
定14	今治西高等学校(定)	管理責任者等、特定の教員への大きな負担が課題である。

通20	松山東高等学校(通)	校務支援システムでは、成績一覧表ができないので、エクセルで作成している。仕事が二重になっている。
定21	松山南高等学校(定)	教務課が中心になって年度毎の設定をしているが、校務支援システムの構造を理解している教員が行うため、毎年同じ教員への負担が大きい。 機能の変更が追加される際に、今までの操作と変更になっていることが連絡なしにあり、戸惑うことがある。 新機能の研修等、担当者への研修はあるが、それ以外の教員に向けての研修を業者に実施してもらいたい。担当者が研修を受けて、他の教員に研修するのは負担増でしかない。
定24	松山工業高等学校(定)	校務支援担当者に仕事が偏る。
定25	松山商業高等学校(定)	教科担任の输入がまとめ取りに対応してない
定30	大洲高等学校(肱川)	年度末～年度初めの担当者の負担が大きい。
定34	八幡浜高等学校(定)	全日制と定時制の連携がうまくいかない部分も見られた。
定40	宇和島東高等学校(定)	定時制・単位制の現状に即していない部分がある。

5 学校の特色化・魅力化の発信について

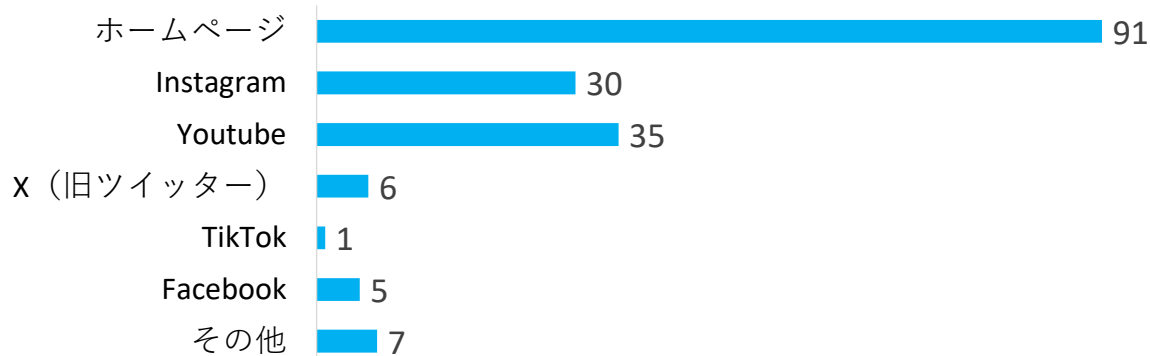
- (1) 公開授業の実施日数
- (2) 中学生を対象とした自校での学校紹介の実施日数
- (3) 学校紹介のための中学校訪問の実施校数（延べ数）

学校 番号	学校名	公開授業実施日数		中学生を対象とした自校で の学校紹介の実施日数		学校紹介のための中学校 訪問の実施校数(延べ数)	
		R5実施	R6予定	R5実施	R6予定	R5実施	R6予定
1	川之江高等学校	5	9	2	2	9	8
2	三島高等学校	5	6	1	1	9	7
3	土居高等学校	16	16	2	2	9	7
4	新居浜東高等学校	3	3	1	1	12	12
5	新居浜西高等学校	3	3	1	1	14	15
6	新居浜南高等学校	3	4	1	1	12	12
7	新居浜工業高等学校	5	5	9	10	35	40
8	新居浜商業高等学校	6	6	1	1	13	未定
9	西条高等学校	2	2	1	1	21	21
10	西条農業高等学校	4	4	5	5	16	16
11	小松高等学校	4	4	1	1	10	10
12	東予高等学校	7	8	4	4	10	10
13	丹原高等学校	2	2	1	1	10	10
14	今治西高等学校	7	5	3	3	18	20
14	今治西高等学校(伯方)	2	2	1	1	11	11
15	今治南高等学校	1	1	3	5	14	14
16	今治北高等学校	2	2	1	1	19	20
16	今治北高等学校(大三島)	2	2	21	3	9	9
17	今治工業高等学校	2	2	1	1	13	13
18	弓削高等学校	5	5	55	55	3	3
19	北条高等学校	4	4	2	2	7	10
20	松山東高等学校	2	2	4	5	11	未定
21	松山南高等学校	4	4	3	3	21	21
21	松山南高等学校(砥部)	4	4	1	3	26	26
22	松山北高等学校	2	2	3	3	19	20
22	松山北高等学校(中島)	10	10	1	1	31	31
23	松山中央高等学校	5	5	3	3	12	12
24	松山工業高等学校	3	4	3	3	30	30
25	松山商業高等学校	15	14	3	3	30	30
26	東温高等学校	4	4	3	3	5	未定
27	上浮穴高等学校	5	5	2	2	4	4
28	伊予農業高等学校	6	7	3	4	33	33
29	伊予高等学校	3	3	3	3	62	60
30	大洲高等学校	4	4	1	1	15	15
31	大洲農業高等学校	5	5	2	1	9	9
32	長浜高等学校	14	14	10	10	11	11
33	内子高等学校	10	10	1	1	13	12
33	内子高等学校(小田)	6	5	1	1	59	50
34	八幡浜高等学校	3	3	0	0	15	15
35	八幡浜工業高等学校	5	5	1	1	17	未定
36	川之石高等学校	4	4	1	1	9	9
37	三崎高等学校	10	9	5	6	9	9
38	宇和高等学校	13	12	1	1	6	6
38	宇和高等学校(三瓶)	5	3	0	0	0	0
39	野村高等学校	10	10	2	2	3	5
40	宇和島東高等学校	6	6	2	2	15	15
40	宇和島東高等学校(津島)	2	2	2	0	4	0
41	宇和島水産高等学校	10	6	1	1	13	13
42	吉田高等学校	9	10	1	1	12	12
43	北宇和高等学校	6	6	2	2	9	9
43	北宇和高等学校(三間)	11	11	3	0	6	0
44	南宇和高等学校	5	5	1	1	8	6
45	今治東中等教育学校	8	8	2	3	7	7
46	松山西中等教育学校	1	2	15	15	0	0
47	宇和島南中等教育学校	4	4	0	1	0	0
48	松山盲学校	23	23	2	2	3	3
49	松山聾学校	3	3	1	1	0	0
50	いげのぶ特別支援学校	8	9	0	0	0	0
51	みなら特別支援学校	0	0	3	3	0	0
51	みなら特支学校(松山城北)	8	8	1	1	0	0
52	今治特別支援学校	9	8	1	1	0	0

53	宇和特別支援学校(知的)	7	5	5	5	0	0
54	新居浜特別支援学校	9	8	0	0	0	0
54	新居浜特別支援学校(川西)	5	3	0	0	0	0
54	新居浜特別支援学校(みしま)	4	4	0	0	0	0
定1	川之江高等学校(定)	5	5	0	0	6	7
定5	新居浜西高等学校(定)	3	3	1	1	0	0
定9	西条高等学校(定)	5	5	0	0	10	10
定14	今治西高等学校(定)	1	1	0	0	0	0
通20	松山東高等学校(通)	2	2	8	8	0	0
定21	松山南高等学校(定)	5	5	12	未定	26	30
定24	松山工業高等学校(定)	1	1	4	未定	28	未定
定25	松山商業高等学校(定)	1	1	随時	未定	34	34
定30	大洲高等学校(肱川)	1	1	4	随時	2	3
定34	八幡浜高等学校(定)	6	6	3	随時	1	未定
定40	宇和島東高等学校(定)	1	1	4	随時	5	5
55	愛媛大学附属高等学校	4	3	2	2	19	19
56	愛大教育学部附属特別支援学校	7	7	1	1	0	0
57	FC今治高等学校明徳校	3	3	1	1	100	100
58	今治精華高等学校	10	10	3	3	80	80
通58	今治精華高等学校(通)	0	0	0	未定	1	未定
60	済美高等学校	0	1	8	8	60	60
61	聖カトリナ学園高等学校	実施なし	実施予定なし	5	6	113	112
62	松山東雲高等学校	2	2	4	4	135	135
63	松山学院高等学校	1	1	3	6	126	126
64	新田高等学校	1	1	3	3	70	70
65	愛光高等学校	4	4	2	2	0	0
66	松山聖陵高等学校	0	0	3	3	80	80
通67	未来高等学校(通)	0	0	14	14	40	40
69	済美平成中等教育学校	4	4	2	2	0	0
70	新田青雲中等教育学校	6	6	0	0	0	0

(4) 学校の特色・魅力の発信方法について（複数回答可）

ア ホームページ イ Instagram ウ YouTube エ X（旧Twitter）
オ TikTok カ Facebook キ その他



ア ホームページ	イ Instagram		
全ての学校	川之江高等学校	長浜高等学校	宇和島南中等教育学校
	三島高等学校	内子高等学校(小田)	愛媛大学附属高等学校
	新居浜工業高等学校	三崎高等学校	FC今治高等学校明德校
	西条高等学校	宇和高等学校	今治精華高等学校
	西条農業高等学校	宇和高等学校(三瓶)	済美高等学校
	弓削高等学校	野村高等学校	松山東雲高等学校
	松山南高等学校(砥部)	宇和島東高等学校	松山学院高等学校
	松山北高等学校(中島)	宇和島水産高等学校	新田高等学校
	東温高等学校	北宇和高等学校	松山聖陵高等学校
	伊予高等学校	北宇和高等学校(三間)	未来高等学校(通)
ウ YouTube			
新居浜南高等学校	今治北高等学校(大三島)	内子高等学校(小田)	南宇和高等学校
新居浜工業高等学校	今治工業高等学校	八幡浜高等学校	今治東中等教育学校
西条高等学校	弓削高等学校	三崎高等学校	宇和島南中等教育学校
西条農業高等学校	松山東高等学校	野村高等学校	松山盲学校
東予高等学校	松山南高等学校(砥部)	宇和島東高等学校	松山聾学校
丹原高等学校	松山工業高等学校	宇和島東高等学校(津島)	松山南高等学校(定)
今治西高等学校(伯方)	伊予高等学校	宇和島水産高等学校	今治精華高等学校
今治南高等学校	長浜高等学校	吉田高等学校	未来高等学校(通)
今治北高等学校	内子高等学校	北宇和高等学校	
エ X(旧Twitter)	オ TikTok	カ Facebook	キ その他
川之江高等学校	松山学院高等学校	上浮穴高等学校	松山工業高等学校
新居浜工業高等学校		長浜高等学校	内子高等学校(小田)
西条農業高等学校		三崎高等学校	宇和高等学校(三瓶)
伊予高等学校		野村高等学校	宇和島水産高等学校
野村高等学校		今治精華高等学校	松山東高等学校(通)
松山学院高等学校			八幡浜高等学校(定)
			松山学院高等学校

(5) 学校の特色・魅力の情報発信の好事例

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	川高生による活動発表会を、旧川之江市内の中学校2校に実施しており、好評価を得ている。昨年度は野球部が甲子園出場したことから、テレビで取り上げられることも多かった。
2	三島高等学校	ホームページと、新たに開設した公式インスタグラムで、日々の活動を発信していく予定である。
3	土居高等学校	学校行事など、学校の特色・魅力をホームページで紹介している。
4	新居浜東高等学校	生徒の日々の活動状況を伝えるホームページ作成。
5	新居浜西高等学校	中学生による一日体験入学の際に、「西高数理コンテスト」を実施し、理数系に興味のある生徒へ、西高の数学理科教員の取り組みを紹介している。コンテストは盛況で、参加者は増加している。アンケートを見ると、中学生は入学前に他校の生徒の様子が見られ、刺激を受けているようである。
6	新居浜南高等学校	ESD中高連携事業で、市内各中学校で本校ユネスコ(魅Can部)生徒が登山学習の出前授業及び登山学習ガイドを行い、ユネスコスクールに認定されている本校のESDに関する活動の特色を発信できている。子ども食堂や各種ボランティア活動に積極的に参加(昨年度は延べ368人。コロナ以前は延べ800人以上。)し、ボランティアの南高として地域に認知させているなど、情報発信ができています。
7	新居浜工業高等学校	ホームページを毎日更新し、各SNSも活用しているほか、公式You Tubeチャンネルを開設し、各学校行事や部活動の様子を動画で外部に発信している。
8	新居浜商業高等学校	郊外での活動を増やしている。地域連携の行事などに積極的に参加する。
9	西条高等学校	今年よりインスタグラムでの情報発信を開始した。その結果、学校ホームページに比べ、閲覧数が飛躍的に増加している。
10	西条農業高等学校	・保護者や地域の方々に、よいイメージを発信できている。 ・SNSによって、ホームページでは対応しきれない年齢層に情報発信ができています。 ・情報発信を見た企業から連絡があり、新たなプロジェクトが始まるなど、生徒の活動の幅が広がった。「農業と情報」でアプリの開発、「果樹」でのパパイアの栽培など
11	小松高等学校	家庭科の「ライフデザインだより」を年間6回発行し、市内中学校へ送付している。
12	東予高等学校	広報活動の充実をより図るために、本校の学校紹介動画を作成し、中学校の進路説明会等で活用した。毎年内容の更新と改善を行っている。学校動画を編集し、YouTubeへの投稿も行い情報発信をしている。様々な場面で配布可能な、学校案内パンフレットもより本校を深く理解してもらえるように毎年工夫・改善を行っている。
13	丹原高等学校	本校で取り組んでいるルールメイキングプロジェクトや丹原七夕夜市での活動を、TVや市の広報、地域の情報誌で取り上げていただき、保護者や中学生だけでなく、地域の方からも好評を得ている。
14	今治西高等学校	PTA総会では、学校行事、学級懇談会を実施、家庭との連携に努めている。オープン授業ウィークについては、地域の中学校の運動会の代休日が公開期間に含まれるように努めている。また、令和5年度から学校案内の内容の見直しを行い、在校生からのコメントを多く取り入れ本校の魅力を発信できるようにしている。
14	今治西高等学校(伯方)	市の広報に体験入学の案内を掲載した。
15	今治南高等学校	・農業科1日農業体験「エンジョイアグリ」を年4回実施し、実施状況をホームページに掲載。 ・実習で栽培した農産物の販売実習などを地域のイベントで実施し、新聞、CATVなどの取材を受ける。 ・野菜苗販売や菊花展を通じた地域との連携。
16	今治北高等学校	学校HPを毎日更新、中高連絡会、体験入学、中学校説明会
16	今治北高等学校(大三島)	タウン誌への広告掲載、ラジオ出演
17	今治工業高等学校	学科によって、独自のオリジナルパンフレットを作成したり、中学校対象のものづくり教室を実施したりして、中学生や地元企業に学科の魅力を発信している。
18	弓削高等学校	今年度学校ホームページの毎日更新を目指し、実践している。
19	北条高等学校	イベント・テレビへの出演
20	松山東高等学校	地域や企業と連携したり、地元大学や自治体などの専門家の指導を受けたりして実践する課題研究など「松山東高グローバル事業」の取組を定期的にホームページで発信している。
21	松山南高等学校	中学生による学校見学会での学校紹介および体験授業の実施 芸術文化発表会の地元の方々の招待
21	松山南高等学校(砥部)	・学校ホームページのブログや、公式インスタグラムで、特色ある学校生活の様子を写真や動画で紹介している。 ・中学校出張説明会では、生徒の授業作品実物や、高校入試の実技テストの再現作品を持参し、説明を行っている。
22	松山北高等学校	学校説明会は3日間で中学生が約1200名、保護者が約600名参加し、本校の魅力を広く発信しています。
22	松山北高等学校(中島)	・生徒が作成した動画をホームページで発信 ・中島観光マップを作成
23	松山中央高等学校	本校の特色ある学校行事である創立記念風揚げ大会が、新聞記事となり、地域に発信することができた。

24	松山工業高等学校	工業科であるので、体験入学において実際に実習等を体験できることは大きいと思われる。また、工業各科の特性を生かして外部に出向くことが普通科よりは多いため、間接的に情報発信になっていることが考えられる。令和6年度からは、教務課内に特色・魅力の情報発信に特化して仕事をするグループを設けた。
25	松山商業高等学校	中学校からの要請に応じて商業科目の出前授業を行ったことで、商業高校の魅力を魅力を伝えることができた。
26	東温高等学校	公式インスタグラムによる情報発信。
27	上浮穴高等学校	地域みらい留学におけるイベント、オンライン説明会の実施。オープンスクールでの体験授業の実施。今年度は、愛媛大学とも連携し、大学生にもオープンスクールの運営補助をお願いしている。
28	伊予農業高等学校	主に保護者の方向けにはなるが、日々の授業や実習の様子を、伊予農日記としてホームページに掲載することで、学校の様子を知ってもらうことができている。
29	伊予高等学校	年間述べ60回の中学校訪問に加え、年間3回の学校見学会では、在校生との交流、学校紹介、体験授業を実施した。
30	大洲高等学校	ホームページ、高校説明会(中学校での)、中学生1日体験入学
31	大洲農業高等学校	ホームページの更新、各種コンクールへの積極的な応募と受賞、地域との連携やボランティア活動等、新聞・テレビへの掲載
32	長浜高等学校	水族館公開、地域みらい留学、(県主催)学校見学バスツアー 等
33	内子高等学校	ホームページを開校日は原則として毎日更新して学校の様子を配信している。
33	内子高等学校(小田)	学校の魅力を発信するために、平成26年度より魅力化推進室を立ち上げた。昨年度は「地域みらい留学」への参加により、全国募集のPR活動を積極的にに行った。また、メディアとの連携も積極的に行い、教育系YouTuber(PASSLABO)とコラボしたSPECIAL SEMINAR の開催などを行った。
34	八幡浜高等学校	学校公式YouTubeでの学校の教育活動の配信。
35	八幡浜工業高等学校	・学校見学会での実習・設備の様子の見学 ・ものづくり教室での中学生のものづくり体験 ・ソーシャルチャレンジforHighSchool事業による地域と連携した取組
36	川之石高等学校	農業や福祉などの校内外の活動を、メディアに取り上げてもらった。
37	三崎高等学校	地域みらい留学
38	宇和高等学校	魅力化コーディネーターによるInstagram等での情報発信。
38	宇和高等学校(三瓶)	instagramを毎日活用して情報発信することで、学校の魅力等を知ってもらえている。
39	野村高等学校	生徒が作成した画像や動画をSNSで発信する。
40	宇和島東高等学校	・ホームページ、SNSでの発信 ・生徒による小学生・中学生向け学習講座
40	宇和島東高等学校(津島)	定期的にチアリーダーや相撲部などがテレビ取材を受けている。
41	宇和島水産高等学校	各学科ごとに情報発信を工夫している。
42	吉田高等学校	・学校のHPの更新をほぼ毎日更新(輪番で全教員が投稿) ・吉田高校の公式YouTube上で部活動等の取組を紹介している。
43	北宇和高等学校	テレビ放映
43	北宇和高等学校(三間)	学校インスタグラムでの発信、特色ある活動に関してのプレスリリース、地域における各種イベントやコンテスト等への参加。
44	南宇和高等学校	ホームページの更新
45	今治東中等教育学校	地域の公民館を利用し、夕刻の時間帯に学校説明会を開催し、個別相談にも応じている。学校説明動画をYoutubeで配信している。(学校HPにリンクあり)
46	松山西中等教育学校	ホームページをリニューアルし、保護者や入学希望者にとって必要な情報を掲載し、本校の教育活動の様子が分かるように工夫している。
47	宇和島南中等教育学校	課題研究における探究活動の取組をホームページ、Instagramにアップすることにより、地域住民の方に、学校での教育活動の様子に気付いていただき、協力していただける場面が出てきた。
48	松山盲学校	学校公式YouTubeを情報発信に活用している。昨年度は学校全体のパンフレットを新たに製作した。学校ホームページを毎日更新し、小規模校ならではのアットホームな雰囲気や、多様な年齢の児童生徒が共に学ぶ魅力を感じてもらえるように心掛けている。
49	松山聾学校	(1)Youtubeに、本校の全国高校生手話パフォーマンス甲子園関連の動画を掲載したところ、その行事を目的に本校を志望する生徒があった。 (2)他校との交流学习では、相手校が本校のホームページの動画や画像を見ることで子供のイメージを持ち、スムーズなコミュニケーションにつながった。
50	しげのぶ特別支援学校	毎日更新の「しげとく日記(HP)」
51	みなら特別支援学校	・令和4年度よりフジ見奈良店に、令和5年度よりフジ志津川店に本校児童生徒の作品を展示している。 ・フジ見奈良店に本校児童生徒の作品を展示している。創立50周年に合わせて校史展も行った。
51	みなら特支学校(松山城北)	地区の芸能祭など行事への参加。
52	今治特別支援学校	特になし
53	宇和特別支援学校(知的)	大洲市で行われた特別支援教育進路指導講座で本校の紹介を行った。卒業後の進路に向けた現場実習や技能検定等の取組を情報提供した。(大洲市の生徒・保護者対象)
54	新居浜特別支援学校	特になし
54	新居浜特別支援学校(川西)	特になし
54	新居浜特別支援学校(みしま)	ホームページに学習活動や行事の様子、PTA関係行事等の記事を積極的にあげるようにしている。
定1	川之江高等学校(定)	ホームページや学校説明会

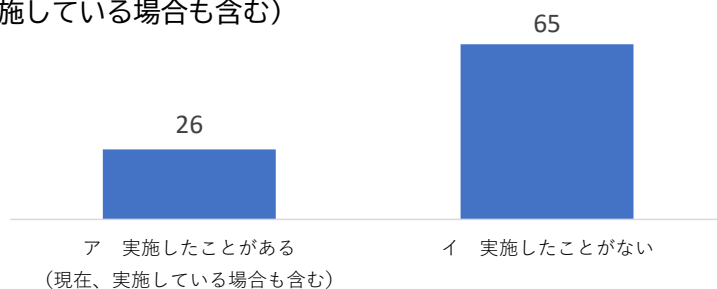
定5	新居浜西高等学校(定)	市報にて2月ごろに開放講座の聴講生募集案内を行う。ホームページは毎日更新し、活動の様子などを発信する。
定9	西条高等学校(定)	入試の面接で「HPを見た」や「HPを見て」と答える生徒が多数いる。
定14	今治西高等学校(定)	学校行事毎に生徒の活動の様子をホームページに掲載している。
通20	松山東高等学校(通)	なし
定21	松山南高等学校(定)	行事の様子を動画にしYouTubeで配信している。行事の様子がよくわかるという声をいただいている。
定24	松山工業高等学校(定)	学校行事や部活動、資格取得等をホームページ等で発信している。
定25	松山商業高等学校(定)	特になし
定30	大洲高等学校(肱川)	特になし。
定34	八幡浜高等学校(定)	特になし
定40	宇和島東高等学校(定)	本校ホームページの「宇東日記」を、開校日は毎日更新している。
55	愛媛大学附属高等学校	Instagramでは保護者からも好評である。
56	愛大教育学部附属特別支援学校	宿泊学習の実施。 中学部高等部合同での「朝の運動」「作業学習」の実施。
57	FC今治高等学校明徳校	ホームページ
58	今治精華高等学校	特になし
通58	今治精華高等学校(通)	特になし
60	済美高等学校	ホームページ、Instagram。
61	聖カトリナ学園高等学校	情報発信を上手く扱えていないため、強化が必要であると感じる
62	松山東雲高等学校	部活動体験会の実施など
63	松山学院高等学校	地域の方と共に、防災等に取り組んでおり、その取り組みが地域から発信されている。
64	新田高等学校	各種SNSと連携したホームページの運営により、情報発信を円滑に行っている。また、県内各中学校における学校説明会にも積極的に参加し、情報交換を行っている。
65	愛光高等学校	学校説明会等を通じて、直接受験生およびその保護者に学校を紹介している。
66	松山聖陵高等学校	ホームページに部活の成果や中学校で行っている出前授業・ドローン撮影の様子を掲載。
通67	未来高等学校(通)	HPやYouTube等を用いた学校行事や部活動の様子の配信。
69	済美平成中等教育学校	HPにおいて「今日の顔」というコーナーをほぼ毎日更新し、生徒の活動や学校の様子を発信している。
70	新田青雲中等教育学校	ホームページに毎週学校の様子を伝える記事を載せている。

1 病気療養中等の生徒に対する遠隔授業の実施状況について

(1) 実施状況

ア 実施したことがある（現在、実施している場合も含む）

イ 実施したことがない



ア 実施したことがある（現在、実施している場合も含む）		イ 実施したことがない	
川之江高等学校	三島高等学校	大洲高等学校	川之江高等学校(定)
西条農業高等学校	土居高等学校	大洲農業高等学校	新居浜西高等学校(定)
小松高等学校	新居浜東高等学校	長浜高等学校	西条高等学校(定)
丹原高等学校	新居浜西高等学校	内子高等学校	今治西高等学校(定)
松山東高等学校	新居浜南高等学校	内子高等学校(小田)	松山東高等学校(通)
松山南高等学校	新居浜工業高等学校	八幡浜高等学校	松山南高等学校(定)
松山南高等学校(砥部)	新居浜商業高等学校	八幡浜工業高等学校	松山工業高等学校(定)
松山北高等学校	西条高等学校	川之石高等学校	松山商業高等学校(定)
松山工業高等学校	東予高等学校	宇和高等学校	大洲高等学校(肱川)
東温高等学校	今治西高等学校	宇和高等学校(三瓶)	八幡浜高等学校(定)
上浮穴高等学校	今治西高等学校(伯方)	宇和島東高等学校(津島)	宇和島東高等学校(定)
三崎高等学校	今治南高等学校	宇和島水産高等学校	愛大教育学部附属特別支援学校
野村高等学校	今治北高等学校	吉田高等学校	FC今治高等学校明徳校
宇和島東高等学校	今治北高等学校(大三島)	北宇和高等学校	今治精華高等学校
北宇和高等学校(三間)	今治工業高等学校	南宇和高等学校	今治精華高等学校(通)
松山西中等教育学校	弓削高等学校	今治東中等教育学校	聖カタリナ学園高等学校
松山盲学校	北条高等学校	宇和島南中等教育学校	松山学院高等学校
松山聾学校	松山北高等学校(中島)	みなら特別支援学校	新田高等学校
しげのぶ特別支援学校	松山中央高等学校	みなら特支学校(松山城北)	松山聖陵高等学校
宇和特別支援学校(知的)	松山商業高等学校	今治特別支援学校	未来高等学校(通)
新居浜特別支援学校	伊予農業高等学校	新居浜特別支援学校(川西)	済美平成中等教育学校
愛媛大学附属高等学校	伊予高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)	
済美高等学校			
松山東雲高等学校			
愛光高等学校			
新田青雲中等教育学校			

(2) 6(1)について、「実施したことがある（現在、実施している場合も含む）」と回答した学校は、病気療養中等の生徒に対する遠隔授業がどのようなものであったか簡単に記載してください（方法、単位認定、評価等）。

学校番号	学校名	回答内容
1	川之江高等学校	一時的な入院だったため、オンラインでの授業を実施し、出席日数として認めた。
10	西条農業高等学校	・Teamsの会議を利用。ホワイトボードが映るようにした。 ・病気療養中の生徒は出席停止扱いであったため、単位認定や評価については、特に何もしていない。
11	小松高等学校	令和4年度に実施。Teamsによるオンライン授業。期間は、本人の体調が良い時、検査等がない時に限られ、3週間程度。実技科目以外は、出席、評価共に規定内であり、単位認定は有り。実技科目は、レポート提出などで認定。
13	丹原高等学校	コロナ禍において、ZOOMやTeamsで授業の中継をし、相互参加での授業を行った。出席は接続状況で確認した。定期テストは可能であれば学校で実施し、場合によってはレポートの提出で評価した。
20	松山東高等学校	Teamsを利用しリアルタイム遠隔授業。評価は通常通り行った。
21	松山南高等学校	コロナやインフルエンザ罹患で体調回復したが登校できない生徒に対し、zoom配信で授業を行った。
21	松山南高等学校(砥部)	・別室登校の生徒に対し、Teamsの会議で授業の様子を視聴させた。定期考査を受検したため、通常の方法で評価し、単位認定した。(旧課程の生徒であったため、観点別評価は実施していない)
22	松山北高等学校	新型コロナウイルス感染症が2類であった時期に、濃厚接触者で出席停止扱いとなった生徒に対して、授業の様子を配信しました。
24	松山工業高等学校	teamsを用いた授業の中継。本人の体調が許す時のみ実施したため、入院療養を必要とした時期のうち数日程度しか実施していない。入院療養中以外は登校できているため、単位認定や評価に支障はなかった。
26	東温高等学校	入院中の生徒に対するオンライン授業、オンデマンドによる授業配信を行った。オンデマンドでは、教科担当者があらかじめ指示したかつ課題の提出によって授業への出席と認めた。
27	上浮穴高等学校	教育相談室において、不登校生徒がオンラインで授業に参加した。出席扱いとし、単位認定、評価についても他の生徒同様に処理した。
37	三崎高等学校	zoomにて配信
39	野村高等学校	学校には来れなかったため、欠席扱いとしたが、本人の希望によりZOOMでカメラを置き、他の生徒と一緒に授業を受けた。
40	宇和島東高等学校	・オンラインによる授業配信
43	北宇和高等学校(三間)	Teamsの会議を使用し、授業の中継配信を行った。欠課扱いではあるが、授業内容を確認させることができた。
46	松山西中等教育学校	病気療養で登校できない日が続いた生徒に対して実施した。該当クラスの授業の様子を配信した。
48	松山盲学校	入院のため登校できない生徒(高等部)に対し、ビデオ会議システムによるオンライン授業を行った。特別時間割を組んで、治療に支障のない範囲で行った。
49	松山聾学校	出席停止の生徒に対し、Google Meetを用いた遠隔授業を一週間程度実施した。
50	しげのぶ特別支援学校	Googlemeetを用いた授業参加(双方向のやり取り)1単位時間中の一部だったため出席扱いにはせず、成績表・通知表には実施について記載(重複障がい学級の児童生徒)
53	宇和特別支援学校(知的)	教室と家庭間で、Zoomやロイロノートを使って、学級担任の教科のみではあったが、遠隔授業を行った。リモートで行った授業に関する学習評価を、文章により端的に表した。
54	新居浜特別支援学校	・中学部3年生(不登校傾向)。11～12月の間で18日間。朝の会をオンラインで実施。出席扱いにはせず、評価もしていない。 ・高等部2年生。入院治療機関の1カ月間。朝の会をオンラインで実施。出席扱いにはせず、評価もしていない。
55	愛媛大学附属高等学校	Zoomにて教室で実施している授業を公開する。新型コロナ感染などでの数日間実施のため、出席扱いにはしておらず、その授業における評価もしていない。
60	済美高等学校	オンラインでの授業参加を、授業出席として認める。
62	松山東雲高等学校	googlemeetやgoogleclassroomを通じて授業や課題を配信し、担任が課題の回収を行った。その課題等を踏まえ評価を行った。
65	愛光高等学校	授業の様子をZoom等を通じて配信した。
70	新田青雲中等教育学校	基本的にコロナ禍でのことであるが、各授業のライブ映像をリモートで配信していた。

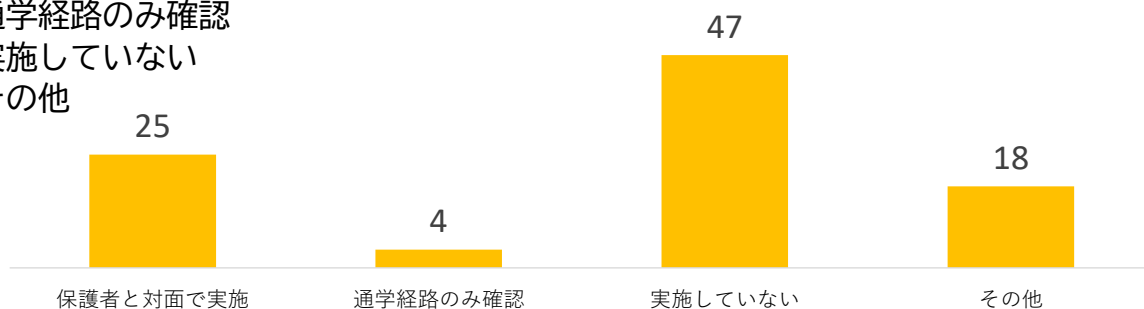
7 年度当初の家庭訪問の実施状況について

ア 保護者と対面で実施

イ 通学経路のみ確認

ウ 実施していない

エ その他



ア 保護者と対面で実施			イ 通学経路のみ確認
川之江高等学校	宇和島東高等学校	大洲高等学校(脇川)	大洲高等学校
東予高等学校	宇和島水産高等学校	八幡浜高等学校(定)	北宇和高等学校
今治工業高等学校	吉田高等学校	宇和島東高等学校(定)	愛大教育学部附属特別支援学校
大洲農業高等学校	北宇和高等学校(三間)	FC今治高等学校明德校	未来高等学校(通)
八幡浜高等学校	松山聾学校	松山東雲高等学校	
川之石高等学校	今治特別支援学校	松山聖陵高等学校	
宇和高等学校(三瓶)	川之江高等学校(定)	済美平成中等教育学校	
野村高等学校	松山南高等学校(定)	新田青雲中等教育学校	
ウ 実施していない			エ その他
新居浜東高等学校	松山商業高等学校	西条高等学校(定)	三島高等学校
新居浜西高等学校	東温高等学校	松山東高等学校(通)	土居高等学校
新居浜南高等学校	上浮穴高等学校	松山工業高等学校(定)	新居浜商業高等学校
新居浜工業高等学校	伊予農業高等学校	松山商業高等学校(定)	小松高等学校
西条高等学校	伊予高等学校	愛媛大学附属高等学校	丹原高等学校
西条農業高等学校	長浜高等学校	今治精華高等学校	今治北高等学校(大三島)
今治西高等学校	内子高等学校	今治精華高等学校(通)	松山南高等学校(砥部)
今治西高等学校(伯方)	三崎高等学校	済美高等学校	大洲高等学校
今治南高等学校	宇和高等学校	聖力タリナ学園高等学校	内子高等学校(小田)
今治北高等学校	宇和島東高等学校(津島)	新田高等学校	八幡浜工業高等学校
弓削高等学校	南宇和高等学校	愛光高等学校	北宇和高等学校
北条高等学校	宇和島南中等教育学校		今治東中等教育学校
松山東高等学校	松山盲学校		松山西中等教育学校
松山南高等学校	みなら特別支援学校		しげのぶ特別支援学校
松山北高等学校	みなら特支学校(松山城北)		新居浜特別支援学校
松山北高等学校(中島)	宇和特別支援学校(知的)		新居浜特別支援学校(川西)
松山中央高等学校	新居浜特別支援学校(みしま)		今治西高等学校(定)
松山工業高等学校	新居浜西高等学校(定)		松山学院高等学校